

3D都市モデルの整備・活用促進に関する 検討分科会

自治体ニーズシート一覧

2023/8



PLATEAU
by MLIT



PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

#	自治体名	#	自治体名	#	自治体名	#	自治体名
1	北海道札幌市	26	東京都東村山市	51	愛知県岡崎市	76	広島県呉市
2	北海道室蘭市	27	東京都八王子市	52	愛知県津島市	77	広島県広島市
3	青森県むつ市	28	大丸有まちづくり協議会	53	愛知県豊橋市	78	広島県福山市
4	岩手県盛岡市	29	神奈川県厚木市	54	愛知県名古屋市	79	広島県府中市
5	宮城県仙台市	30	神奈川県川崎市	55	愛知県日進市	80	山口県周南市
6	福島県いわき市	31	神奈川県相模原市	56	愛知県春日井市	81	山口県防府市
7	福島県郡山市	32	神奈川県箱根町	57	三重県熊野市	82	徳島県徳島市
8	福島県白河市	33	神奈川県藤沢市	58	三重県四日市市	83	香川県高松市
9	茨城県鉾田市	34	神奈川県横須賀市	59	京都府京都市	84	愛媛県東温市
10	栃木県宇都宮市	35	新潟県長岡市	60	大阪府池田市	85	愛媛県松山市
11	群馬県桐生市	36	新潟県新潟市	61	大阪府堺市	86	福岡県飯塚市
12	群馬県館林市	37	石川県加賀市	62	大阪府摂津市	87	福岡県北九州市
13	群馬県前橋市	38	石川県金沢市	63	大阪府高槻市	88	福岡県久留米市
14	埼玉県	39	長野県伊那市	64	大阪府豊中市	89	福岡県福岡市
15	埼玉県熊谷市	40	長野県岡谷市	65	大阪府河内長野市	90	福岡県宗像市
16	埼玉県さいたま市	41	長野県佐久市	66	大阪府忠岡町	91	福岡県うきは市
17	埼玉県戸田市	42	長野県茅野市	67	大阪府柏原市	92	佐賀県武雄市
18	埼玉県新座市	43	長野県松本市	68	兵庫県伊丹市	93	長崎県佐世保市
19	埼玉県蓮田市	44	長野県諏訪市	69	兵庫県加古川市	94	熊本県荒尾市
20	埼玉県毛呂山町	45	静岡県	70	兵庫県たつの市	95	熊本県熊本市
21	千葉県柏市	46	静岡県掛川市	71	和歌山県和歌山市	96	熊本県玉名市
22	千葉県茂原市	47	静岡県菊川市	72	鳥取県鳥取市	97	熊本県益城町
23	東京都	48	静岡県静岡市	73	鳥取県米子市	98	大分県臼杵市
24	東京都板橋区	49	静岡県沼津市	74	鳥取県境港市	99	大分県大分市
25	東京都目黒区	50	静岡県浜松市	75	広島県	100	沖縄県那覇市



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

北海道札幌市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

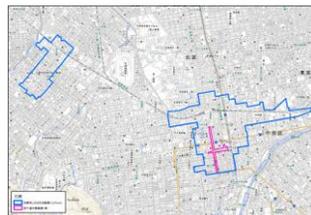
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
北海道の道央地方に位置する政令指定都市。北海道の政治、経済、文化の中心地である。人口は約197万人。（令和5年5月1日時点）



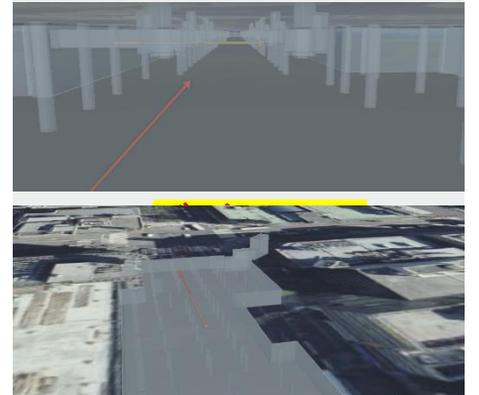
【特色等】
札幌駅、大通駅周辺に政治、経済に関する施設が集中している。施設の老朽化に伴い、都心部の他、新札幌周辺で産官学が連携した再開発が進んでいる。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：都心部・琴似（3.27km²）
 - ・LOD1：市内全域（651.36 km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

現時点では市内で、3D都市モデルを活用し解決したい具体的なニーズがないが、様々な分野で活用可能と考えられることから、引き続き3D都市モデルの活用可能性を模索していく。



札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）内部の人流可視化イメージ(出典：PLATEAU VIEW)

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

上記のとおり、現時点では具体的なニーズがないため、未定である。

問合せ先

所属：デジタル戦略推進局
スマートシティ推進部
デジタル企画課

担当者：岡本 卓也

Tel: 011-211-2136（直通）

Mail: ictplan@city.sapporo.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

北海道室蘭市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / **その他**

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
室蘭市は、北海道中南部にある市。製鉄産業が盛んであり、室蘭工業大学もある。人口は約8万人。



【特色等】
室蘭工業大学があり、市と連携のうえ地域課題の解決に向けて研究を行っている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2022年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD1：室蘭市全域（約81 km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無
 - ・構造種別/延床面積/調査年等



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

現時点において、内部で交通や防災観点で多く存在していることは認識できていますが、3D都市モデルを利用した解決したい（出来る）課題の整理を終えていないため、3D都市モデルを活用してどのようなことができるのか、広く御教示いただきたいと思います。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

未定です。
ただ、ブラウザ上でストレスを感じることなく、自由に3D都市モデルに触ることが出来る様にはしたいと考えています。

防災教育の観点で、ARやVRの技術を使ってみたいと考えています。
製品を導入するというよりは自分で作成してみたいです。

問合せ先

所属： 企画財政部ICT推進課

担当者： 澤田 将

Tel: 0143-25-2712

Mail:
joho@city.muroran.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

青森県むつ市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
本州最北端の下北半島の中央部に位置し、隣接する町村と形成する下北圏域定住自立圏の中心となっている。

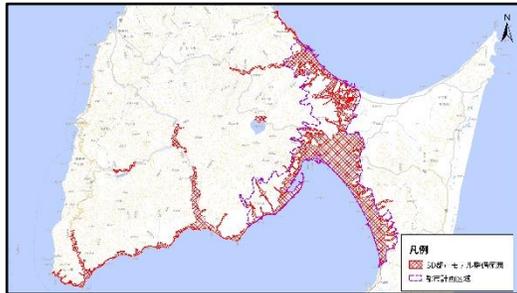
【特色等】
国土交通省と内閣府より「新しいまちづくりのモデル都市」として選定され、金谷地区と田名部まちなか地区において新たな日常に対応したまちづくりが進められている。



むつ市街地からの街並み

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD1：市域の一部（106.21km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水・津波浸水想定区域
 - ・地形
 - ・都市計画決定情報
 - ・土地利用
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



凡例
 3Dモデル構築区域
 都市計画決定情報

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：人口減少及び超高齢社会においても、将来にわたって地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業の生活機能を確保し、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を推進
- イ：国の防災指針に基づいて、防災対策の充実や防災体制の確立、自主防災組織の設立促進
- ウ：都市と地域を結ぶネットワークとなる公共交通の維持確保
- エ：立地適正化計画の誘導区域において講ずべき施策の検討

▶ 光のアゲハチョウを未来へと羽ばたかせる



光のアゲハチョウ

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

①どこからでも水位の上昇が確認できるシステム・センシング技術の導入により、業務の効率化、発災時の住民の危機意識の向上を図り、整備予定の（仮称）むつ市デジタル防災センターにおけるベースデータとして活用したい。

都市計画・まちづくり

②不動産IDを簡単に3D都市モデルに紐づけ、あらゆる情報が即座に3D都市モデルと連携可能となるシステムの構築により、空き家の実態把握や発生予測に活用し、施策検討の効率化を図る。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：丸谷 知功

Tel: 0175-22-1111（内線2743）

Mail:toshikeikaku@city.mutsu.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

岩手県盛岡市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

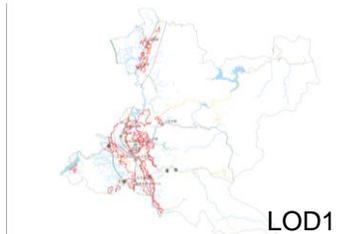
岩手県の内陸やや北西部に位置する中核市であり県庁所在地。商業・消費都市で、盛岡城跡を含む内丸地区を中心とした既存市街地と盛岡駅から南西部にわたる新市街地により都市軸を形成。人口は約29万人。

【特色等】

城下町として発展し、市内から眺望できる山並み、市内を流れる複数の河川など、豊かな自然環境を有するとともに高速交通の結節点となっている。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：R4年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：R5年度整備予定 (0.2 km²)
 - ・ LOD1：盛岡広域都市計画市街化区域及び一部市街化調整区域 (60 km²)
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 都市計画決定情報：有（都市計画区域、区域区分、用途地域）
 - ・ 災害リスク：R5年度整備予定
 - ・ 地形：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



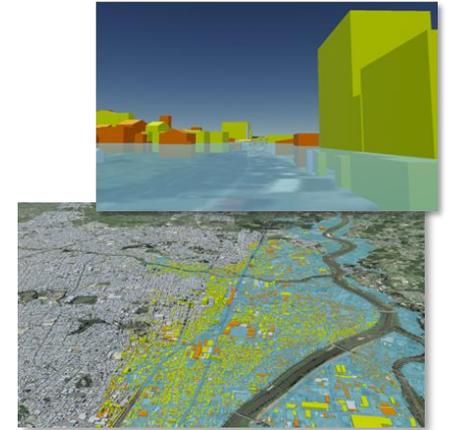
地図：Copyright© NTTインフラネット株式会社 All Rights Reserved.

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【災害リスクの可視化】

市内中心部付近で、一級河川北上川、雫石川及び中津川の3川が合流している地理的状况により、洪水浸水想定区域が既成市街地に広範囲に及んでいることから、防災対策の更なる促進を図る必要がある。

洪水浸水想定区域を3D都市モデルに重ね合わせることで、浸水深や浸水継続時間を可視化し、市民の防災意識の向上を図るとともに地域防災計画等の検討に活用する。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・ 3D都市モデルの活用による、洪水浸水想定区域内における浸水深、浸水到達時間、浸水継続時間、垂直避難可能建築物の可視化に関する住民への適切な見せ方及び効率的な周知の手法

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：藤原 温
折笠 裕介

Tel: 019-601-2718

Mail: toshikeikaku@city.morioka.iwate.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

宮城県仙台市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

仙台市は東北地方のほぼ中央に位置し、市域の西は奥羽山脈、東は太平洋に囲まれている。平成元年4月に全国11番目の政令指定都市に移行し、人口は約110万人（令和3年6月時点）。

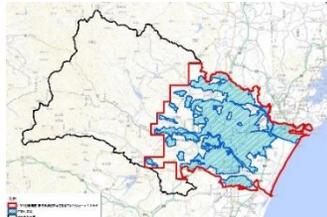


【特色等】

○仙台市は、「杜の都」としての豊かな自然環境と都市機能が調和した都市空間を有し、鉄道を中心とした機能集約型の都市づくりを進めている。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：都市再生緊急整備地域（1.8km²）
 - ・ LOD1：市域の約43%（341km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有（LOD1）
 - ・ 地形：有（LOD1）
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有
 - ・ 構造種別/延床面積/調査年：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：市中心部の観光・飲食・買い物スポットの多言語での情報発信および回遊性の向上・地域経済活性化
- イ：防災行政用無線屋外拡声装置の音達範囲及び電波（防災行政用無線等）のサービスエリアの可視化による各効果検証
- ウ：津波浸水想定に対する避難場所・避難経路の抽出・検討
- エ：公園樹の倒木予防措置や公園内施設の維持管理への活用
- オ：市民の公園情報の取得による利用用途の確認
- カ：3D都市モデルをオープンにすることによる多様な事業者が行うビジネス開発の促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・ 防災行政用無線屋外拡声装置の音達範囲等の可視化システム（イ）
- ・ 避難場所となりうる建物や浸水範囲外の抽出・表示等（ウ）

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・ AR・リアルメタバース等の活用による、多言語でのスポット情報提供および回遊・消費を促す仕組みの導入（ア）

インフラ管理

- ・ 全国公園情報アプリ（PARKFUL等）との連動（エ、オ）
- ・ 都市公園台帳管理システム（整備済）との連動（エ）

問合せ先

所属：都市整備局計画部
都市計画課

担当者：板山 智貴

Tel:022-214-8294

Mail:tos009110@city.sendai.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

福島県いわき市

- 防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 福島県の東南部に位置しており、太平洋に面し豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれた人口約30万人の中核市。重要港湾小名浜港を有する東北有数の工業都市。

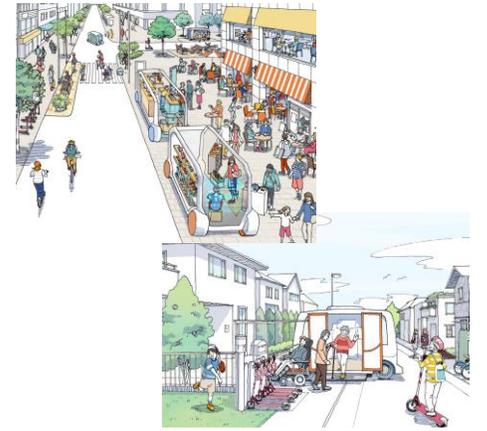
【特色等】
 14市町村の大合併により誕生した広域多核型の都市構造。将来の都市像として掲げる「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に取り組んでいる。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：湯本駅周辺地区（1.27km²）
 - ・LOD1：用途地域及び洪水浸水区域、津波浸水区域の範囲（162.33km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・都市計画決定情報 等
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：地物としてのみ整備済み
 - ・名称/用途/建築年 等



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：道路交通・公共交通に係る課題の対応
 [災害に強い道路整備・維持管理、慢性的な渋滞への対応、持続可能な公共交通ネットワーク構築、地域公共交通の充実、自転車利用環境の推進など]
- イ：防災・減災まちづくりの推進
 [災害リスクの分析・評価、防災・減災対策の提案、リスクコミュニケーションツール]
- ウ：市街地の低未利用地や公共用地を活用した市街地再生整備（基盤整備の導入やソフト施策の実施）の推進
- エ：いわきスマートタウンモデル地区の開発
 [いわきニュータウン地区全体や市域全体に波及するスマートシティの取り組み、with/afterコロナに対応した都市空間を形成する先導的開発]



■国土交通省資料

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

上記カテゴリ全般：
 本市の交通、防災、まちづくりにおける現状と課題を踏まえ、課題解決のために活用するデジタルテクノロジー技術について今後検討を進める。

いわきニュータウン地区が抱える課題等

- Old Town化（百年前の跡が残り）
- 在宅ワーク、テレワークなど新しい働き方に対応した環境が整備されていない
- 高齢者向けサービス施設の不足の懸念
- 自家用車がないと生活できない
- 路線バスが利用しにくい
- 主要駅や中心部から距離が離れている
- 少子化に伴う空き家の発生
- 空き家や廃屋等の影響抑制
- 豊かな自然環境の活用
- 災害に強い地域創生の構築 ... etc



問合せ先

所属：都市建設部都市計画課

担当者：猪狩 智也

Tel:0246-22-7511

Mail:toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

自治体概要

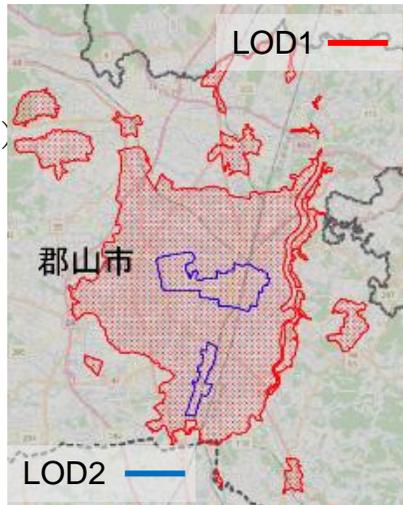
【地理、人口、産業の現状等】
福島県の中央に位置し、東北地方で仙台、いわきに次いで第3位の人口規模の中核市。交通の利便性が良いことから産業・情報の集まる経済県都として成長。人口は約32万人。

【特色等】
首都圏から東北新幹線で約80分、東北本線や東北・磐越自動車道が縦横に交差し交通の利便性が良い「陸の港」。



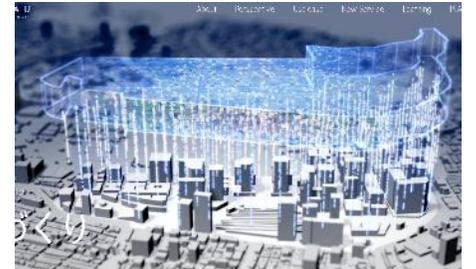
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：都市機能誘導区域（6 km²）
 - ・ LOD1：用途地域（69 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土地利用：有
 - ・ 洪水浸水想定区域：有
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 早期の立退き避難区域
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 3D都市モデルに災害ハザードエリアを重ね、災害の見える化を図っていただきましたが、さらに立地適正化計画に基づいた居住の誘導へ繋がる見える化や地域特性を判断できるような見える化を図りたい。
- ア：用途地域や立地適正化計画に基づく居住誘導区域等の区域の見える化
 - イ：バス路線数等交通の利便性や、地域における移動等地域特性の見える化
 - ウ：土砂災害ハザードエリアの見える化
 - エ：市街化調整区域の既存集落等、ネットワークが必要なクラスターの見える化
 - オ：都市計画道路等の予定線を簡易に示す事が出来る機能。
（ルートの検討や周辺環境の変化を可視化し、住民への理解や今後の都市を見る化）
 - カ：住居、商業、工業、未利用地など、本市の土地利用の状況を3D化により見える化。（地域特性の見える化）
 - キ：人口密度や人口増減・年代別人口など、字別もしくはメッシュ分布を3D化により見える化。（地域特性の見える化）
→関連して空家の発生予測（スポンジ化の予測）



区域を表現
バス路線本数による色分け等

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①災害アニメーションによる災害リスクの可視化
- ②避難先の可視化
- ③プローブデータによるヒヤリハット箇所抽出、可視化

問合せ先

所属：都市構想部都市政策課
担当者：鈴木 勇哉
Tel: 024-924-2321
Mail:
tosiseisaku@city.koriyama.lg.jp

福島県白河市

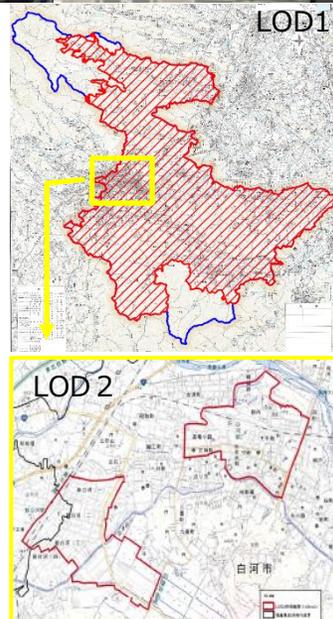
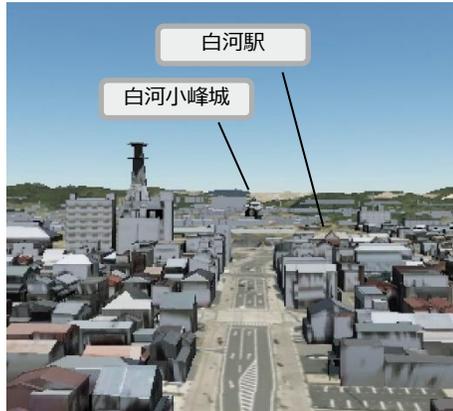
 防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 福島県の南部に位置する人口6万の都市。古くから白河関がみちのくの玄関口としての役割を果たしており、要衝の地として発展してきた。

【特色等】
 白河駅周辺には、江戸時代に行われた町割りが基本となっており、白河小峰城跡やカギ型の道など、城下町らしい風情が残っている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：都市機能誘導区域（1.80km²）
 - ・LOD1：都市計画区域（266.65km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

■眺望景觀

小峰城跡三重櫓を眺望対象とし、遠・近景としての視点場からの景觀の保全、改善を積極的に進めていく眺望範囲についてシミュレーションを行う。

■景觀軸

河川沿いの空間や、都市的な幹線道路沿道など軸上に連続した景觀についてシミュレーションを行う。

■実質的な都市計画区域

本市は非線引きの都市計画区域となっており、人口規模に対して都市計画区域が広大となっているため、平面とは違うアプローチで都市計画区域の分析に活用することはできないだろうか。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

新規建築物等の設置による景觀シミュレーション。
 しかしながら、現在、市で利用しているインターネット環境は、基本的に外部接続不可であり、また、webサイト閲覧には仮想デスクトップからFirefox一択での利用に限られているため、PLATEAU VIEWも閲覧できない状況となっている。
 また、人口規模に対して都市計画区域が広大となっているため、今後のまちづくりについて、実質的な都市計画区域の見極めも必要となっている。
 そのため、前提となる環境整備が課題となっている。

問合せ先

所属：都市計画課

担当者：室井

Tel:0248-22-1111

Mail:toshikeikaku@city.shirakawa.fukushima.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

茨城県鉾田市

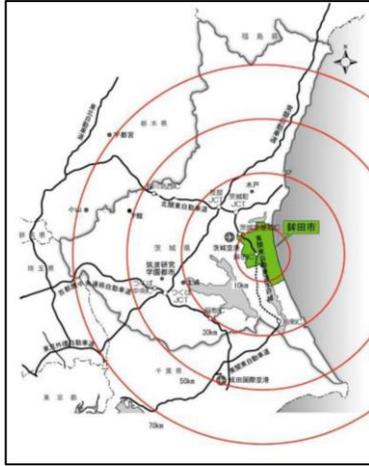
防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

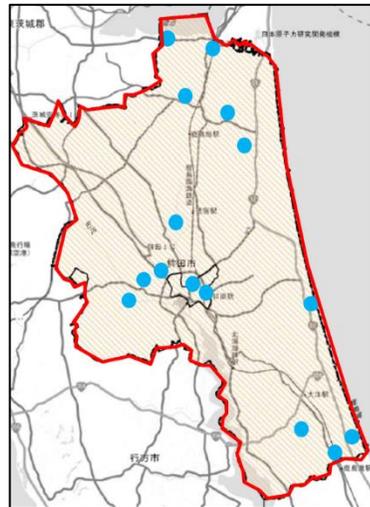
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
茨城県の南東部に位置し、水戸市まで約30km、東京までは90km圏内にある。平坦な地形と温暖な気候を活かした農業が盛んであり、人口は約4万6千人。

【特色等】
本市は、日本でいちばん野菜を作っている。メロンは日本一の産出額を誇り、市を代表する農産物となっている。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：R2年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：市内ランドマーク15箇所
 - ・LOD1：鉾田都市全域（207.6 m²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【解決したい課題】
中心市街地が空洞化し活気がない（そもそも小さい市街地）、公共交通の衰退、公共施設の老朽化など課題が多く、大都市との関係性が希薄な（大都市と距離がある）典型的な地方都市である。

【創造したい価値】
3D都市モデルを活用し、市内全域をデジタルツインで散策可能なスマートフォンアプリケーションを開発する新しい取組を実施することで、鉾田市の魅力を全国的に発信する。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

地域活性化・観光・コンテンツ

3D都市モデルを利用し、鉾田市内の観光地、施設を散策できるアプリを開発する。デジタルで再現された鉾田市を散策することで、鉾田市に対する関心を持つきっかけを作り出すことにより観光振興・地域活性化を図る。

問合せ先

所属：建設部都市計画課

担当者：菅谷、田山

Tel：0291-36-7754

Mail：tokei@city.hokota.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

栃木県宇都宮市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

- ・本市は、栃木県のほぼ中央、東京から北に約100 kmの距離に位置し、人口は約52万人。
- ・本市の市域を超えた広域的な経済や生活、交流などの拠点として、圏域の発展をリードする役割を担う。

【特色等】

- ・豊かな自然環境や高度な都市機能など商工農がバランスよく調和した都市

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年（23年更新中）
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：無し
 - ・LOD2：高次都市機能誘導区域（3.2km²）
 - ・LOD1：市内全域（416.8km²）
- テクスチャ：空中写真より付与
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有り（LOD1）
 - ・土地利用：有り（LOD1）
 - ・都市計画決定情報：有り（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有り
 - ・洪水浸水想定区域：有り
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有り
 - ・土地利用現況：有り



LOD1整備範囲



LOD2建築物整備範囲

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

解決したい課題

ハザードマップは、災害時に影響する区域や避難に関する情報を市民に提供するツールであることから、対象者や目的に応じた実効性の高い広報手段を講じる必要がある。

創造したい価値

災害リスクの3次元化、3次元WEB版ハザードマップを整備することにより、これまで以上に市民が分かりやすく使いやすいものに充実させていく。
さらに、市民に広く周知し、防災意識の醸成を図ることにより、市民の自助・共助の促進につなげていく。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

市民が迷うことなく正確な情報を入手し、的確に活用できる分かりやすい3次元WEB版ハザードマップを整備する。
また、上記を利用することで、市民は自ら危険箇所や避難経路の確認を可能とする。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：相馬 亮太

Tel：028-632-2565

Mail：u1201@city.utsunomiya.tochigi.jp

自治体概要

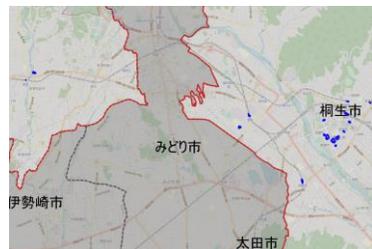
【地理、人口、産業の現状等】
 群馬県の東端に位置し、面積の7割が山林。平地である渡良瀬川の扇状地に市街地を形成。少子高齢化等の影響により人口は減少傾向、約11万人。

【特色等】
 古くから織物産業の繁栄とともに都市機能や人口が集積した市街地を形成、「桐生新町」という伝統建造物群保存地区を有する。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマーク16棟 (33999m²)
 - ・LOD1：都市計画区域 (173km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有 (LOD1)
 - ・都市計画決定情報：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有

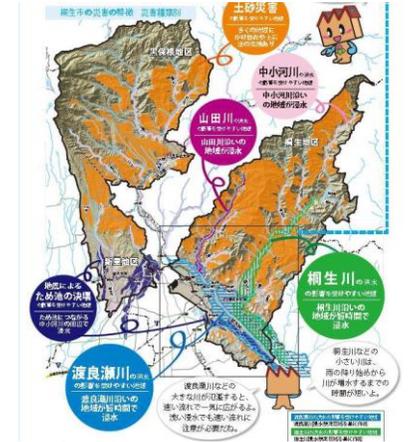


3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：桐生地区と合併した新里・黒保根地区が飛び地であり市が分断されている。

イ：本市中心部では東西に一級河川渡良瀬川が横断し、南北には桐生川が流れていることから、洪水時の浸水想定区域が広く設定されている。また、山間部が7割を占めるため、土砂災害の想定される区域も広く分布する。

ウ：市中心部の人口流出が深刻化している。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

ホームページに公開でき、市民がストレスなく3D都市モデルを体験できる技術。

防災・防犯

浸水想定区域や土砂災害想定区域を、市民が災害リスクを3D可視化し閲覧でき、防災・減災のための避難体制構築に繋がる技術。

都市計画・まちづくり

③3D化による可視化により、都市計画の立案や分析でき、コンパクトシティの促進と、中心市街地の空き家対策や定住促進に繋がる技術。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：遠藤 義明

Tel: 0277-46-1111 内線744

Mail:
toshikei@city.kiryu.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

群馬県館林市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 群馬県の南東に位置する都市で、人口は約7.5万人。首都圏と約1時間でアクセスできる館林駅を中心に市街地を形成している。



【特色等】
 館林駅周辺において、「居心地がよく歩きたくなる空間」の創出、人口減少対策、商業振興・観光振興及び都市機能の集約等によりまちなか再生を進めている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：なし
 - ・LOD2：建物22棟（公共施設等）
 - ・LOD1：都市計画区域（60.97km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・

市内全域
のため省略

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【3D都市モデルを活用したい検討課題】

1. 館林駅を中心としたまちなかでの居心地がよく歩きたくなる空間創出（ウォークブル都市推進）のための検討へ活用
 - ・観光振興と歴史的建造物の維持活用
 - ・市の中心部への公共施設、住居、福祉、医療等の都市機能の誘導
 - ・旧商店街で実施している街路整備と合わせた街路空間の活用と修景
 - ・館林駅周辺の空き地、空き家利活用
2. 災害リスク軽減のための検討へ活用
 - ・市のさまざまな分野（市全体の方針、都市計画、公共交通、福祉等）における浸水想定区域等の災害リスクの取扱いの検討

【3D都市モデルを活用し解決したい課題】

1. 災害リスクについてよりわかりやすく市民へ伝える



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①河川流出による浸水想定区域等の災害リスクを3D可視化し、災害リスク軽減のための防災、減災や避難体制構築の検討に活用
- ②災害リスクの3D可視化及び時系列ごとの浸水の進行をシミュレーション化することで、2Dハザードマップではわかりにくい細い道路まで浸水被害の可視化が可能となることを見込める。これを活用し、市民の危機意識向上と避難経路についての理解向上を図る。

地域活性化・観光・コンテンツ

- ③3D都市モデルへLOD2を導入し、まちなかの現状把握と、周辺景観との調和性を確認する景観シミュレーションを行い、居心地がよく歩きたくなる空間創出（ウォークブル都市推進）のための検討に活用

問合せ先

所属：都市建設部都市計画課

担当者：田邊 智基

Tel:0276-47-5149

Mail:
toshikei@city.tatebayashi.gun
ma.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

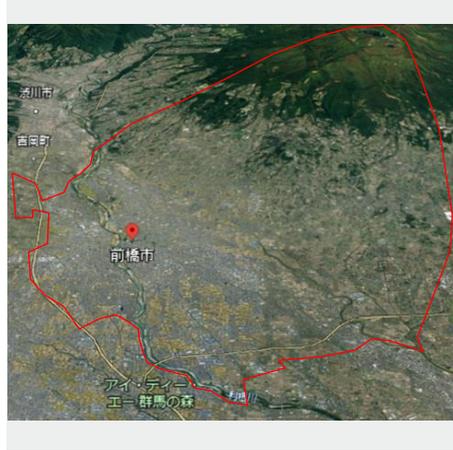
群馬県前橋市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

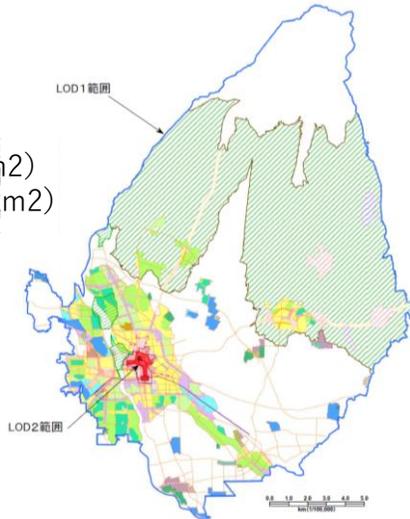
【地理、人口、産業の現状等】
群馬県の中央に位置する中核市。産業は、サービス、卸売・小売、製造業を中心に構成。農業産出額は全国有数、首都圏への供給地。人口は約33万人の県庁所在地。

【特色等】
市域は、赤城山の南に広がり、中心部に利根川が流れる。ウォークアブル推進都市。官民連携まちづくりを推進。



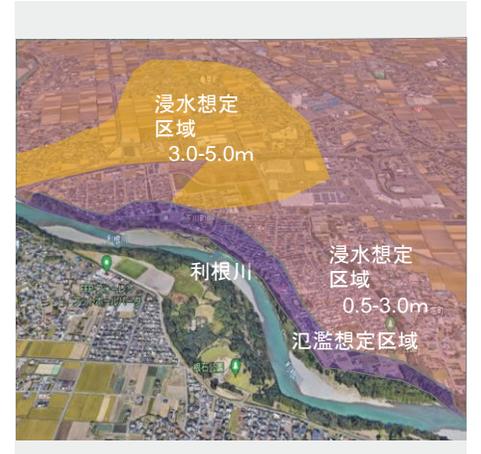
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：今後整備を検討
 - ・LOD2：2023年整備予定（0.7km²）
 - ・LOD1：2023年整備予定（311.59km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有（LOD1）
 - ・土地利用：有（LOD1）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：都市構造の可視化・分析、適正な土地利用の推進、市街地拡散の抑制
- イ：災害ハザード情報の可視化、被災予測による効果的対応、効果的な情報発信
- ウ：P T調査データを活用した都市活動のモニタリング、シミュレーション
- エ：3D都市モデルオープンデータ化による民間事業者の積極的な都市活動への参画



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

災害ハザード情報の可視化による、各主体の防災意識の向上や避難計画の策定への活用

都市計画・まちづくり

都市構造の可視化による適正な土地利用の推進への活用

問合せ先

所属：都市計画部都市計画課

担当者：樋口 優

Tel:027-898-6943

Mail:toshikeikaku@city.maebashi.gunma.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

関東平野の内部に位置し、面積の3分の1を山地、3分の2を平地が占め、荒川と利根川を有する。卸売業・小売業が盛んであり、近年は圏央道沿線などでの企業立地が進んでいる。人口は約730万人で緩やかな増加を続けているが、今後急速な高齢化が想定されている。



【特色等】

面積に占める河川の割合が約3.9%で全国2位となっており、豊かな河川環境に恵まれる反面、水害リスクが高い市街地が多くなっている。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023～2026
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：R5～R8整備予定（各市町村5棟程度）
 - ・ LOD1：R5～R8整備予定（埼玉県全域（さいたま市を除く））（3,581km²）
- テクスチャ：未整備
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有

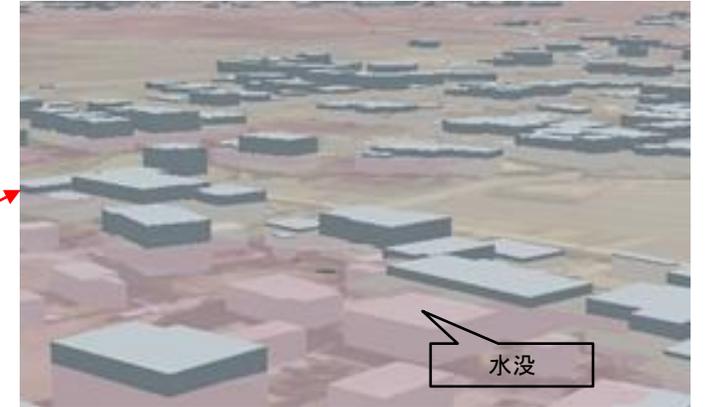


※本事業とは別事業で

- ・ 蓮田市・戸田市（計45.5 km²）は整備済み
- ・ 熊谷市・新座市・毛呂山町（計219.7 km²）は建物情報以外は整備済み

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・ 社会全体のDXの実現、まちづくりのDXの推進
- ・ 頻発・激甚化する水害対策、災害リスク情報を分かりやすい形で整備し発信



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

①今後の取組として「3D都市モデルによる建物倒壊シミュレーションを活用した被災直後の道路啓開・災害廃棄物処理の課題検討」を検討中。

問合せ先

所属：埼玉県
都市整備部
都市計画課

担当者：新井 舞夢

Tel:048-830-5337

Mail:a5330-09@
pref.saitama.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県熊谷市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

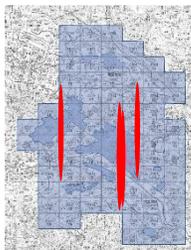
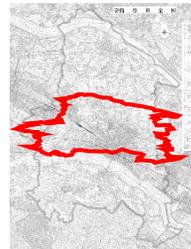
【地理、人口、産業の現状等】
埼玉県北部の中心都市。人口は約19万2千人。上越・北陸新幹線など鉄道3線が結節し、4つの国道が通過する、交通の要衝であるほか、工・商・農がバランスよく発展した県内有数の産業都市である。

【特色等】
平成30年7月に国内最高気温41.1℃を記録するなど夏の暑さへの対策が課題である中、「暑さ対策日本一」を掲げ様々な取組を展開している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2021年
※2023年一部更新予定
- 建築物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマーク (5か所)
 - ・LOD1：市内全域 (159.88 km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・その他（都市計画決定情報、土地利用、地形、洪水浸水想定区域）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：JR熊谷駅周辺の中心市街地内における再開発、再整備による景観・緑陰シミュレーション、ウォークアブル空間シミュレーション
- イ：河川洪水浸水想定区域の重ね合わせによる災害危険度の可視化
- ウ：地理条件や気象データを踏まえ、緑陰や風の通り道を考慮した、住み心地のいい街区形成のシミュレーション
- エ：LOD2整備エリアにおける風・温熱環境シミュレーションにより「暑いぞスポット」の可視化、市民及び来街者への日陰エリア、クールシェアスポット、公共交通等の情報を提供



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①3D都市モデルによる災害危険度の可視化を活用した防災ワークショップの開催

都市計画・まちづくり

- ②風・温熱環境シミュレーション結果や、景観シミュレーションを用いたまちづくりワークショップの開催
- ③風・温熱環境シミュレーション結果を考慮した街区形成によるスマートエコタウンの整備

環境・エネルギー

- ④夏の暑さの中でも快適に過ごせるツール（都市サービスGISプラットフォームに気象データを搭載したもの）

問合せ先

所属：市長公室政策調査課
都市整備部都市計画課

担当者：齋藤
小森

Tel:048-524-1111
0493-39-4807

Mail:
seisakuchosa@city.kumagaya.lg.jp
toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県さいたま市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

埼玉県の南東部に位置する政令指定都市。大宮駅を中心とし新幹線やJR等が結節する東日本の交流拠点都市。人口は約134万人。

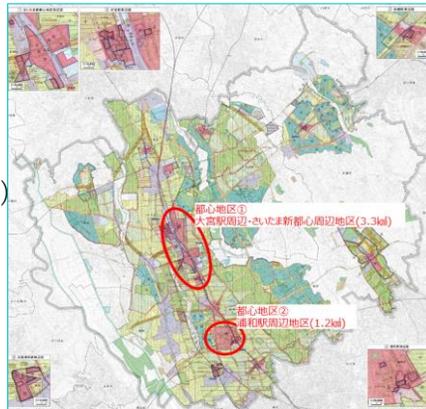
【特色等】

2つの都心と4つの副都心が存在する多核構造の都市として発展。一方で、豊かな自然環境に挟まれた構造となっており、東京近郊にありながら、都市部と自然とが共存。



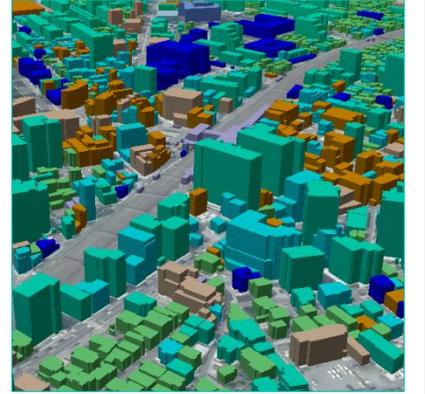
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建築物作成範囲
 - ・LOD2：都心地区(整備済1.2km²、整備中3.3km²)
 - ・LOD1：市全域(217.43km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通(道路)：有(範囲/LODは建築物同様)
 - ・災害リスク(洪水浸水/土砂災)：整備中
 - ・その他(土地利用/都市計画決定情報 等)
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：無
 - ・その他(用途/地上階数/延床面積/建築面積/構造種別/調査年 等)



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ① まちづくりへの多様な市民の参画促進
- ② オープン・イノベーション創出による市民サービス高度化
- ③ 都市計画制度や立地適正化計画等による土地利用誘導施策効果の見える化(現状/将来)
- ④ 市民の防災意識の向上・防災計画の高度化・消防力の強化
- ⑤ 脱炭素化の推進(再生可能エネルギー発電量増加)
- ⑥ 交流人口増による地域経済の活性化
- ⑦ 行政事務（インフラ管理、開発許可など）の効率化
- ⑧ 庁内・市民等によるデータ活用促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

防災講座や学校教育における災害リスク啓発。バーチャル消防訓練システムの導入。

都市計画・まちづくり

マインクラフトのワールドデータへの変換・オープンデータ化や同データを活用したコンテスト開催。土地利用誘導施策効果の分析・可視化。多様な市民参画を促進するワークショップツール。開発許可事務のデジタル化。

環境・エネルギー

大規模緑地等の自然が都市にもたらす環境影響の評価・可視化。太陽光発電ポテンシャルの可視化。

地域活性化・観光・コンテンツ

メタバース等バーチャル空間で買い物等が体験できるアプリ。

インフラ管理

道路、橋梁、地下埋設物等のインフラのデータベース化および管理システムの構築。

その他

GIS等庁内のデジタル人材の育成、3D都市モデル等オープンデータの市民・事業者による活用の促進。

問合せ先

所属： 都市計画課

担当者： 松山 幸司

Tel： 048-829-1403

Mail：
toshi-keikaku@city.saitama.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県戸田市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

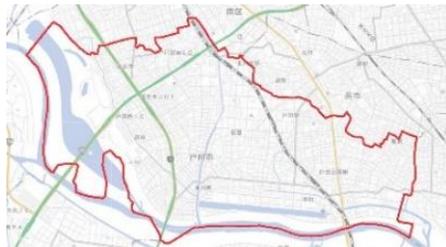
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
埼玉県の南東部に位置し、南は荒川を挟んで東京都板橋区・北区に接している。面積18.19km²で、平坦な地形である。人口は2023年6月時点で約14万2千人。印刷関連業や物流産業が活発であり、住宅としても成長を続けている。



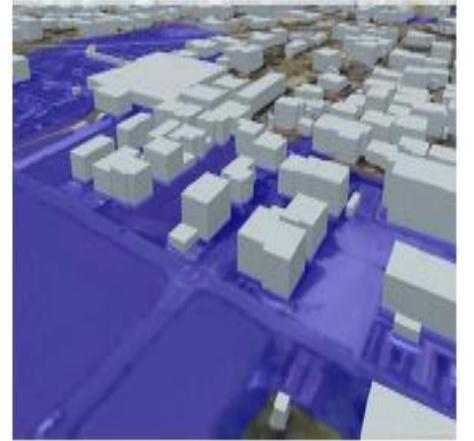
【特色等】
水と緑に恵まれた、都市環境と自然環境の両方を有しているまちである。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2022年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD1：市域全域（戸田都市計画区域）（18.19km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - ・地形：有
 - ・都市計画情報（用途地域）：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・構造種別：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

浸水想定データ（外水・内水）等の水害リスク情報、垂直避難可能な建物、避難施設の状況の重ね合わせによる可視化、分析を行い、市民一人ひとりの防災・危機管理意識を高める。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①近年の頻発化・甚大化する自然災害に対し「安全なまちづくり」を推進するため、3D都市モデルにおける水害リスク情報及び垂直避難可能建物情報を活用し、立地適正化計画における防災指針の策定に取り組む。

問合せ先

所属：都市整備部 都市計画課

担当者：笠原 悠矢

Tel:048-441-1800（内線392）

Mail:tosikei@city.toda.saitama.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県新座市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

埼玉県の最南端に位置する。JR武蔵野線、東武東上線、西武池袋線のほか、国道（254号、463号）や高速道路（関越自動車道）により東京都や県央と結ばれている。人口約16.5万人。

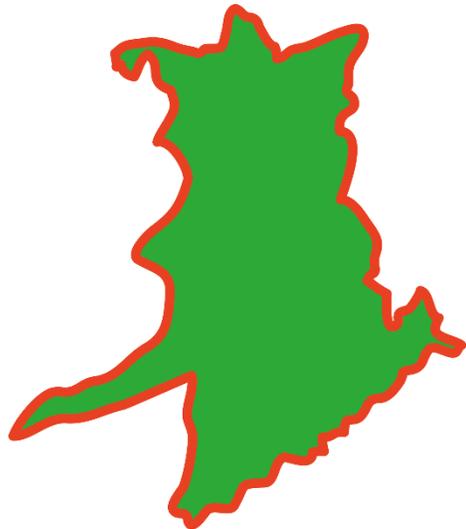


【特色等】

自然を多く残しながら、首都圏へのアクセスの利便性が高いなど、住環境や立地条件に恵まれたまちである。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2021年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：一部施設のみ
(市役所、市民会館、消防署、警察署、鉄道駅など13件)
 - ・LOD1：市内全域
- テクスチャ：未整備
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：未整備
 - ・土地利用現況：未整備



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：既成市街地の「災害に強いまち」への転換
東京23区に隣接する本市は、高度経済成長期にベッドタウンとして急激に開発が進められたが、狭小な敷地・道路等が多く、地震火災等が発生した場合の被害拡大が懸念されている。また、住民の高齢化による空家問題の発生も懸念されている。

イ：スマート技術を活用した、持続可能な新市街地の形成
市の中央部にある市街化調整区域には、関越自動車道へのスマートIC設置や、都市高速鉄道12号線（都営大江戸線）の延伸等による新たなまちづくり構想がある。



関越自動車道・新座料金所付近
(Google Earthより)

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

現状の課題と改善について、住民の理解を得るため、災害シミュレーションによって現状で安全な避難路を実証的かつ視覚的に示すもの。発災前に課題を改善する効果的な手法の検討。

都市計画・まちづくり

仮想空間で完成予想のまちづくりを行い、建築物や道路だけでなく、そこを歩き交う人や車、気候や日照、エネルギーや防災といった様々な要素を取り込み、持続可能なまちであるかをシミュレーションして、計画に反映させたい。

問合せ先

所属：まちづくり未来部
都市計画課

担当者：仁木 雅宏

Tel:048-424-9613

Mail:
toshikeikaku@city.niiza.lg.jp

埼玉県蓮田市

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
埼玉県東側中央部に位置する、総面積27.28km²の都市。東京都心部まで40km、豊かな自然環境・歴史遺産に恵まれている。人口は約6.1万人。

【特色等】
都心へのベッドタウンとして発展してきた、自然環境と生活利便性の両方を享受できるまち。蓮田スマートICの供用開始など、道路交通網の充実が図られ、市北部を中心に産業集積が進んでいる。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：なし
 - ・LOD2：西城・西新宿エリア（0.89km²）
 - ・LOD1：蓮田市全域（27.28km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：無
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

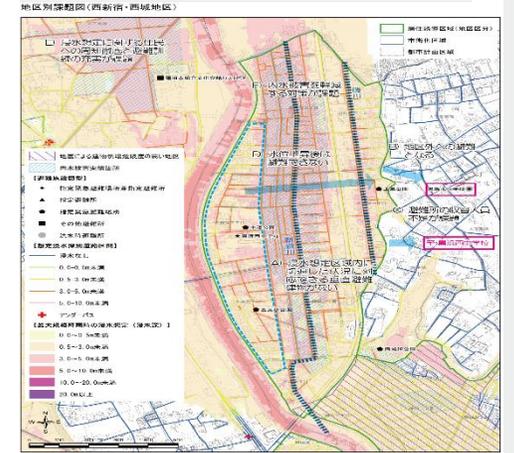
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【3D都市モデルを活用し解決したい課題】

- ・広域大規模水害への対応
- ・立地適正化計画における防災対策の推進
- ・水害リスクに対する住民意識

【3D都市モデルを活用し想像したい価値】

- ・激甚化する自然災害に備え、市民の逃げ遅れゼロを目指す「デジタル化で創る強靱な街づくり」の検討を行う。
- ・都市データを活用した避難計画作成と、防災意識向上に資する災害（水害）リスクの3D可視化を行う。
- ・河川改修等の整備効果を可視化するツールの開発を行う。



出典：蓮田市立地適正化計画

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①超過洪水に対する防災教育へ活用するための災害リスクの可視化ツール
- 令和4年度に社会課題解決型ユースケース開発の取組として、浸水解析（内水氾濫）を実施し、その結果を用いて洪水による浸水の広がりや時系列で可視化し、建物から避難場所への避難ルートが時間経過によって限定されていく様子や避難ルート検索が可能なシステムを一部地域（西城・西新宿）にて構築した。今後は、整備エリアの拡大（市内全域）や災害リスク・河川改修等の整備効果を可視化するツール等の開発を行い、昨年度整備したデータを有効活用しながら、地域住民の防災意識向上を図ることを目指す。

問合せ先

所属： 都市整備部都市計画課

担当者： 高橋 良典

Tel： 048-768-3111

Mail： toshikei@city.hasuda.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県毛呂山町

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

埼玉県の南西部に位置する町。山地と平野を有し、都心へのベッドタウンとして住宅地が多く形成。医療福祉が充実。人口は約3.3万人。

【特色等】

大学が多く、比較的若い世代の人口が多い。産業構造は医療福祉に偏在。スマートシティ事業として先端技術の実証を多く実施。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年（2023年3月改）
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマークの一部
 - ・LOD1：町内全域（34.43 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ①交通・モビリティ/インフラ管理：人の流れや車の流れの滞留状況の可視化。オープンデータ化により、事業立案に向けたデータ提供。路面状況や橋りょうデータの可視化。浸水データ可視化。
- ②エネルギー：各公共施設に太陽光発電設備を設置し、電力需給状況の可視化を行い、非常時における電力融通への活用。
- ③農林水産業：遊休農地の急増に伴う耕作放棄地の増大。就業者の減少。設備投資による費用面の負担。農業用ドローンを用いた効率的な営農や鳥獣対策の実施。空き農地の可視化。
- ④都市計画・整備：用途地域などの都市計画情報の可視化やオープンデータ化。建物の3D化に付加することにより、不動産市場の活性化や行政事務の効率化の実現。



※PLATEAU VIEWより

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

モビリティ・ロボティクス/インフラ管理

車流・人流データの可視化。路面状況や橋りょうデータの可視化。浸水課題地域の浸水シミュレーション。

環境・エネルギー

町有施設PPA事業に対応した電力需給状況の可視化。

その他（農林水産業）

遊休農地の可視化及び日照条件等のシミュレーションのアプリ。ドローンによる鳥獣対策の可視化。

都市計画・まちづくり

人流データ・路線価等の可視化。本町で営みたい人が空き店舗等の内装等のイメージが持つことができ、試算やシミュレーションが出来るツール。

問合せ先

所属：まちづくり整備課スマートシティ推進係

担当者：樋口 利佐

Tel:049-295-2112（内線104）

Mail:mati@town.moroyama.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

千葉県柏市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理**地域活性化・観光・コンテンツ** / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

千葉県の北西部に位置する中核市。商業を中心として発展、また首都圏近郊のベッドタウンとして成長している。人口は約43万人。

【特色等】

利根川や手賀沼といった水辺とそれらを取り巻く緑に育まれた、豊かな自然環境を背景とし、高度経済成長の時期を経て柏駅に代表される商業のまちとしての顔、柏ビレジや柏の葉住宅などに代表される住宅としての顔など多様な表情を有する。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：2020年度

○建物物作成範囲

・LOD3：なし (0 m²)

・LOD2：

柏駅周辺・柏の葉キャンパス駅周辺

(2.13km²)・LOD1：市内全域 (114.72km²)

○テクスチャ：有

○その他の地物（空間属性）

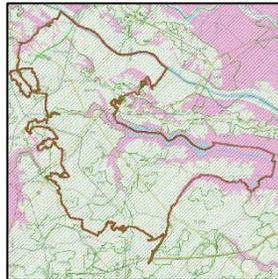
・交通（道路）：無

・土砂災害警戒区域：無

○主題属性

・建物利用現況：有

・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

柏の葉キャンパス駅周辺においては、土地区画整理事業が施行中であり、今後も多くの建築計画の見込みがあることから、3D都市モデルを活用することで、事業進捗に伴う景観形成や建築シミュレーションの実施に活用するとともに、新市街地としての賑わい等の情報発信に役立てたいと考えている。

なお、柏駅周辺は、再開発されてから50年が経過し、今後、建築物の更新が進むことが予想されることから、3D都市モデルを活用し、より魅力的な駅前空間を創出し、重点地区の指定に向けた検討材料としたい。

さらに、柏市では「景観アドバイザー会議」があり、大規模建築物等の検討を行う際に、建築計画の立面図だけではなく、周辺環境における位置づけを確認できることにより、より活発な議論を引き出したい。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ・道路、鉄道施設も含めた3D化を実施し、より現地の状況に合わせた景観シミュレーションを実施したい。
- ・都市計画情報の更新

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・まちの現状のリアルタイムでの発信
- ・イベント開催情報等の掲載および過去の写真掲載（投稿機能）
- ・AIカメラによる人流計測結果の見える化⇒ダッシュボード・デジタルサイネージとの連動（一部の人流データは提供）
- ・AIカメラ設置箇所の画角確認⇒3Dによる最適画角の設定、プライバシー保護の根拠となる資料収集、適切な情報公開の実施

問合せ先

所属：都市部北部整備課

担当者：川島 圭裕

Tel: 04-7167-1249

Mail:
hokubuseibi@city.Kashiwa.chi
ba.jp

千葉県茂原市

 防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

千葉県のほぼ中央に位置する温暖な気候のエリアで門前町として発展してきた歴史あるまちです。東京駅まで特急で54分。車で海まで15分。圏央道により成田、羽田両空港まで約60分とアクセスも良好な位置にあります。

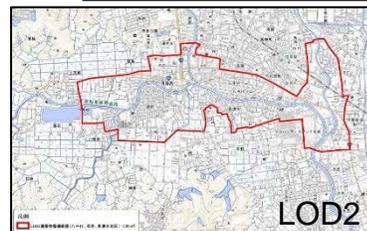
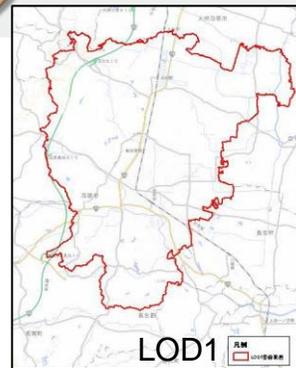
【特色等】

人口約8万6千人。産出する天然ガスを利用した工場立地により発展した工業都市。ヨウ素の産出は世界2位です。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：なし（－m²）
 - ・LOD2：八千代茂原長清水（3.39km²）
 - ・LOD1：市域全域（99.92km²）
- テクスチャ：LOD2.0に空中写真付与
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域図、津波浸水想定
 - ・都市計画決定情報（2021年度）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【激甚化する自然災害発生に備え、市民の逃げ遅れゼロを目指す『デジタル化で創る強靱な街づくり』の推進】

- ・市内統合型GISに格納されている水害エリア、及び水深深データの3D化。
- ・河川改修が完了するまでの期間、住民の安全・安心に資するソフト対策の一環として、ハード整備の段階ごとの災害リスクを3D都市モデル上に可視化。
- ・一般にはわかりづらいハード整備による浸水被害の低減効果をわかりやすく可視化することで、安全安心の強化や河川整備のアカウントビリティを向上するツールの開発、更新。
- ・雨量シミュレーションによる河川増水を動画にすることにより、流域住民にリスクを伝えるリスクコミュニケーションのツールの開発。
- ・教育分野においてわかりやすく災害時のまちの変化を伝える、防災教育教材の開発。
- ・災害対策本部の情報把握、指示等オペレーション支援システムの構築



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

【流域治水に配慮した大雨増水シミュレーション即時伝達の仕組み】

令和元年10月25日の災害救助法が適用された水害まで平成から4度の水害に見舞われた本市において、ハード面の整備だけではない施策が必要とされている。

氾濫する2級河川一宮川流域治水対策協議会が設立され、本市の上流の町、下流の町村と一体となった水害防止策の検討を行っている。しかしながら、想定するエリアが広い雨水の量を発災時に即時シミュレーションするには平面的な検討に限界を感じると共に、誰もがわかりやすい内外水の増水状況を再現することが求められている。

災害対策本部にて、大雨増水即時の見える化から避難方向の検討、周知を電子的に即時行い、地域住民へ水害による被害を低減させる避難行動を知ってもらうツールの開発、導入が急務となっている。

問合せ先

所属：都市建設部 都市計画課

担当者：篠田 智仁

Tel:0475-20-1546

Mail: keikaku@city.mobara.chiba.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 行政区域は特別区である23区と、26市5町8村から構成され、東西に長く広がっている土地には山地や丘陵、台地などが分布している。R5年5月1日時点での人口は約1,406万人。

【特色等】

東京は、3,600万人規模を擁する世界最大の都市圏の中心であり、政治や経済、文化など、様々な機能が高度に集積し、多様なサービス・産業を有している。

【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：2021年度

○建物物作成範囲

・LOD1、LOD2：

西新宿地区、大丸有地区、
 ベイエリア(豊洲地区、竹芝地区)
 南大沢地区 (約7km²)

○テキストチャ：有

○その他の地物 (空間属性)

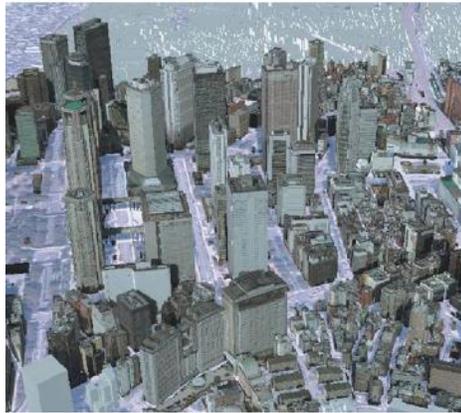
・交通 (道路)：有 (LOD1,2,3)

・土砂災害警戒区域：有

○主題属性

・建物利用現況：有

・土地利用現況：有



西新宿地区

大丸有地区



ベイエリア



南大沢地区



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：3D都市モデル上で、浸水や土砂災害の被害の様相をシミュレートし、訓練等で活用することで行政機関のより効果的な災害対応のオペレーションにつなげていく

イ：3Dビューアを通じた行政が保有する多様な都市情報のリアルな可視化が必要



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・河川の洪水による氾濫や土砂災害など、各地の水害リスクの有無を3Dで表示
- ・浸水エリアの拡がりや水位の上昇など、時間の経過による変化を表示

その他

- ・様々な庁内外データ (都バスや河川のリアルタイムな情報など) を可視化できるよう東京都デジタルツイン3Dビューア(β版)を公開中
- ・3Dビューア上のベースマップとして3D都市モデルを活用

問合せ先

所属：都市整備局 都市づくり政策部
 広域調整課 都市政策担当

担当者：田中、鳥永、宮本、金井

Tel: 03-5388-3227

Mail:

Takuya_1_Tanaka@member.metro.tokyo.jp

Ryohei_Torinaga@member.metro.tokyo.jp

Hiroki_1_Miyamoto@member.metro.tokyo.jp

Hiroki_Kanai@member.metro.tokyo.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

東京都板橋区

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

東京都23区の北西部に位置する。
 総面積32.22km²に世帯数約30万世帯、人口57万人を有する。

【特色等】

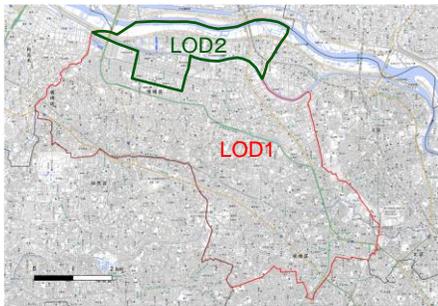
区内には荒川・新河岸川・石神井川の水辺空間が広がり自然林が多く残されている一方、駅周辺は近隣型の商店街が形成され利便性が高い。

こうした環境から定住性のある都市とした住宅地区を形成している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：（未整備）
 - ・ LOD2：（3 km²/高島平、舟渡、新河岸）
 - ・ LOD1：（32.22 km²/区内全域）
- テクスチャ：LOD2のみ有り
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：無
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【課題】

区内の観光地等の魅力の不足
 公共施設の老朽化
 高齢化の進行
 省エネの推進や自然環境の保全

【創出したい価値】

3D都市モデルを活用したモデル事業や実証実験の場として都心部のベッドタウンの代表事例となる取組を実施したい。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

①デジタルツイン/メタバース空間において水災害を再現し、災害の模擬体験を通じた避難行動等の個別最適化。

都市計画・まちづくり

②公共施設等のBIM/CIMデータと3D都市モデルの融合による、施設計画・周辺施設の検討、再開発事業に伴うまちづくり事業の可視化。

環境・エネルギー

③都市のエネルギーの可視化。

インフラ管理

④区内インフラ管理のデータベース化による業務効率化。

地域活性化・観光・コンテンツ

⑤区立の集客施設をAR/MR等の技術によりアップデート。

モビリティ・ロボティクス

⑥自動運転等による交通不便地域や買い物難民の解消。

問合せ先

所属：都市整備部 都市計画課

担当者：藤江・宮崎

Tel: 03-3579-2566

Mail:t-dx@city.itabashi.tokyo.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

東京都目黒区

防災・防犯

都市計画・まちづくり

環境・エネルギー

インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

目黒区は、東京都23区の南西部に位置し、区内には目黒川等が流れ深さ20～30mの谷を、また、高い台地（30～45m）と低い台地（25～30m）も存在する。区の面積は約14.7km²であり、人口は約28万人。広域生活拠点の駅としては中目黒駅や自由が丘駅などを位置づけている。

【特色等】

自由が丘駅周辺には特色ある店舗が立ち並ぶほか、閑静な住宅街もあり、都市再生推進法人と区が連携し、まちづくりを推進している。

【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：202X年

○建物物作成範囲

・LOD3：XX（XX m²）・LOD2：主要駅周辺エリア（XX m²）・LOD1：区内全域（14.7km²）

○テクスチャ：無

○その他の地物（空間属性）

・交通（道路）：無

・土砂災害警戒区域：無

・

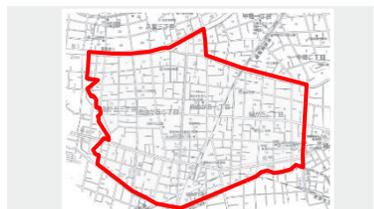
○主題属性

・建物利用現況：無

・土地利用現況：無



自由が丘駅前広場



LOD2 自由が丘駅周辺地区



LOD2 中目黒駅周辺地区

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的対応

イ：エリアマネジメント活動の可視化

ウ：低層住宅地への商業施設のしみ出しの可視化

エ：公共施設の建築に伴う区民説明への活用

オ：都市計画道路整備に伴うバス路線の運行経路変更の周知（安全確保）

カ：市街地の更新、道路と鉄道の立体化、都市計画道路等の都市基盤が周辺に与える影響予測及びまちづくりの計画手続き



中目黒駅周辺の市街地再開発事業

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

【防災・防犯】

①傾斜地での大雨時での被災予測（河川氾濫、内水氾濫）

【都市計画・まちづくり】

②エリアマネジメント活動の紹介や活動範囲、活動成果の可視化

③低層住宅地への商業施設のしみ出しの可視化

④公共施設整備に伴う周辺への説明時の活用

⑤市街地の更新、道路と鉄道の立体化、都市計画道路等の都市基盤が周辺に与える影響予測及びまちづくりの計画手続き

【環境・エネルギー】

⑥新たな道路整備に伴うバス路線の変更情報と周辺へ与える影響の周知

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：石井 一義

Tel: 03-5722-9726

Mail: tosikei02@city.meguro.tokyo.jp

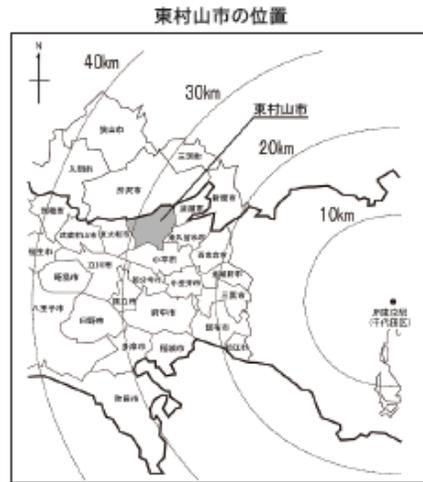
東京都東村山市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
東京都の北西に位置し、都心まで30km圏内のアクセス便利なベッドタウン。人口約15万人。

【特色等】
市域内には緑地、水辺空間、農地などの自然環境に恵まれ、都市近郊にありながらのどかな里山風景が残っている。近年、連続立体交差事業や都市計画道路事業等の都市基盤整備が進行中である。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：無
 - ・LOD2：一部ランドマークのみ
 - ・LOD1：市内全域（17km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無（未整備）
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：都市基盤整備計画等の策定に伴う施設配置検討や周辺地域への影響の可視化（土地区画整理事業、市街地再開発事業、用途地域変更など）
- イ：震災時の建物倒壊予測や延焼拡大予測の可視化（災害復興計画策定・減災対策の検討など）
- ウ：その他（3D都市モデルを用いた課題解決事例の情報収集など）



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①減災対策の計画立案に向けた様々なシュミレーションの実施（震災時における建物倒壊・延焼拡大シュミレーションの可視化）

都市計画・まちづくり

- ②都市基盤整備の計画立案に向けた様々なシュミレーションの実施（公共施設や民間建物の配置計画を3Dで可視化）（整備後のイメージ、周辺環境への影響などのシュミレーション結果は住民説明会で活用）

問合せ先

所属：経営政策部経営改革課

担当者：堀内 慎高

Tel: 042-393-5111

Mail:gyosei@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

東京都心から西へ約40キロメートル、新宿から電車で約40分の距離に位置。地形はおおむね盆地状で、北・西・南は海拔200メートルから800メートルほどの丘陵地帯に囲まれ、東は関東平野に続く。

【特色等】

平成27年（2015年）4月に、東京都初の中核市となり、人口約56万人の多摩地区のリーディングシティとして、21の大学を抱えた学園都市として、発展を続けている。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和2・4年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：（5.01 km²）
 - ・LOD1：（186.4 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【モビリティ・ロボティクス】

公共交通の利用実態・需要の可視化とこれを踏まえた最適なサービス水準の確保、公共交通不便地域の改善

【環境・エネルギー】

カーボンニュートラル、ゼロカーボンシティの実現、エネルギー使用の効率化

【防災・防犯】

災害ハザードエリアでの防災・減災対策

【都市計画・まちづくり】

人流や交通などのビッグデータとともに周辺の土地利用状況などを踏まえた、合理的な公的不動産の利活用



出典）国土交通省ホームページ
<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/uc22-015/>
 XR技術を活用した市民参加型まちづくり

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

【防災・防犯】

・居住の分布と浸水・土砂災害のシミュレーションから防災意識の向上、避難行動に役立てる。

【都市計画・まちづくり】

・公的不動産の活用検討にあたり、様々なビッグデータを取り込みながら、最適な活用方法について市民と共通認識を形成するとともに、幅広い意見を募るためのプラットフォームの作成

【環境・エネルギー】

・エネルギー使用量の可視化と建築物や低未利用地における太陽光設備など再エネ設置可能性の分析及び創出の促進
 ・温熱環境、気流シミュレーション等による計画建築物の省エネ性能の向上

【モビリティ・ロボティクス】

・自動運転技術の実装
 ・歩行者や自動車の流れを計測・予測することによる混雑緩和や交通機関のサービス向上

問合せ先

所属：都市計画部
 土地利用計画課

担当者：沼田 啓孝

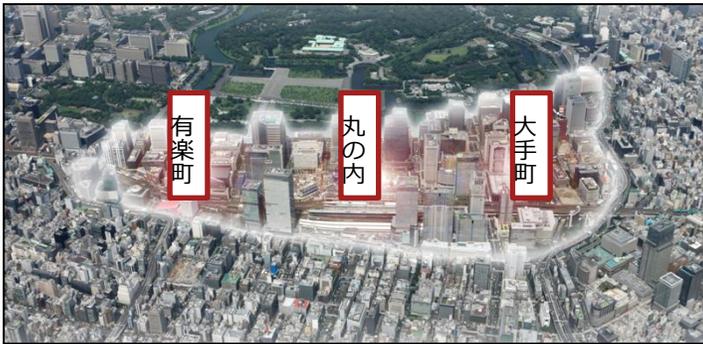
Tel: 042-620-7301

Mail:
b490200@city.hachioji.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状、特色等】

大丸有地区は、東京駅と皇居の間に位置し、120haの区域に約28万人・約4,300社の企業が集積している。



【3D都市モデル構築状況】

✓ エリアBIM構築状況

◆データ整備年度：
・2023年度整備予定

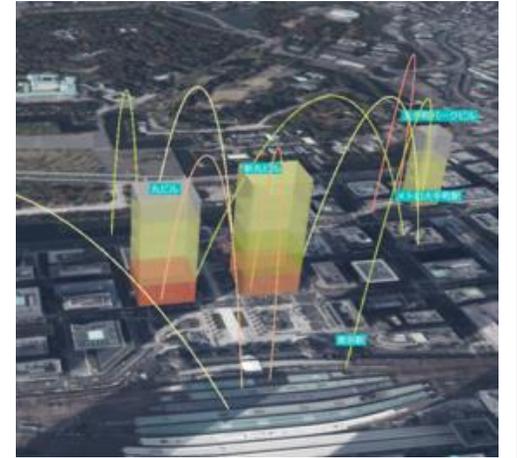
◆建物物作成範囲
・LOD3：20棟程度
(BIM LOD200)

◆テクスチャ：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ◆データ利活用型エリアマネジメントモデルの確立
 - ・ビジュアルコミュニケーション（3D上へのわかりやすい表示）、エリア活動の可視化、効果の定量分析
 - ・効率的な交通/人流シミュレーション等
 - ・就業者、来街者の意見の分析と可視化 ・都市広域のエネルギー効率化
- ◆ロボティクスの活用
 - ・屋内外を隔てず走行するロボットを活用したサービス展開
 - ・自動運転モビリティの普及
 - ・上記に資するマッピング作業の効率化（互換性の高いマップ作成）
- ◆災害時の情報提供、防災シミュレーション
 - ・避難者の効率的な誘導、避難所や帰宅困難者受入施設等や街路の混雑度表示
 - ・外部救助隊（自衛隊、消防隊等）への屋内・地下構造の提供



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

- ◆都市計画・まちづくり(データ利活用型エリアマネジメントモデル確立)
 - ・行動ログデータの分析によるイベント等のシミュレーション技術
 - ・公的空間をリアルタイムでモニタリングし状況を把握するために活用可能な技術
 - ・GPS衛星の建物反射によるマルチパス信号対策技術
- ◆モビリティ・ロボティクスの活用
 - ・屋内外がシームレスにつながる3Dマップの生成技術
 - ・位置情報管理技術、BIMと点群のデータ変換技術
 - ・複数3Dマップの結合にて走行可能なモビリティ・ロボット技術
- ◆防災・防犯（災害時の情報提供）
 - ・浸水シミュレーション計算にも使える地上開口部（EV,通気口含む）や屋内・地下容積が計算可能な3Dマップ
 - ・屋内位置測位技術（緯度経度+縦軸フロア+実高さ）

問合せ先

所属：
大手町・丸の内・有楽町
地区まちづくり協議会

担当者：
植村 亮平

Tel：
080-1066-0840

Mail：
omy_smartcity@mec.co.jp

神奈川県厚木市

防災・防犯

都市計画・まちづくり

環境・エネルギー

インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

神奈川県の中央に位置し、人口は約22.4万人。高規格幹線道路等のICが7箇所(予定2箇所)整備されるなど、交通結節点として多くの企業が立地。新たな産業系用地の創出など、まちづくりと一体となった企業誘致に取り組んでいる。

【特色等】

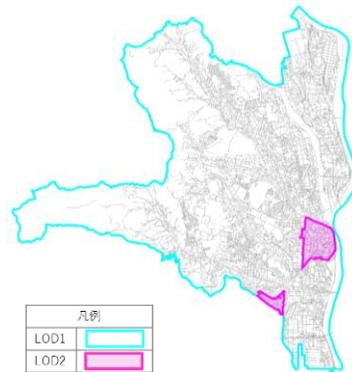
本厚木駅周辺に中心市街地が形成されており、市内中心部と郊外部を結ぶバス路線が充実しており、市内の広範囲をカバーしている。



本厚木駅周辺の中心市街地

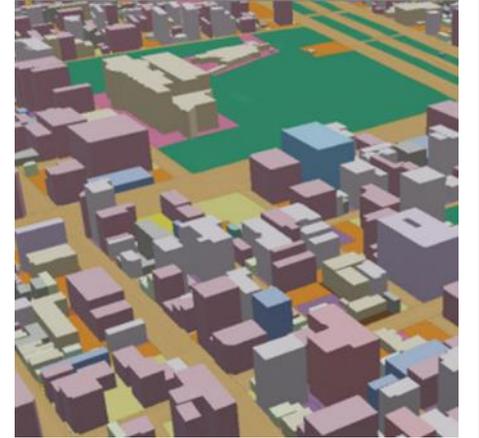
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和5年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：無
 - ・LOD2：都市機能誘導区域 (2.26㎡)
 - ・LOD1：都市計画区域全域 (市全域) (93.84 ㎡)
- テクスチャ：無
- その他の地物 (空間属性)
 - ・交通 (道路)：有 (LOD1)
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：災害リスクの可視化による市民・事業者・行政の災害リスクへの理解、防災意識の向上
- イ：復興事前準備の検討を進めるための被害想定などの具体的なイメージづくり
- ウ：生活道路の安全性向上及び交通混雑の解消
- エ：多様な主体からのより高度な都市計画やまちづくり計画の立案
- オ：再生可能エネルギーの普及など、カーボンニュートラルの推進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

市内全域の洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域を対象として、災害リスク情報の三次元表示を行い、エリアのリスクを可視化し、災害リスクの分析、効果的な防災・減災対策の検討に活用する。さらに、これを用いた住民向けワークショップを開催するとともに、地域の防災対策や復興事前準備の検討に活用する。

モビリティ

市内の幹線道路や生活道路におけるヒヤリハット発生地点等や交通混雑発生地点を可視化し対策を強化する。

その他

未定。

問合せ先

所属：厚木市まちづくり計画部
都市計画課

担当者：丸野

Tel:046-225-2400

Mail: 4600@
city.atsugi.kanagawa.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

神奈川県川崎市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

神奈川県の北東部に位置する政令指定都市。人口は約154万人で、令和12年頃まで増加することが予想されている。また、当面の間老年人口の増加が続き、超高齢社会が到来する見込みである。

【特色等】

臨海部の重工業・新産業地域、内陸部の研究開発型機能が集積した既成市街地、丘陵部の住宅地域という性格の異なった地域の結合により都市が形成されている。



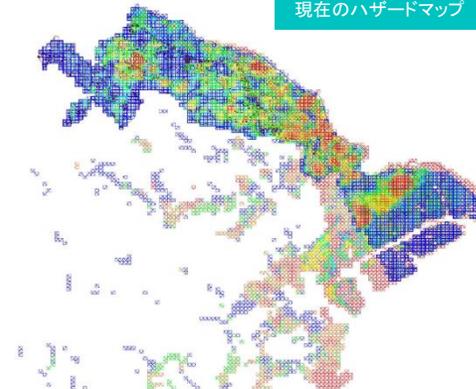
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
バージョンアップ年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：建築物・道路・都市設備・植生整備範囲（0.012 ㎡）
 - ・ LOD2：宮前区周辺、武蔵小杉駅周辺、扇町ほか（6.306 ㎤）
 - ・ LOD1：市域全域（144.4 ㎤）
- テクスチャ：LOD2の一部分のみ有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD3）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 地形：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：洪水浸水想定区域等における災害リスク情報の3D可視化、都市スケールでの災害リスク分析やシミュレーションに活用し、防災まちづくりを推進する。
- イ：3D都市モデルとCADデータを活用し、人の動線や空間の質を把握し、ウォーカブルなまちづくりの空間設計を実現する。
- ウ：3D都市モデルと過去の都市計画基礎調査データを活用し、都市構造を把握することにより都市機能の立地適正化、土地の高度利用促進、スプロール抑制等を図る。
- エ：各種規制の一元化による市民対応効率の改善



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

災害リスク情報を3次元データとして作成し、3D都市モデルと重ね合わせて可視化。垂直避難可能な建築物を可視化したり、分かりやすいハザードマップとして、住民ワークショップや立地適正化計画での活用を検討。

都市計画・まちづくり

都市計画情報、人口動態等を3D都市モデル上に可視化し、都市計画検討等に伴う庁内説明や市民説明会等での活用を検討。

※現時点で、庁内での3Dデータのビューアー整備や周知が十分に行われておらず、活用検討には至っていないため、幅広く活用方法について御教授いただき検討を進めていきたい。

問合せ先

所属： まちづくり局
計画部 都市計画課

担当者： 田原 渚

Tel: 044-200-2720

Mail:
50tosike@city.kawasaki.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

神奈川県相模原市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

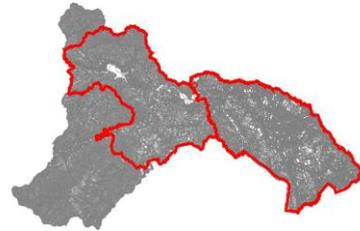
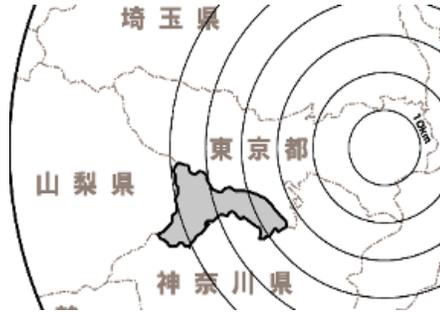
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
神奈川県の北西部に位置する政令市。市域に都市部と中山間地域を併せ持つ。リニア中央新幹線相模原駅（仮称）が設置予定。人口は約72万人。

【特色等】
6つの鉄道路線が通り、近年2つのICの開業など、交通アクセスの良さを背景に発展。東京都心まで1時間という利便性の高さを持ちつつ、川や山を身近に感じることができる自然豊かなまち。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2021
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマークのみ
 - ・LOD1：都市計画区域内（217.04ha）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・地上階数、延床面積、建築面積、構造種別、調査年



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：地形、建物における高さ情報を加味した今までにない火災延焼シミュレーションの実施
- イ：市域の7割を占める林野部での火災延焼シミュレーションの実施
- ウ：一般市民向けの防災訓練や講演会等で使用できる効果的な周知ツール



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①より現実に近い条件想定が可能な火災延焼シミュレーションシステム
- ②防災意識向上のため、VRやアプリ等によりシミュレーション結果等の効果的な市民周知
- ③消防職員の技術伝承のため、VR等により、効果的な消火活動の訓練

都市計画・まちづくり

- ④効果的な都市計画道路等の延焼遮断帯の配置シミュレーションの実施

問合せ先

所属：都市建設局まちづくり推進部都市計画課

担当者：猪野

Tel:042-769-8247

Mail:toshikeikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

神奈川県箱根町

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 神奈川県の南西部に位置し、町の大部分が高原と山岳地帯から形成される。観光を基幹産業とする観光立町である。人口は約1.1万人。

【特色等】
 箱根火山がもたらした自然景観と豊富な温泉資源に恵まれた首都圏に最も近い国立公園であり、国内外から年間約2,000万人が訪れる国際観光地である。



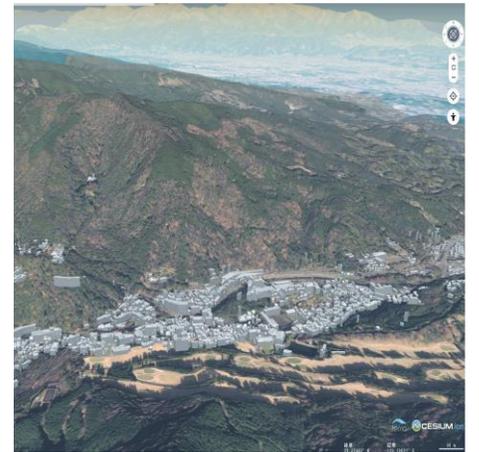
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和2年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3： - (- m²)
 - ・LOD2： - (- m²)
 - ・LOD1：町全域 (92.86km²)
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無
 - ・建物高さ・階数：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：町内5地域のコンパクトシティ化、持続可能な地域社会の構築
 イ：遊休不動産の利活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・5地域内の必要な施設・機能の可視化による民間事業者等の進出促進
- ・空き家・空き店舗の空間的把握と利活用希望者とのマッチング

問合せ先

所属：環境整備部都市整備課

担当者： 小田 滋朗

Tel: 0460-85-9566

Mail:
seibi@town.hakone.kanagawa.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

神奈川県藤沢市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

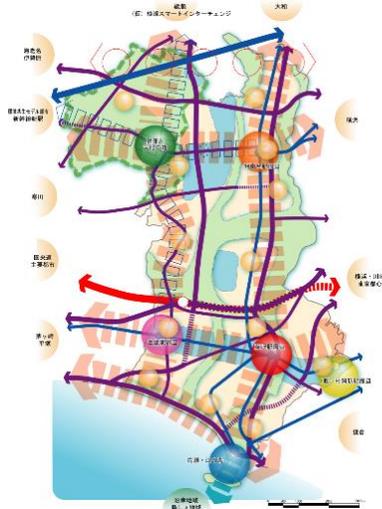
神奈川県中央南部に位置し、南は相模湾に面し、概ね平坦な地形。人口は約44万人。農業、工業、商業、教育等の多様な分野で構成されている都市。

【特色等】

東海道線、小田急江ノ島線、江ノ島電鉄、湘南モノレール等の鉄道を中心にした恵まれた公共交通と交通結節点に形成した都市拠点を中心に、利便性の高いコンパクトな都市構造としている。

【3D都市モデル構築状況】

・未整備
(ArcGISによりLOD1相当は再現済み)



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：ハザード情報を可視化し、立地適正化計画における居住誘導区域外であることや、防災対策先導区域（藤沢市独自設定）であることの周知をすることで、緩やかな居住の誘導を図りたい。

イ：災害リスクの可視化を行い、復興事前準備を行う際の検討資料や、イメージトレーニングをする際に活用することで職員及び市民に対して市街地復興における復興事前準備の推進を図りたい。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

・ハザード情報を3Dで可視化し、自身の住んでいる場所がどのようなハザード状況なのかわかる地図情報システム。

都市計画・まちづくり

・ハザード情報を3Dで可視化し、誰でもハザード状況（防災対策先導区域）を見られるようにすることで、居住の緩やかな誘導を図ることに活用。
・復興事前準備を推進するためのイメージトレーニング（庁内や市民向け）を行う際の共通認識を図るためのアプリケーションとしての活用。

問合せ先

所属： 計画建築部
都市計画課

担当者：板垣 信哉

Tel: 0466-50-3537

Mail: fj-
tosikei@city.fujisawa.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

神奈川県横須賀市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

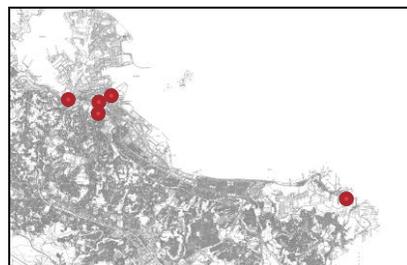
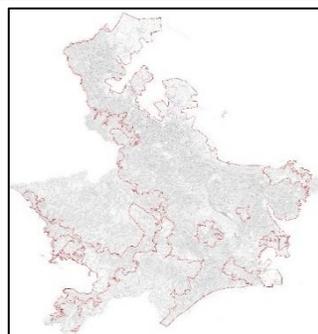
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

神奈川県南東部に位置する、人口約37万人の中核都市。明治初期に軍港が建設されたことにより都市が発展。終戦後も自動車産業等の興隆で都市が発展したが、近年人口減少傾向。

【特色等】

山間の地形が特徴。そのため土砂災害の危険エリアが多数分布している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：R2年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：5エリア
 - ・LOD1：市街化区域（66km²）
- テクスチャ：有（LOD2建物の屋根部分）
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（市内全域）
 - ・土地利用：有（市内全域）
 - ・災害リスク：有（市内全域）
 - ・地形：有（市内全域）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【3D都市モデルを活用し解決したい課題】

まちづくり検討の関係者間で将来形を含むまちの在り方を共有する際、平面図等では、認識に齟齬が生じることが課題となっている。そのため、ユースケース開発で作成したVRツールを活用することにより、まちづくり検討の議論を活発化させ、合意系の迅速化を図る。

【今後の展望】

まちづくり事業として活用していくことと並行し、防災や観光など様々なジャンルで活用できる全庁的なコミュニケーションプラットフォームとして展開し、継続的な情報資産として活用できるよう促す。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

現況を忠実に再現し、時刻に合わせて日陰も変化する。また、既存建物消去可能であり、色彩の検討もできるため、景観検討やまちづくりシミュレーションとして活用。

問合せ先

所属：都市部都市計画

担当者：小黒 爽人

Tel: 046-822-8133

Mail:

cip-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

新潟県長岡市

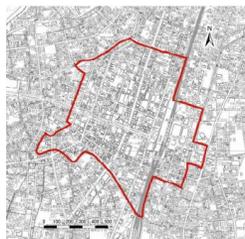
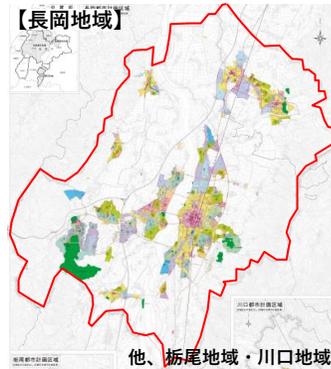
防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 新潟県の中西部に位置する中核市。主要産業は一般機械をはじめ、電子部品・デバイス、精密機械器具、食料品等の製造業。人口は約26万人。

【特色等】
 JR長岡駅周辺や千秋が原・古正寺地区を中心に広域的な商業・業務拠点を形成。上越新幹線や関越・北越自動車道により、首都圏からの交通アクセスも良く、多種多様な産業が集積。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：
2023年度整備予定（国直轄）
 - 建築物作成範囲
 - ・LOD2：中心市街地活性化基本計画区域（0.96km²）
 - ・LOD1：都市計画区域（351km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：調整中
 - ・土砂災害警戒区域：調整中
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・災害（特に水害）の被害予測による市民の防災意識の啓発
- ・都市計画情報等の可視化による土地利用の活性化

※様々なユースケースの情報収集を行っている段階であり、他自治体の活用事例を参考として活用策を探りたい



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

時系列で浸水想定区域・浸水深の変化を可視化し、避難経路の検討への活用

都市計画・まちづくり

高齢者人口・人口世帯の分布状況を踏まえた人口動態を可視化し、既存ストックの有効活用を図るためのツール

問合せ先

所属：都市整備部都市政策課

担当者：川上徹、土田真実子

Tel:0258-39-2225

Mail:
toshisei@city.nagaoka.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

新潟県新潟市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

新潟市（にいがたし）は、新潟県の北東部（下越地方）に位置する市。新潟県の県庁所在地で、人口約78.5万人の政令指定都市である。

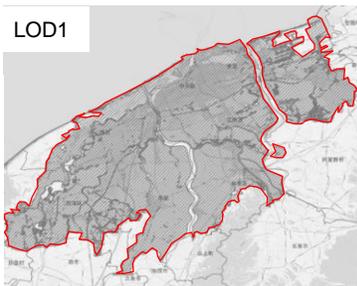
【特色等】

幕末の開港5港の一つとして古くから港が開かれ、河川交通と海上交通の結節点として栄えたきた商業都市。現在、都心軸周辺エリアを「にいがた2km（ニキロ）」と名付け、人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくりに取り組んでいる。



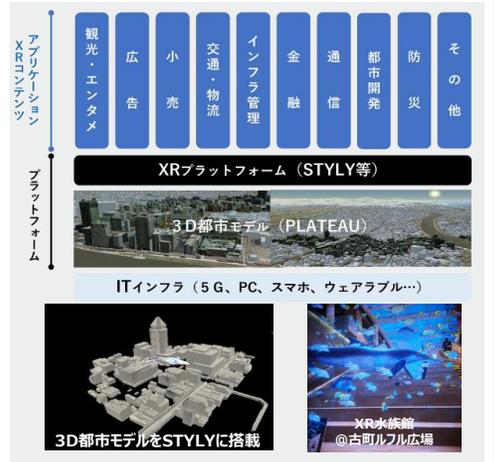
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年、2022年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：古町ルフル前広場、古町通7番町商店街、やすらぎ堤（0.01km²）
 - ・ LOD2：都市再生緊急整備区域（1.8 km²）
 - ・ LOD1：用途地域、浸水想定区域（622km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1,LOD3）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 都市設備、植生：有（LOD3）
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：コロナ禍を経た産業構造の変化と社会の急速なデジタル化を踏まえた産業の高付加価値化、未来を牽引していく新たな成長産業の創出
- イ：XR、AI、IoT、ビッグデータ、ドローンなどの先端技術を活用した新サービスの実装環境
- ウ：新たな成長産業を支えるXRなどのデジタル人材の育成と確保
- エ：都市計画情報のオープン化が求められている中で、視覚的にもわかりやすいデータの作成及び活用
- オ：人流データ等を視覚化することによるまちづくりの課題共有や施策提案等への活用



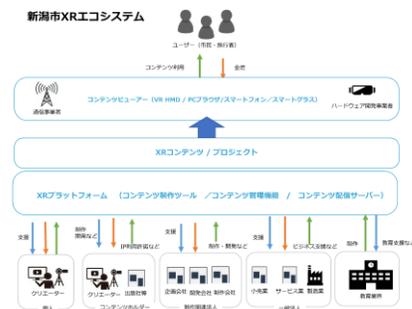
導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・ ビジネスエコシステムの構築
- ・ 3D都市モデルを活用して創出したユースケースを通じた新たな体験価値の提供

都市計画・まちづくり

- ・ 職員向け研修の実施
- ・ 各種申請等への活用検討及び、業者向けの活用支援 等



問合せ先

所属：都市政策部 都市計画課
 経済部 成長産業・イノベーション推進課

担当者：幸田 裕美
 増田 徹

Tel: 025-226-2679
 025-226-1694

Mail: tokei@city.niigata.lg.jp
growing@city.niigata.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

石川県の南西端に位置し福井県と接している。部品メーカーがものづくり産業の中心でチェーン製造や土産菓子の製造も盛ん。人口は約6万5千人。

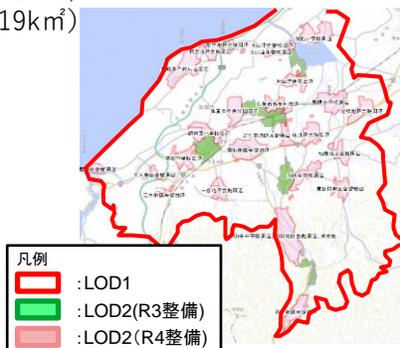
【特色等】

市内には、3つの個性豊かな温泉があり、観光入込客数は昭和55年をピークに減少傾向にあるが、令和6年に予定している北陸新幹線金沢敦賀間開業により交流人口の増加が見込まれる。



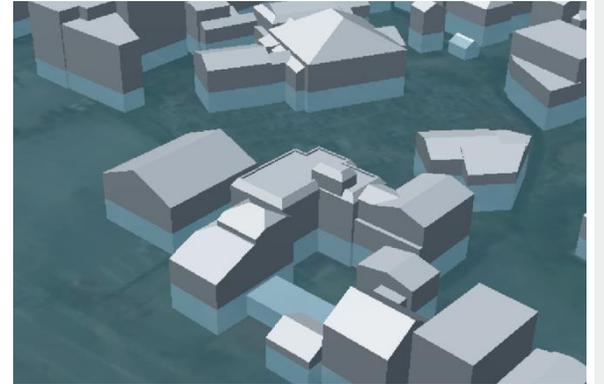
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物作成範囲
 - ・LOD3：未整備 (- km²)
 - ・LOD2：市内各地区 (23.71km²)
 - ・LOD1：都市計画区域(146.19km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有 (LOD1)
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有g
 - ・建物計測高さ：有
 - ・建物構造種別：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的な対応
 イ：建築年次、住宅密集度合、風向き等から災害リスクの見える化
 ウ：上水道・下水道・電気・通信等の埋設施設のデータ統合及び可視化
 エ：仮想空間上に昔の城下町を復元させ、歴史都市の変遷を学ぶ
 オ：町屋再生事業の再生事例や昭和30年以前の建物で町屋及び土蔵の形式を残すもの見える化し、事業効果の確認や人の流れを確認し、需要予想を事業に反映
 カ：道路の新規決定、変更、廃止に伴う周辺地域への影響の可視化
 キ：フリーWi-Fi電波を可視化し、効率的な配置計画を作成
 ク：データを活用した公共交通の最適化、移動需要の見える化、社会状況に対応した移動手段の確保
 ケ：3D情報を活用した自動運転による公共交通の輸送力強化



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ① 自然災害のシミュレーションを行うことで、人的被害や建物・インフラの被害を事前に予測するシステム
- ② 危険空き家の倒壊をいち早く確認するためのドローンによる監視システム
- ③ 空き家の活用促進のため、事業者が物件を探したり、事業戦略を考えられるよう物件情報・人の流れが確認できるシステム

都市計画・まちづくり

- ④ 道路の新規決定、変更及び廃止に伴う車や人の流れの変化を建築物等の立地状況を踏まえて検討できるシステム

インフラ管理

- ⑤ 除雪作業所要時間を降雪量に応じてシミュレーションし、最適なタイミングでの除雪車両の出動と屋根雪下ろしや応援除雪の判断等を行うシステム
- ⑥ 道路埋設物の可視化及び埋設物の検索・閲覧システム

地域活性化・観光・コンテンツ

- ⑧ 仮想空間上に昔の城下町を復元させ、歴史都市の変遷を学ぶ

モビリティ・ロボティクス

- ⑧ バス等公共交通運転手の人材不足を補うための自動運転技術

問合せ先

所属：建設部都市計画課

担当者： 中川大雅

Tel: 0761-72-7925

Mail:

toshiseisaku@city.kaga.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

石川県金沢市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

石川県のほぼ中央に位置する中核市。人口は約46万人。伝統工芸など独自の産業構造と人・モノ・情報が連関する地域産業が存在する。

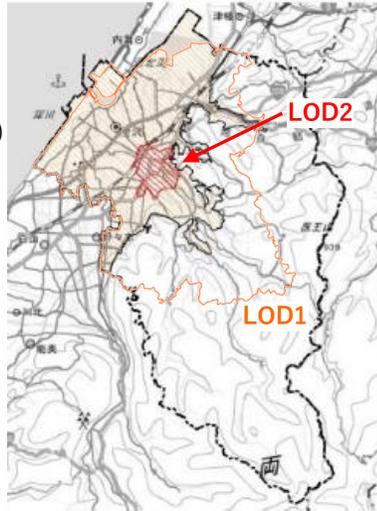


【特色等】

中心部には、金沢城や惣構、用水網など城下町の都市構造や茶屋街、寺院群などの歴史的なまちなみが今もなお残る。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：中心市街地活性化区域(841ha)
 - ・LOD1：都市計画区域(25,011ha)
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・地上階数/調査年



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

未定

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

未定

問合せ先

所属： 都市整備局都市計画課

担当者： 神谷 研史

Tel: 076-220-2353

Mail: tokei@city.kanazawa.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長野県伊那市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
長野県南部に位置し、2つのアルプスに抱かれる自然豊かな、人口約67,000人の地方都市

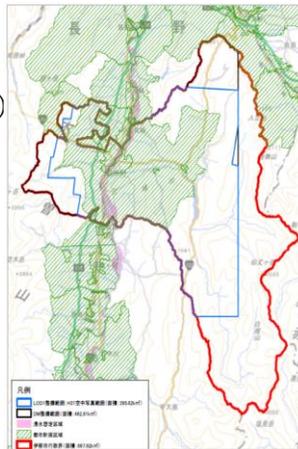
【特色等】
R3.3.30「伊那市DXしあわせのまち宣言」・ドローン配送サービスを実用化・遠隔診療事業モバイルクリニック・バス型移動行政サービス「モバイル市役所」・AI活用オンデマンドタクシーの全市展開など多くの事業を実施中

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2019年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：なし（0 km²）
 - ・LOD2：中心市街地（1.11km²）
 - ・LOD1：山岳を除く市内全域（395.62km²）
 - テクスチャ：
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：無



伊那市中心市街地

LOD1



LOD2

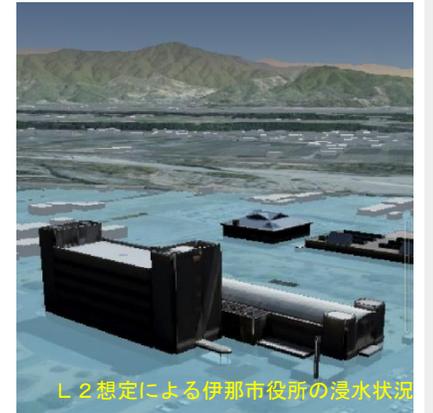


3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：産学官“民”連携による新産業技術などを活用新たなまちづくりを展開することになり、“民”からの意見を重視する考え。この“民”は市民や市民団体だけではなく、メタバースを活用して、全国から広く意見を募る方針。3D都市モデルとメタバースを融合し、全国からの伊那市のまちづくりに対する率直な意見を期待する。
- イ：L2浸水想定では伊那市役所1階が水没する。災害時に備え、ランダムに徐々に浸水する状況を3D都市モデルで作り上げ、視覚的に想定する中での防災訓練を実施したい。



伊那市中心市街地



L2想定による伊那市役所の浸水状況

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

3Dメタバース都市による新たなまちづくりの実現

防災・防犯

3D防災訓練の実施

問合せ先

所属： 建設部都市整備課

担当者： 渡辺 葉平

Tel: 0265-8-78-4111
(内線2521)

Mail: tos@inacity.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長野県岡谷市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

長野県のほぼ中央、諏訪湖の西岸に面し、西北には塩嶺王城県立公園、東には八ヶ岳連峰、遠くには富士山を望む、湖と四季を彩る山々に囲まれた風光明媚な都市。総面積 85.10km²、人口は約4.7万人。



【特色等】

高度な超精密加工技術を有する企業が数多く立地し、全国屈指の企業集積地として、その技術はさまざまな分野で高く評価されている。

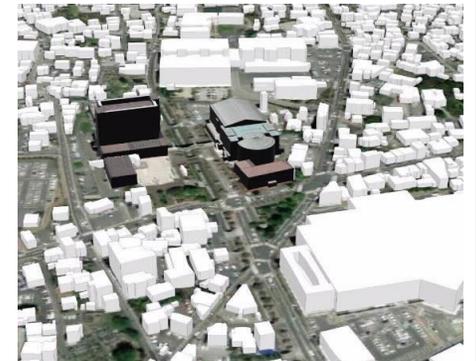
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物物作成範囲
 - ・LOD
 - ・LOD
 - ・LOD
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：
 - ・土砂災害警戒区域：
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：
 - ・土地利用現況：
 - ・

更新中

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：令和3年、土石流により死者が出る災害に見舞われた経験から、市民への様々な災害に対する可視化、分析を行いたい。立地適正化計画における、防災指針の縦避難建物の抽出、明示にも役立てたい。
イ：用途地域、都市計画道路など、様々な都市計画の可視化、市民理解の向上、分析。
ウ：道路台帳、公園、農地、空き家、文化財、下水道、河川など既存データを3Dに重ね、新たな視点での検討材料とし、また、地下も含め、高さデータのあるものの可視化を行いたい。
エ：ランドマークからの展望シミュレーション、新規建物等設置後の景観シミュレーション、交差点視界状況のシミュレーション等。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

災害情報集約による市民への適切な防災アドバイス

インフラ管理/環境・エネルギー

センシングとデータ統合によるインフラのマネジメント、公共空間の利用状況や管理に必要な情報の日常的・継続的な計測による維持管理への活用

都市計画・まちづくり

可視化したデータの効果的な活用

地域活性化・観光・コンテンツ

④各シミュレーションの効果的な活用



問合せ先

所属：建設水道部 都市計画課

担当者：統括主幹 小口 直伸

Tel: 0266-23-4811

Mail:
oguchi.naonobu@city.okaya.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長野県佐久市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

長野県東部（東信地域）の佐久平に位置し、北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、千曲川が南北に貫流する自然環境に恵まれた高原都市。

人口は約9.9万人。

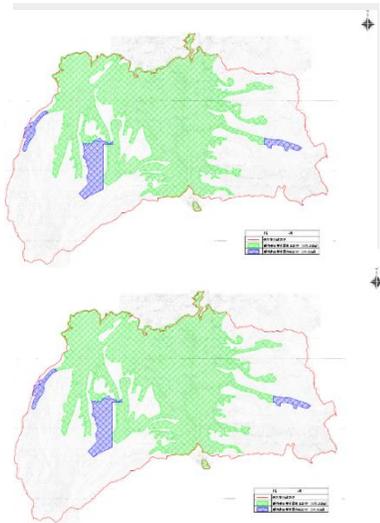
【特色等】

晴天率の恵まれ、熱帯夜を観測したことがなく、過ごしやすい気候。首都圏からのアクセスもよく、佐久平駅周辺の都市空間と自然との調和がとれたまち。



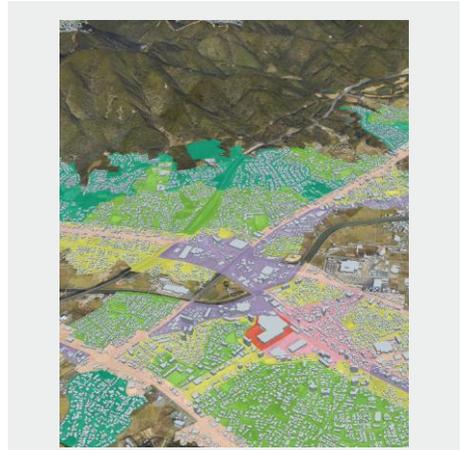
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：主要建造物（11箇所）
 - ・ LOD1：人口集積（184.58 ㎡）
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：LOD
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 洪水浸水想定区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：市民の防災意識の向上
- イ：避難場所の見直しや、緊急的な垂直避難建物の把握など、防災対策の高度化
- ウ：各種計画の見直し時における、3D都市モデル分析による実行性の高い計画立案
- エ：用途地域や居住誘導区域等の都市計画情報の市民への積極的な発信及び活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ・ 3D都市モデル上に都市計画の様々な情報を集約し、佐久市版ウェブGIS上を整備し、庁内外の誰もが閲覧できる環境を構築する。

防災・防犯

- ・ 河川の浸水想定データ（浸水深、家屋倒壊氾濫区域など）の3次元表示を行う。建物には「高さ、階高、用途、構造」を属性情報として付与する。両データを分析し、最大浸水深となっても最上階が浸水しない建物を抽出するなど、様々なシミュレーションに活用する。

問合せ先

所属：都市計画課

担当者：山浦

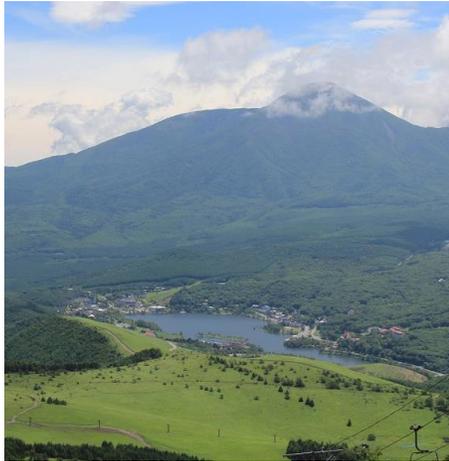
Tel: 0267-62-3404

Mail:toshikei@city.saku.nagan
o.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 長野県中部やや東よりに位置し、八ヶ岳西側266.59km²の市域は、標高が770m~1,200mで高低差が大きい。蓼科高原や白樺湖など、年間320万人が訪れる観光地を有する。主な産業は精密業を主とした工業で、人口は約5.5万人。

【特色等】
 冷涼な気候で、晴天率が高く、約1万戸の別荘ある。また、縄文時代の遺跡が多数発掘され、国宝土偶を2体有している。



【3D都市モデル構築状況】○データ整備年度：2022年度

○建物物作成範囲

・LOD2：市民活動センター「ゆいわーく茅野」（0.10 km²）

・LOD2：茅野駅周辺、

天竜川水系上川以北（2.57 km²）

・LOD1：茅野市全域
 （266.60 km²）

○テクスチャ：有

○その他の地物（空間属性）

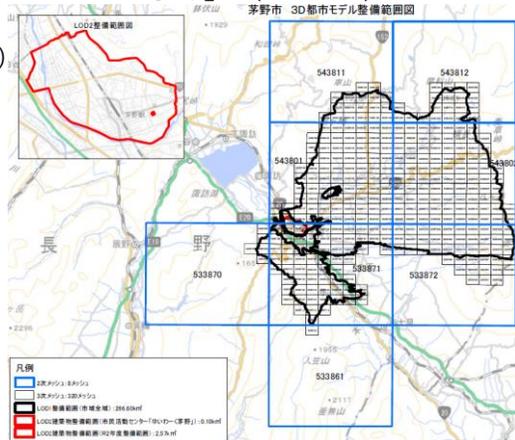
・交通（道路）：有（LOD1）

・土砂災害警戒区域：有

○主題属性

・建物利用現況：有

・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【行政事務の簡略化】3D都市モデル上で、都計法の開発許可申請（建築確認申請）のシミュレーション・簡易審査を行いたい。

【景観と環境に配慮した太陽光発電に関する規制】太陽光発電所設置規制区域の設定に当たり、各種規制区域の重畳だけでなく、地形や建物の状況から、景観にも配慮した区域の設定を行いたい。

【安心安全な山岳観光】登山客の人流データをリアルタイムで取得し、見守りによる安心安全を提供したい。また、登山ルート可視化し、危険箇所や絶景ポイントを特定するとともに、登山客のニーズに合った公共交通施策も講じたい。

【災害発生時の3D都市モデルの活用】火災発生時に消火栓等の水利位置の把握、最適な救助ルートを選定、交通整理に3D都市モデルを活用したい。また、水害発生時に河川の水位データをリアルタイムで確認し、浸水想定区域内の避難誘導に活用したい。

【御柱祭の密回避対策】御柱祭で、御柱の曳行情報をリアルタイムで取得し、密回避のための交通誘導を行う。

【交通弱者の公共交通政策】ETC2.0で蓄積しているデータを取得・分析し、主要経路や利用頻度が高くなる時間帯を可視化し、バス路線の見直し等の公共交通政策に反映させる。

【安全な土地活用】古地図と現在地図を重ね合わせ、盛土・埋立て・堆積などの地形の変化（人為的な宅地開発等や自然現象による地滑り等）を明らかにすることで、地震・水害等によるリスクを住民に周知し安全な土地活用を図る。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

3D都市モデル上に、開発計画のデータを取り込むと、開発可能エリア判定、雨水排水、接道等の要件を満たすか判定する行政事務の簡略化ツール。

地域活性化・観光・コンテンツ

安心安全な山岳観光を実現するために人流データをリアルタイムで取得できるツール（専用端末含む）。また、データを分析する技術。

防災・防犯

3D都市モデルを活用して火災発生時に最適な水利位置の判定、最適な救助ルートの判定、交通整理等の情報発信ができるツール。

モビリティ・ロボティクス

交通弱者の公共交通政策としてETC2.0で蓄積しているデータを取得・分析できる技術。（市町村職員で操作できるもの）

環境・エネルギー

検討中につき、現時点で具体イメージ無し

その他

プラトリーにCADデータ（3D含む）を重ねられる機能（道路整備等の景観確認に活用）、また、3D都市モデルの属性情報に、画像データを掲載したり、SNS掲載情報との連携（八ヶ岳をクリックすると「#八ヶ岳」が表示される）があるとよい。

問合せ先

所属：
 都市建設部都市計画課

担当者：
 小泉 涼

Tel：
 0266-72-2101（内線534）

Mail：
 toshikeikaku@city.chino.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長野県松本市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

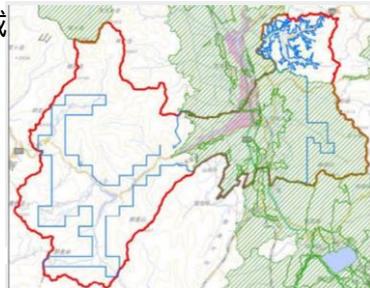
【地理、人口、産業の現状等】
長野県のほぼ中央から西部に位置し、県内最大の面積を有する人口約24万人の中核市。電気・機械・食料品等の業種を中心に発展し、近年は知的集約型企業の拠点として更なる産業集積が進んでいる。



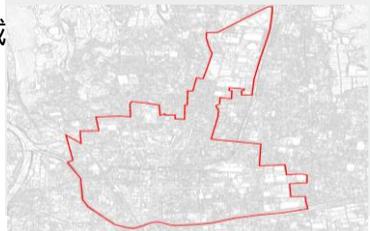
【特色等】
日本の屋根と言われる山岳地帯から松本平と呼ばれる肥沃な盆地まで変化に富んだ多彩な地勢が形成されている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2021年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：都市機能誘導区域または、中心市街地を念頭に置いた（4.5km²）
 - ・LOD1：市内全域（429.76 km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有

LOD1区域



LOD2区域



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

松本市都市計画マスタープラン、松本市立地適正化計画の中で松本城～松本駅～あがたの森を中心とする中心市街地は最も重要なエリアとして、多様で高次の都市機能、高密度でありながら豊かな住環境を整備することで活性化を目指している。

中心市街地活性化に関する施策立案において検討が必要になる土地利用多様化の手法である地域地区の見直し・地区計画の決定、高度化・高密度化の手法である建物の高さ制限の緩和等について議論するための基礎資料となるものを作成したい。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ①中心市街地の建物データ等の更新、人口情報等の付加
- ②活性化ビジョンを複数案作成
- ③活性化ビジョンに沿った3Dシミュレーションの構築
- ④構造物ボリュームの可視化、情報分析
- ⑤活性化ビジョンそれぞれに対して考察

問合せ先

所属：建設部都市計画課

担当者：金澤 拓則

Tel: 0263-34-3251

Mail:
toshikei@city.matsumoto.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長野県諏訪市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

長野県のほぼ中央に位置し、面積は109.9km² 人口は約5万人。諏訪湖や霧ヶ峰、高島城や諏訪大社など自然と歴史にあふれた街であるとともに、モノづくりの伝統がいきづく産業都市でもある。

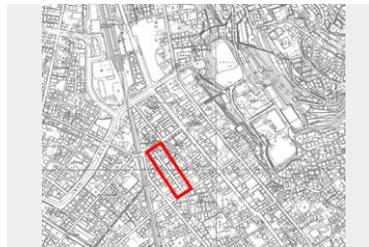
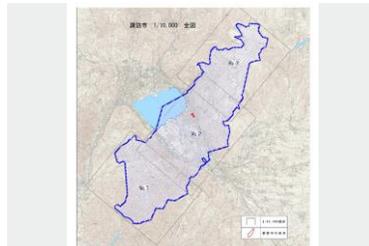
【特色等】

四方を山に囲まれた諏訪盆地内にあり、都市的な土地利用は約20%ほど。多くの1級河川が市内を縦断しているため、古くから氾濫被害が発生している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023年(整備中)
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：上諏訪駅周辺（0.01 km²）
 - ・LOD1：諏訪市全域（109.9 km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有（LOD1）
 - ・地形：有（LOD1）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：有（LOD1）



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 《災害リスクの可視化・計画策定》
 - ・計画規模や想定最大規模における浸水深をシミュレート
 - ・避難可能な高層建物を整理
建物の構造（木造・RC）の情報も踏まえた、避難可能な施設を選定
 - ・シミュレーション結果をハード対策にも活用
- 《住民説明・意識啓発》
 - ・浸水の様子をアニメーションで表示し、市HPで公開
 - ・シミュレーション結果を教育現場や自主防災組織において活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・諏訪市ハザードマップの可視化を実現する。特に、垂直避難施設の検討においては、都市計画基礎調査により本市が保有する建物階数データ等を参考として浸水深のデータと住民の属性情報データを重ね合わせるなどして垂直避難施設の選定において3D都市モデルを活用する。
- ・早期の適切な避難行動を促すため、避難所・避難場所等洪水ハザードマップの情報を重ね合わせて表示可能にする。
- ・水位モニタリングと連動した可視化を目指し、国土地理院が提供する「防災ナビ」が公開している時系列の浸水シミュレーションデータを重ね合わせ可視化を行う。

問合せ先

所属： 建設部都市計画課

担当者： 玉井 常泰

Tel: 0266-52-4141

Mail: tokei@city.suwa.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

静岡県

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

日本のほぼ中央に位置し、南側は駿河湾、遠州灘に面する。全国有数の工業地域であるほか、富士山、三保の松原などの世界遺産や伊豆半島ジオパークなどの観光資源を有する。人口は約360万人。

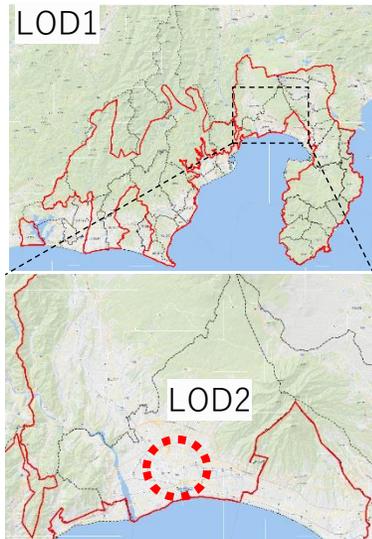


【特色等】

3次元データを災害復旧や観光等の様々な分野に活用するVIRTUAL SHIZUOKA構想を推進。

【3D都市モデル構築状況】 ※予定含む

- データ整備年度：2022～2023年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：富士市内（約1,000棟）
 - ・ LOD1：右図のとおり（5,426 km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 都市計画決定情報/土地利用/災害リスク/地形
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：インフラ施設の施設台帳や点検台帳等と3次元仮想空間の統合によるマネジメントの効率化
- イ：災害リスクの可視化による住民の防災意識向上と避難行動の実効性向上



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

3D都市モデルと道路、河川・海岸、砂防、港湾・漁港の各種施設の台帳や点検記録等の重ね合わせにより、一元的にデータを蓄積、確認ができる環境を構築することで、施設の維持管理の効率化や災害対応の迅速化を図る。

防災・防犯

静岡県下の3D都市モデル及び土砂災害等のハザードマップを東京都デジタルツインの3Dビューア（協定締結済み）上で重ね合わせ、災害リスクをわかりやすく可視化する。

問合せ先

所属：交通基盤部建設政策課
未来まちづくり室

担当者：鈴木 敦

Tel:054-221-2497

Mail:mirai@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県掛川市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
静岡県の県西部に位置し、市中央部にJR東海道新幹線、東名高速道路等が通り、交通条件に恵まれた都市。人口は約11.5万人。

【特色等】
JR掛川駅周辺には、掛川城・掛川城御殿・大日本報徳社など歴史・文化的資源が集約し、地域の歴史や文化を尊重し、「報徳の精神」と「生涯学習の理念」を根幹とした「協働のまちづくり」を進めている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：ランドマーク5か所のみ
 - ・LOD1：全域（265.69 m²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：LOD1
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：将来人口推計を使用したシミュレーション
イ：公共交通の利便性向上と空白不便地域の移動確保、データを活用した公共交通の最適化、移動需要の可視化、高齢化社会・運転手不足に対応した移動手段の確保
ウ：大雨時の水位モニタリングと連動した可視化や被災予測の可視化による居住誘導区域への誘導



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

浸水シミュレーションを活用した防災指針や防災計画の検討

都市計画・まちづくり

センシングとデータ統合によるインフラのマネジメント、公共空間の利用状況や管理に必要な情報の日常的・継続的な計測による維持管理への活用

モビリティ・ロボティクス

バス路線の維持・拡大に必要なバス運転手の人材不足を補うための自動運転技術

問合せ先

所属:都市政策課
企画政策課

担当者:都市政策課 神野嵩之
企画政策課 小笠原潤子

Tel: 都市政策課 0537-21-1151
企画政策課 0537-21-1127

Mail: tosiseisaku@city.kakegawa.shizuoka.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

静岡県菊川市

防災・防犯

都市計画・まちづくり

環境・エネルギー

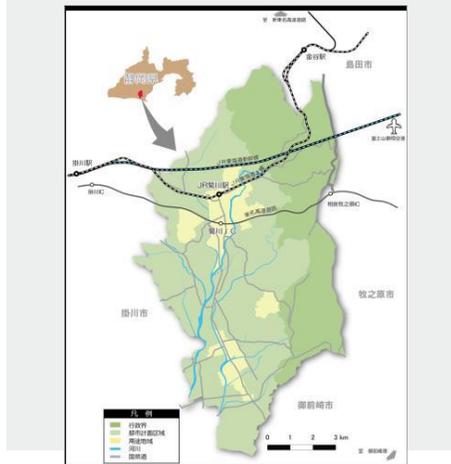
インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

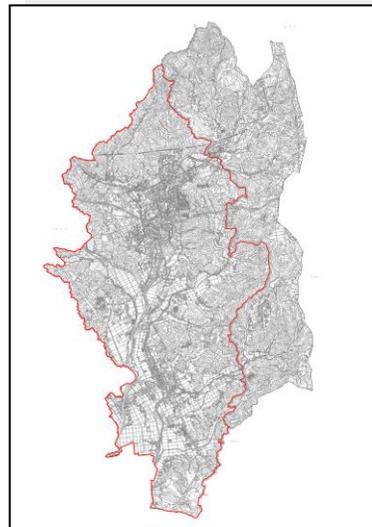
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
静岡県の中西部に位置し、市の中央を一級河川菊川が流れる。市東部には牧之原台地が広がり、「お茶のまち菊川」として知られている。人口は約 4.7 万人。

【特色等】
市内にJR 菊川駅、東名高速道路 菊川 IC を有し、近隣に富士山静岡空港や御前崎港を有する交通利便性の高い地域である。現在、菊川駅北口を整備しており、駅周辺空間の活用を検討している。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：R3年整備
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD1：42,802棟（6196ha）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ①公共施設の建築や道路整備に伴う周辺環境に与える影響（景観や人の流れ）の確認
- ②立地適正化計画における防災指針の作成（誘導区域の設定）
- ③災害危険区域の可視化による住民周知
- ④浸水想定区域における貯留施設の検討



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①立地適正化計画の見直しの伴う防災指針作成への活用
- ②浸水想定区域（浸水深や継続時間）やその他の災害危険区域を3Dで可視化し、災害時のシミュレーションをすることで、誘導区域の設定材料、住民への啓発資料としたい。
- ③浸水対策として、流域や地形を考慮した貯留施設の、最適な場所や容量等を検討したい。

都市計画・まちづくり

- ④新たな施設が建設される場合に、完成イメージを立体的に可視化し、景観や人の流れへの影響の確認や、説明資料として活用したい。
- ⑤施設や道路整備の際に、現状の人の流れを配置検討の材料としたい。新たな施設や道路が整備された場合の、人の流れの変化をシミュレーションしたい。

インフラ管理

- ⑥既存建築物や道路の復旧をする際にモデルがあることによって簡略化できるのであれば活用を検討したい。

問合せ先

所属： 建設経済部都市計画課

担当者： 高柳信太郎

Tel: 0537-35-0932

Mail:
toshikei@city.kikugawa.shizuoka.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

静岡県静岡市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

静岡市は、静岡県のほぼ中央に位置しており、北には南アルプス、南には駿河湾を擁し、豊かな自然を有している。プラモデルなどのものづくり産業、お茶やみかん、桜エビ等の農林水産業、国際貿易拠点の清水港を活用した物流など、多様な産業により都市を発展。人口は約69万人。



【特色等】

城下町としての静岡都心、国際拠点港湾の清水港を要する清水都心、両都心の中央に位置する新都心の草薙・東静岡両副都心が核となり、高度な都市機能を備えた県中部地域の中核都市として発展。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：一部整備 (0.14km²)
 - ・ LOD1：都市計画区域 (234.9 km²)
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有 (LOD0)
 - ・ 土砂災害警戒区域：無 (2023年度整備予定)
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

■都市計画立案の高度化

都市計画検討の際に3D都市モデルを活用して、都市の状況・人口動態等を可視化し、都市の課題をより理解しやすいように表現し、用途地域見直し等の都市計画立案の高度化を図る。

具体的には、下記の情報等を可視化する。

- ・ 都市計画基礎調査による情報（家屋現況・土地利用等）の可視化
- ・ 都市計画情報（用途地区、高度地区 等）の可視化
- ・ 人口の増減を可視化
- ・ 洪水浸水想定区域など災害リスクの可視化



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

現時点において、具体的に導入したいシステムやアプリなどは想定していませんが、3D都市モデルに「防災、環境、モビリティ、インフラ管理、観光など」の様々なデータを重ね合わせることで多分野での活用を促進し、官民間問わず誰もが3D都市モデルを利用して各種情報検索やシュミレーションを実施できる体制を構築することが重要と認識しています。

庁内他部局と連携して、都市アセットの利活用検討など、他分野への活用を検討していきたく考えています。

問合せ先

所属： 都市局 都市計画部
都市計画課

担当者：土地利用計画係
尾崎

Tel: 054-221-1409

Mail:
toshi@city.shizuoka.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

静岡県沼津市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

静岡県沼津市は、東京から約100km圏に位置し、富士、箱根、伊豆に囲まれ、静岡県東部の拠点都市として発展してきた都市。人口は約19万人。

【特色等】

沼津市は、緑豊かな山々に囲まれ、駿河湾に面した海岸線は約63kmに及ぶ。また、まちの中心部には狩野川が流れるなど、自然豊かな都市。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：2020年度

○建築物モデル

・LOD3：沼津駅～沼津港 (2.2km²)・LOD2：都市機能誘導区域 (4.2km²)・LOD1：市内全域 (187.1km²)

○道路モデル

・LOD3：沼津駅～沼津港 (2.2km)

・LOD1：市内全域 (187.1km²)

○植生モデル

・LOD3：沼津駅から沼津港までの道路沿線 (約2km)

○都市設備モデル

・LOD3：沼津駅から沼津港までの道路沿線 (約2km)

○土地利用モデル

・LOD1：市内全域 (187.1km²)

LOD1



LOD2



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 沼津市では、南海トラフを震源とした大地震による津波被害や、近年、頻発・激甚化する豪雨災害への対策の充実が求められている。
- 災害ハザードエリアには、まちの成り立ちに深く関係し、年月をかけて多様な都市機能や居住ストックを蓄積するとともに、コミュニティや生活文化を形成してきたエリアが含まれており、これら地域は立地適正化計画における居住及び都市機能誘導区域として設定している。
- 居住及び都市機能の誘導に合わせ、計画的な防災・減災対策に取り組む必要がある。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

住民自身が災害リスクやその対策について正しく理解することができるよう、災害に関するさまざまな情報を3D都市モデルに重ね合わせ、リスクをわかりやすく可視化する。また、3D都市モデル上で、時間軸なども組み入れた高度な防災・減災シミュレーションを行うことで、災害対策の効果等についても理解を深め、防災意識の向上を図りたい。



問合せ先

所属：まちづくり政策課

担当者：宮下俊希

Tel : 055-934-4760

Mail : mati-seisaku
@city.numazu.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

首都圏と近畿圏の中間、静岡県の西部に位置しており、1558km²の面積を有する人口約80万人の政令指定都市。輸送用機器や楽器、光・電子技術など多種多彩な産業が立地する「ものづくり」のまち。

【特色等】

市域の70%は天竜川流域の森林であり、都市部、田園地域、中山間地域など多様な自然社会環境を有する「国土縮図型都市」

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：都市機能誘導区域（約8.1km²）
 - ・ LOD1：都市計画区域（約514.6km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 都市計画決定情報：有
 - ・ 災害リスク：有
 - ・ 国勢調査（人口）結果：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

1. 災害分野
 - ・ 浸水想定、土砂災害等の区域の可視化による防災意識の向上
 - ・ 災害リスクの分析、災害対策への提案等
2. 都市計画・まちづくり
 - ・ 中心市街地活性化のための検討
 - ・ 立地適正化計画の効果立証
 - ・ 都市情報の可視化、まちづくりの効果分析等



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

1. 防災・防犯
 - ・ 水害、地震等の災害シュミレーションの実施
 - ・ 災害リスクを踏まえ、避難地、避難経路、経過時間を推定した避難計画の検討
2. 都市計画・まちづくり
 - ・ 人流データ、都市計画情報等を踏まえた将来的なまちづくりの検討
3. その他
 - ・ ダッシュボードによる都市情報の発信

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：大野木、高村

TEL：053-457-2371

Mail:toshikei@city.hamamatsu.shizuoka.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

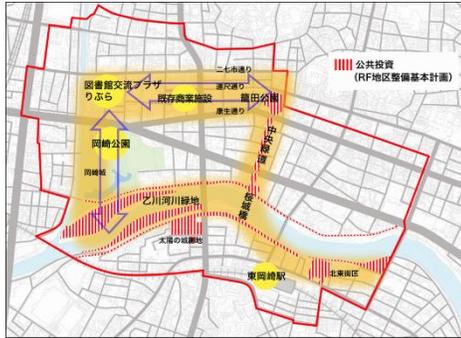
愛知県岡崎市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 愛知県中央に位置する中核市。本市を含む西三河エリアは、製造品出荷額等で年間25兆円。製造業の暮らしを支える都市として38万人の人口を有する。

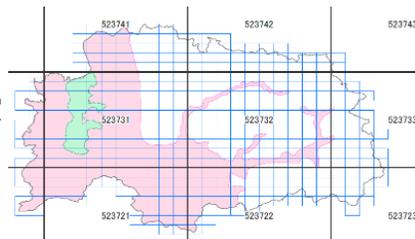
【特色等】
 東岡崎駅周辺にて、公共空間活用を軸にまちなかウォークブルを推進しつつ、都市再生に注力している。



【3D都市モデル構築状況】

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：整備済（13.49km²）※1
 - ・LOD1：都市計画区域及び浸水想定区域を包含する範囲（226.86km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・都市計画区域：有
 - ・道路等：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



※1：LOD2は岡崎駅以北、天神橋以南、矢作川以東、市立甲山中学校以西の内、乙川氾濫の影響を受ける地域（13.49km²）

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

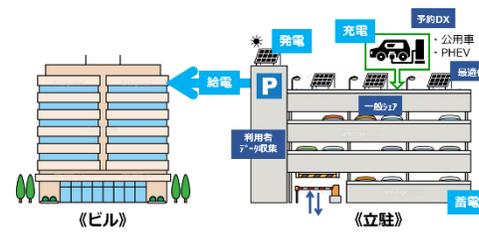
【浸水被害予測・可視化】

降雨量、河川水位、浸水被害について、予測と現状把握により、事前含む的確な避難指示の発令、情報発信



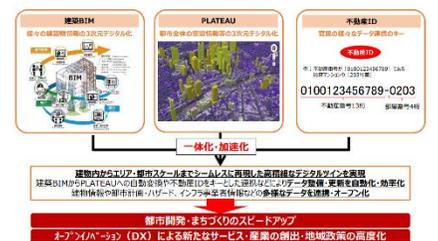
【EV立駐環境マネジメント】

自動車依存度の高い地方都市におけるまちなか駐車場の満空、発電・充電のエネマネ・情報発信



【不動産ID連携】

人流・車流などのスマートデータ、不動産IDと紐づけて統計データよりも粒度の細かい価値を見える化



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

【浸水被害予測・可視化】

災害対策におけるワークフローである予測・把握・判断・発信・対応に沿って、国県市町村一連で情報を共有できるシステム（SIP4D）の3D化へPLATEAUを活用

【EV立駐環境マネジメント】

まちなか立体駐車場における発電・充電・ビル給電などのエネマネと、満空情報、シェアカー有無を合わせて見える化することで、立駐管理者と駐車場利用者の利便性を向上させる。

【不動産ID連携】

マクロで俯瞰して活用する都市計画に加え、ミクロで不動産市場へもPLATEAU活用用途が広がるよう、スマートデータと不動産IDを紐づけて、エリア価値を可視化し投資を誘導する。

問合せ先

所属：総合政策部
 デジタル推進課

担当者：鈴木

Tel: 0564-23-6761

Mail:
 digital@city.okazaki.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

愛知県津島市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

津島市は濃尾平野の西部、名古屋市の西方約16kmに位置し、昭和22年3月、県下9番目の市として誕生した。津島駅、津島神社、天王川公園を中心に市街地が形成され、人口は約6万人規模の市です。

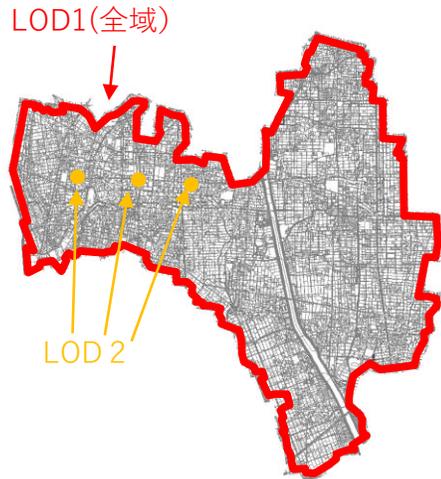


【特色等】

天王川公園では春に藤祭り、夏に天王祭、市内各地では秋に秋祭り、津島神社では冬に開扉祭と四季ごとに祭りが開催される。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2021年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：津島駅、市役所等
 - ・ LOD1：津島市全域（25.09 m²）
- テクスチャ：一部有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有
 - ・ 津波浸水想定区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

現在、防災やまちづくりにおいて課題等が存在しておりますが、3D都市モデルを活用して解決できる課題の整理を終えていない状況です。
意欲のある民間事業者と担当部局で意見交換を行いながら、当市が取り組めることを模索中です。

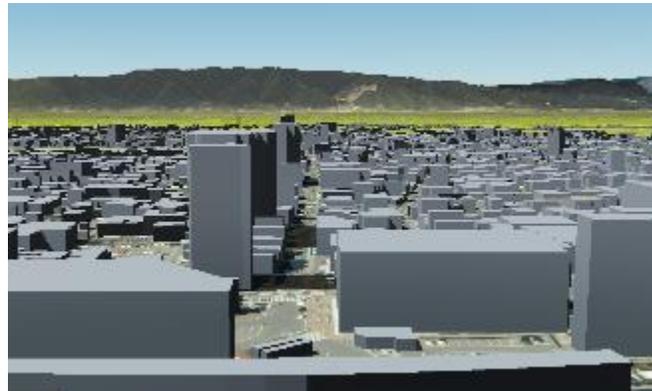
導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

都市計画・まちづくり

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・ 市民等に行政の取組がより理解されるようにシンボルロードや浸水状況を可視化して公表する。



問合せ先

所属： 建設産業部都市計画課

担当者： 加藤良介

Tel: 0567-55-9357

Mail:
toshikeikaku@city.tsushima.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 愛知県の東南端に位置する中核市。人口は37万人。JR東海道新幹線、東名高速道路、国道1号線など、わが国の東西を結ぶ動脈が走る「交通の要衝」。主な産業は工業と農業。

【特色等】
 公共交通が充実しており、路面電車は市民の足として「市電」の愛称で親しまれている。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2023年、2024年
 - 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：駅前エリア（0.5km²）
 ※上記は2024年整備予定ランドマーク（避難所）
 - ・ LOD1：豊橋市全域（262.00km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土地利用：有
 - ・ 災害リスク：有
 - 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア 水害においては、想定していないような道路の冠水などにより、命の危険や避難行動をとれなくなるといった恐れがあるため、できる限り早期に避難行動をとるような意識啓発が必要。
- イ 中心市街地の人流の実態が把握できておらず、どのエリアにどんな施策が有効であるかの検証が必要。
- ウ 相続等でなんとなく所有している空き家所有者に対し、早い段階で売る、貸す、解体するといった空き家を放置せず流通できるような仕組みづくりが必要。
- エ 市民や事業者に対し、太陽光パネルの設置につながるような情報発信が必要。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①実際に発生した水害を再現し、市民の避難行動をシミュレーションし、検証することで、早期の避難行動につなげる。

都市計画・まちづくり

- ②駅前エリアの人流を可視化することで、空き店舗のマッチングやEBPMにより中心市街地にぎわい創出を図る。
- ③所有している空き家の情報や概況などを簡単に取得できるシステムの構築。

環境・エネルギー

- ④本市全域の太陽光発電のポテンシャルを可視化できるシステム。

問合せ先

所属：都市計画部都市計画課

担当者：鈴木 吉川

Tel: 0532-51-2384

Mail:
 toshikeikaku@city.toyohashi.lg.jp

愛知県名古屋市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

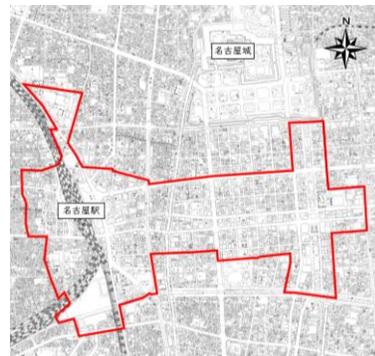
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 愛知県の西部に位置する政令市。
 市域面積は約 326km²で、人口は約
 230万人（令和4年4月1日時点）。

【特色等】
 日本のほぼ中央に位置し、鉄道
 や幹線道路の結節点として東西
 交通の要衝である。また、江戸
 時代より繁栄したものづくり文
 化や芸能文化等、多様な文化が
 現在にも継承されています。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2021年度
 - 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：－ (0m²)
 - ・ LOD2：名古屋駅・伏見・栄地域
名古屋臨海地域 (5.46 m²)
 - ・ LOD1：名古屋市全域 (326.5km²)
 - テクスチャ：有（建物）
 - その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD0）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



都市再生緊急整備地域の一部
 （名古屋駅・伏見・栄地域）

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 景観シミュレーションによる都市景観の更なる向上
 - ・ 超高層建築物とスカイラインとの調和
 - ・ 建築物中高層部への緑化
 - ・ ランドマークからの街並み（眺望景観）
 - ・ 屋外広告物の設置等による街並み比較



◀スカイラインの検討イメージ

- ウォーカブルなまちづくりの推進と景観形成の共存
 - ・ ピロティ空間を3D化し、実際歩くイメージを検討
 - ・ 街路樹等の植栽を3D化し、植栽の有無や樹種による違いを比較
 - ・ 電柱を3D化し、無電柱化前後の街並み比較
 - ・ 壁面後退区域（歩行空間）にベンチや置き看板等を設置した街並み比較



▼景観シミュレーションによる
 建築ボリューム確認

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- 取組みのイメージ
 - ・ 建築計画と周辺環境の調和性を景観シミュレーションにて確認
 - ・ 有識者との事前協議において、建築前後の周辺環境イメージを共有し、より具体的で活発な議論を促進
 - ・ 居心地が良く歩きたくなる空間創出の検討
 - ・ 市独自で策定している景観形成基準において、地区の現状や課題等を可視化し、より効果的な景観形成基準を検討

問合せ先

所属：
 都市計画部
 ウォーカブル・景観推進室

担当者： 渡邊 智絵

Tel: 052-972-2732

Mail:
 a2732@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

愛知県日進市

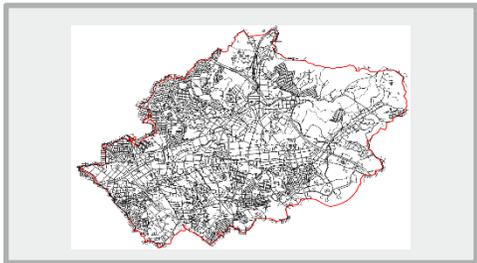
防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
愛知県の中央部に位置する市。名古屋市と豊田市との間に位置する緑豊かな住宅都市で、今後も人口増が予測されている。人口は約9万人。

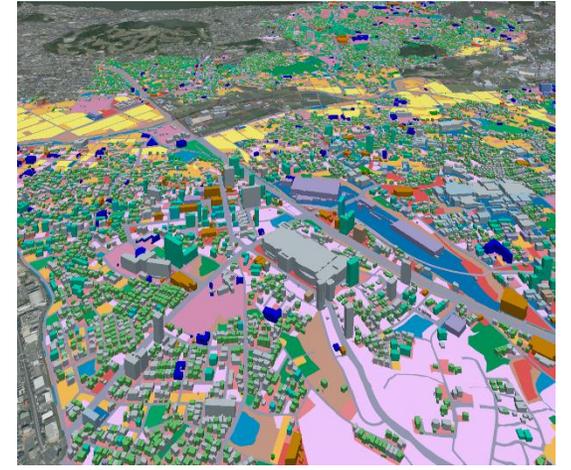
【特色等】
5つの大学が立地する学園都市であり、市内外の各大学と連携協力協定を締結している。また、現在道の駅やスマートICの整備を進めている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2022年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD1：（34.91 km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・都市計画決定情報：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：安全・安心な暮らしを下支えするハード・ソフト両面からの取組の推進
- イ：持続的な発展と都市の成熟を意識した都市構造の形成
- ウ：いつまでも暮らしたい「住みたくなる」都市としてのイメージ戦略の展開



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①災害リスク情報（浸水想定区域等）の三次元表示を行い、リスクを可視化した情報をもとに、地域の防災訓練等で災害時の避難行動を促す普及啓発や市民の防災意識向上に活用する。
- ②整備した3Dデータを連携協力している大学に提供し、ドローンや360°カメラ搭載車両による取得データを組み合わせたデータの精緻化や災害発生時の被害状況把握に活用する。

都市計画・まちづくり

- ③建物利用状況を属性情報として付与した3D都市モデルLOD1と都市計画情報を重ね合わせ、都市状況について可視化した情報をもとに市街地の再生・整備の総合的な実施可能性の検討に活用する。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：廣橋 賢人

Tel: 0561-73-4139

Mail:
toshikeikaku@city.nisshin.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

愛知県春日井市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

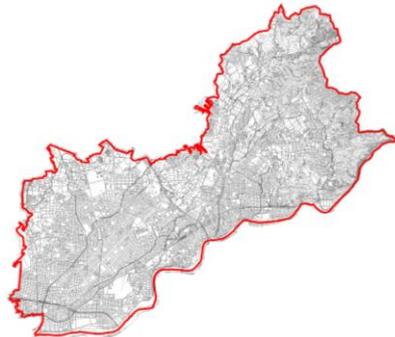
【地理、人口、産業の現状等】
名古屋都市圏の北東部に位置し、
人口約31万人を擁する住宅都市。

【特色等】
東名高速道路、中央自動車道、
名古屋第二環状自動車道、一般
国道19号、155号などの幹線道路
網やJR中央本線、名鉄小牧線、
TKJ城北線、愛知環状鉄道の鉄道
網を有し、県営名古屋空港に隣
接するなど利便性の高い広域交
通網を有する。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：未整備/2023年度
一部地域整備予定
 - ・LOD1：春日井市全域（92.78km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・都市計画区域
 - ・道路等
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有（一部非公表）
 - ・土地利用現況：有（一部非公表）



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・既存の雨水出水浸水のシミュレーションデータを利用し、三次元化した雨水出水浸水の時系列データを3D都市モデルに重ね合わせ、災害リスクをわかりやすく可視化することにより、住民の防災意識の向上
※今年度実施中

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・既存の雨水出水浸水のシミュレーションデータを春日井市が所有する3Dデータ（範囲：春日井市全域、詳細度：LOD1、分類：建築物、都市計画情報、土地利用、道路、地形、災害リスク）に重ね合わせ、web上で浸水状況を時系列表示する。
※今年度実施中

問合せ先

所属： まちづくり推進部
都市政策課

担当者： 植島 大介

Tel: 0568-85-6264

Mail:
toshisei@city.kasugai.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 三重県の南部に位置する一般市。
 JR熊野市駅を中心に中心市街地
 があり、海岸部および山間部に
 集落が点在している。人口は約
 1.7万人で過疎高齢化が進行して
 いる。地域資源を活用した市外
 への輸出と集客を目指している。



【特色等】
 世界遺産「熊野古道 松本峠」
 等観光資源が多数ある。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度(R4～R5)
 - 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：4棟(市庁舎等)
 - ・ LOD1：市域全域 (373㎡)
 - テクスチャ：無
 - その他の地物 (空間属性)
 - ・ 交通 (道路)：有(LOD1)
 - ・ 土砂災害警戒区域：有(LOD1)
 - ・ 洪水浸水ハザード情報：有(LOD1)
 - ・ 津波災害ハザード情報：有(LOD1)
 - ・ その他(地形等)：有(LOD1)
 - 主題属性
 - ・ 建物利用現況：無
 - ・ 土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：大雨時の内水位のモニタリングや被災予想による効
 果的な防災対策
 イ：3D都市モデルを行政職員が簡単にデータ修正し政策
 立案図の作成できることにより、これまで委託等で実
 施していた業務のさあ苦言
 ウ：3D都市モデルと外GISを統合し、住民情報等其他各種
 データを連携させることによる様々なデータ分析、ま
 た行政資料作成等の労働力軽減
 エ：ウのシステムによる情報のオープンデータ化



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

センサー等からによる情報と3D都市モデルを連携することによる水
 位等リアルタイム可視化、及び降水量や水位等による被災予想と被
 害分析

都市計画・まちづくり

3D都市モデルデータと3DCADデータ等を連携させることが簡単にで
 きるアプリ等

その他

統合・公開型GISの構築及びGISと各種データの連携させるシステム

問合せ先

所属：建設課都市計画係

担当者： 和田全史

Tel: 0597-89-4111

Mail: kensetsu-
 dp@city.kumano.mie.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

三重県四日市市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / **その他**

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

三重県の北部に位置し、人口は約31万人。東西交通の要衝に位置し、古くから東海道の宿場町であるとともにみなとまちとして栄え、現在は我が国有数の産業都市として発展している。

【特色等】

近鉄四日市駅周辺の中心市街地では、官公庁施設、商業施設など都市機能が集積している。現在、中央通り周辺を中心として中心市街地再編に向けた取り組みが進行している。

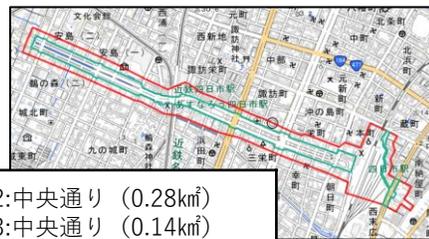


LOD1:四日市市全域 (206.5km²)



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：中央通り (0.14 km²)
 - ・LOD2：中央通り (0.28km²)
 - ・LOD1：四日市市全域 (206.5 km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物 (空間属性)
 - ・交通 (道路)：有 (LOD3:中央通り)
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・都市設備：(LOD3:中央通り)
 - ・植生：(LOD3:中央通り)
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有

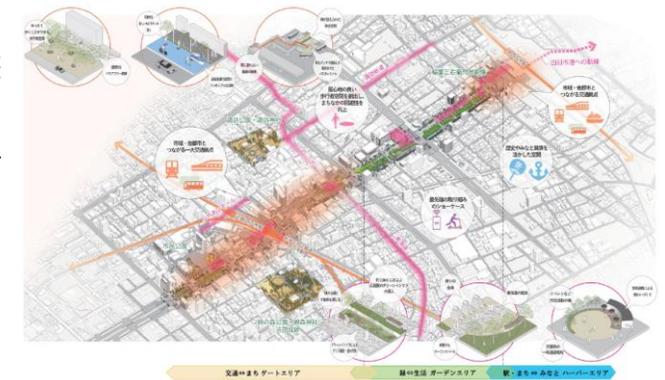


LOD2:中央通り (0.28km²)
 LOD3:中央通り (0.14km²)

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：リニア時代のスーパーメガリージョン形成による交流人口の拡大効果を活かした、中心市街地におけるデータを活用した憩いと賑わいづくりへの環境整備と魅力向上
- イ：防災・減災に関する情報の的確かつ迅速な提供や、全ての世代への効果的な防災教育など地域防災力の向上

<全体レイアウトや導入機能のイメージ>



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ・検討中の中央通り整備計画をビューワ上に重ね合わせ、整備後の空間を様々な視点から確認できるシステムを構築。
- ・別途計測する人流等の計測データを3D空間上に表示させるシステムを構築。

その他

- ・埋蔵文化財の可視化により開発事前協議に活用できるシステムを構築。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：北澤 将一郎

Tel: 059-354-8272

Mail:toshikeikaku@city.yokkaichi.mie.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

京都府京都市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

京都府南部に位置し、市街地の三方を山々に囲まれ、1200年を超える歴史と文化を有する歴史都市。人口約146万人。

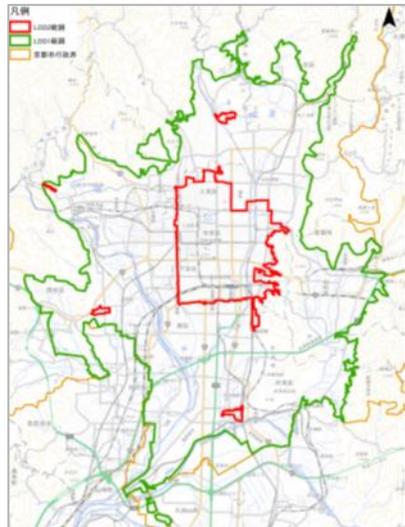
【特色等】

悠久の歴史とわが国を代表する洗練された文化が生まれ、寺社や京町家などの歴史資産と、低層高密の町並みが数多く市内に残る。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：なし
 - ・LOD2：景観地区の一部（24.2 km²）
 - ・LOD1：市街化区域全域（185 km²）
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

コロナ禍により京都経済は大きな打撃を受け、京都の歴史的町並みを構成する歴史的建造物の継承だけでなく、歴史的建造物を舞台に行われる祭礼の中止やものづくりの低迷など京都の伝統的な営みの継承にも影響が出ていた。歴史的建造物とともにこれらの伝統的な営みを未来に継承していくことが不可欠であり、3D都市モデルの活用による好循環の創出に期待している。

- ア：京都の歴史的建造物や歴史的町並み、伝統的な営みを3Dビジュアル化し、デジタル空間等で展開
- イ：京都市への寄付や建造物所有者や営み継承者の収益拡大につなげ、京都の景観や歴史的風致を維持向上
- ウ：コロナ後の観光地混雑分散化対策



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

地域活性化・観光・コンテンツ / 都市計画・まちづくり

- ①歴史的町並みや伝統的な営みの3Dデータのデジタル空間等における展開と収益化
 - ・歴史的建造物や歴史的町並みの3D化とデジタル空間上で展開
 - ・祭礼や年中行事、伝統産業など、京都ならではの体験をデジタル空間内で提供
- ②歴史まちづくり教育への3D都市モデル活用
 - ・小学生向け「京都の歴史まちづくり」コンテンツ開発（Minecraft等を活用した京都の歴史学習ワールドの作成）
 - ・修学旅行生、旅行者向け「京都市の歴史的町並み」コンテンツ開発

問合せ先

所属：都市計画局都市景観部
景観政策課

担当者：北岡 愛

Tel: 075-222-3397

Mail:
muqba746@city.kyoto.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大阪府池田市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 大阪府の北西部に位置する衛星都市。市域の中央から北側には標高300～400mの五月山が分布。阪急宝塚線の池田駅と石橋阪大前駅を中心に形成された市街地は住宅地が主。人口約10万人。



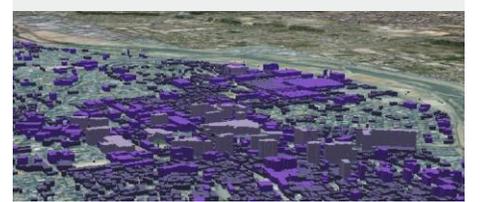
【特色等】
 2つの鉄道駅周辺エリアを中心に官民連携によるまちなか再生に現在取り組んでいる。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：池田/石橋/伏尾台（156ha）
 - ・LOD1：市域全域（2214ha）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・高さ制限の検討や、延焼被害のシミュレーション等を行い、高度地区や準防火地域等の都市計画の見直し検討を行うとともに、3D画像を用いて市民等に分かりやすく説明したい。
- ・鉄道駅周辺でまちなかウォークアブルを推進していくなかで、官民連携での取組みを進めているところであり、3D都市モデルの位置データを用いたAR技術等を活用して、まちの回遊性や駅周辺に点在する施設間の連携を高めていきたい。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ・都市計画の高度地区や準防火地域の見直し、景観計画区域の検討を行うためのシミュレーションを3D都市モデルを用いて行い、その検討結果等を3Dで可視化し、説明資料として活用
- ・官民連携でまちなかウォークアブルの推進を進めており、3D都市モデルのデータを用いて、人流データの分析を行うであったり、シティプロモーションとしてAR技術と融合させた、まち歩きツールとして活用

問合せ先

所属：まちづくり環境部
 都市政策課

担当者：中川 雄司

Tel: 072-754-6262

Mail: t-seisaku@city.ikeda.osaka.jp

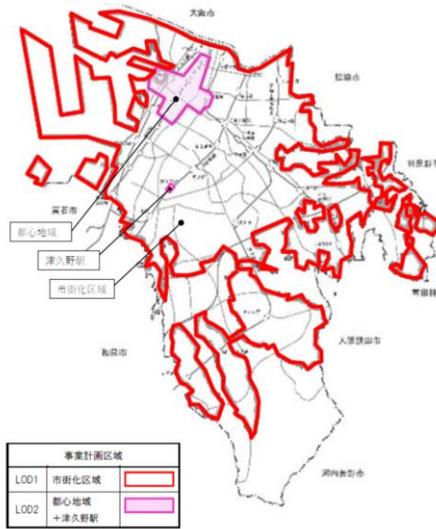
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 大阪府中央部のやや南よりに位置する政令指定都市。石油化学、エネルギー、金属、機械など多種多様な企業が数多く立地し、全国でも屈指の産業集積を有する。人口は約82万人。



【特色等】
 都市の核となる拠点を中心に都市機能を集約し、鉄軌道網・道路網などの都市軸で拠点間を連携する、多軸多核型の都市構造を形成している。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2022年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：都心地域（約4km²）
+1棟（津久野駅）
 - ・LOD1：市街化区域（約107km²）
 - テクスチャ：有（LOD2）
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：多様な人が集う魅力的なエリア形成
- イ：人が主役のウォークラブルな都市空間の形成
- ウ：面的な移動利便性の向上
- エ：再生可能エネルギーの導入促進
- オ：市民自身による備えや地域住民による防災活動などの自助・共助の促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ブラウザ上でストレスを感じることなく、自由に3D都市モデルに触れること
 ができる技術や手立て
- デジタル映像データの加工技術

問合せ先

所属： 建築都市局
 都市計画部
 都市計画課

担当者： 嵯峨 英司

Tel: 072-228-8398

Mail: tokei@city.sakai.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大阪府摂津市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

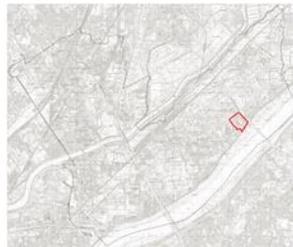
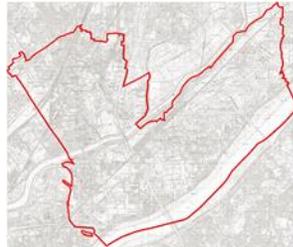
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 大阪府の北摂に位置する市。面積約15km²に住民約8.5万人が暮らす。産業は工業が中心である。

【特色等】
 大阪市やその衛星都市と幹線道路や鉄道で結ばれており、昼間人口が多い。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：鳥飼小学校周辺（0.08km²）
 - ・LOD1：市内全域（14.87km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD0）
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・MaaSの導入による利便性の向上。
- ・浸水想定区域内における被災予測に対する適切な避難行動の開始タイミング等の検討。
- ・市民が想定浸水深を視認できる等、地域の危険性の見える化。
- ・局地的な水路の溢れ防止策の検討。
- ・インフラの維持管理にかかるコストの縮減。
- ・ファシリティマネジメントによる公共施設の適正管理、民間開放の検討および施設集約の検討。
- ・市内企業と需要者や求職者のマッチング。
- ・人の移動を考慮した都市計画施策の検討。



【例】避難すべき建物へのルートや外観が確認できる

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

未定

問合せ先

所属： 建設部 都市計画課

担当者： 山本

Tel: 06-6383-1405

Mail:
toshi_keikaku@city.settsu.osaka.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大阪府高槻市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 大阪府の北東部に位置する中核市。大阪・京都間のベッドタウンとして発展し、商工業や学術機関が集積。市域の47.6%が山林、市街地が28.6%。人口は約35万人。

【特色等】
 JR高槻駅、阪急高槻市駅の周辺に商業・医療機関・住居等が集約。JR、阪急、市バス、新名神のJCT・ICによる高い交通利便性を有する。

【3D都市モデル構築状況】

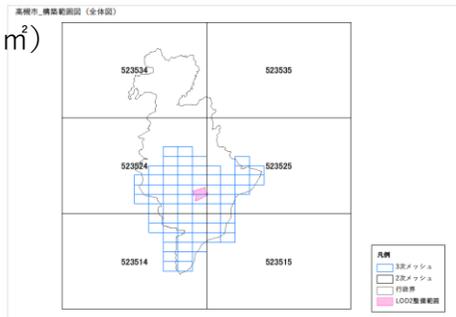
- データ整備年度：2020年度
- 建物物作成範囲

・LOD2：
 ユースケース実証エリアを含む高槻駅周辺（都市再生緊急整備地区含む）（0.83km²）

・LOD1：
 用途地域及び浸水想定区域（41km²）

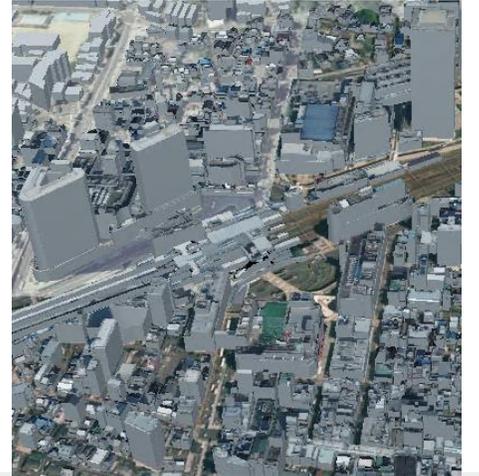
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD01）
 - ・土砂災害警戒区域：有

- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

・主要駅間や将来の都市拠点となる地域等の交通利便性や、景観などの地域特性を生かした、新たな都市拠点の形成に向けた検討



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

・地域特性の分析や、土地利用の変化、住環境等のシミュレーションを3D都市モデルに表現し新たな都市拠点の検討を実施する。



問合せ先

所属： 都市創造部
 都市づくり推進課

担当者： 堂脇、長谷川、
 宗末

Tel: 072-674-7554

Mail: toshiduk-82@
 city.takatsuki.osaka.jp



PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大阪府豊中市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
大阪府の中央部の北側に位置する中核市。大阪市都心から15km圏内で北東部の新千里地区を中心に大阪都市圏の衛星都市。人口は約40万人。



【特色等】
阪急電鉄等による公共交通網、中国自動車道等の幹線道路網、市北西部の大阪国際空港等、交通が至便である。

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 南部地域を中心とした浸水想定区域内住民に対する啓発
- 洪水時における各地域別避難経路の策定
- 大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的対応



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

3D都市モデルを活用した防災マップの作成

導入したい技術というよりも、まずは完成した3D都市モデルをいかにして住民に対して周知することが重要と認識しています。

問合せ先

所属：危機管理課

担当者：岸田・高林

Tel: 06-6858-2071

Mail:kikikanri@city.toyonaka.lg.jp

整備内容検討中

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3： XXエリア (XX m²)
 - ・ LOD2： XXエリア (XX m²)
 - ・ LOD1：
- テクスチャ
- その他の
 - ・ 交通（道路）
 - ・ 土砂災害
 - ・
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況
 - ・ 土地利用現況



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大阪府河内長野市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

大阪府の南東端に位置し、大阪都市圏のベッドタウンとして急速に発展を遂げた。市域の約7割は森林が占めており、大阪府の土砂災害警戒区域の約20%が集中している。

人口は約10万人だが、平成12年2月をピークに、少子高齢化が顕著となっている。

【特色等】

昭和57年に開発されたニュータウンである南花台では、少子高齢化や高齢者の交通事故増加等の課題解決に向け、公民学の連携により多様な取組を実施している。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：

○建物物作成範囲

・LOD3：XXエリア（XX m²）

・LOD2：XXエリア（XX m²）

・LOD1：

○テクスチ

○その他の

・交通（道

・土砂災害

・

○主題属性

・建物利用

・土地利用

整備内容検討中

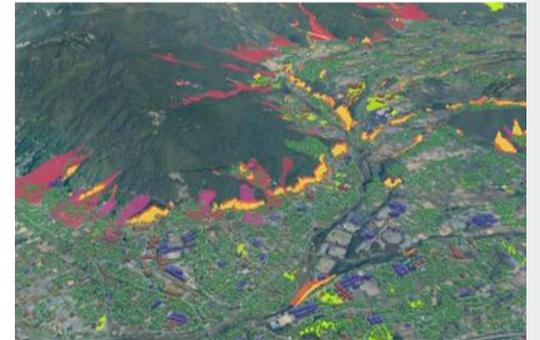
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：災害時の避難場所・避難ルートの可視化と住民への浸透、災害時避難計画の住民への浸透、災害危険区域に居住する住民への災害リスク・危険性のイメージ喚起

イ：市域に広がる豊かな森林緑地を有する丘陵地に対する災害発災時の被災状況の把握と共有

ウ：他市と比較して人口減少及び少子高齢化の急激な進展、その大きな原因の一つである昭和40年代に開発された団地（オールドニュータウン化）の今後の在り方

エ：空白不便地域の移動手段の確保、カメラ・センサ情報を活用した移動需要の見える化と公共交通再配置、新しいモビリティへの支援（自動運転への支援）、高齢者の生活利便性の改善



出展：国土交通省

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・3D都市モデル及び三次元化した各種災害リスクデータをビューワ上に重ね合わせ、災害リスクをわかりやすく可視化するシステムを構築する。
- ・災害リスク認識が高まっていない地区に対して、住民説明会で3D都市モデルと災害リスクを重畳化したシステムを用いることにより、災害への意識を高める。
- ・ドローン等を活用した被災状況の共有

モビリティ・ロボティクス

- ・3D都市モデルおよび高精度道路地図を整備し、地形的に不便な開発団地や交通空白地の自動運転検討ならびに公共交通網の見直し検討する。
- ・南花台地区と下里地区（自動運転検討実施地区）はカメラやセンサー位置の配置を検討する。
- ・将来的に開発団地地区と主要3駅地区とのルートを検討する。
- ・3D都市モデルおよび高精度地形図等を一元的に管理・可視化するシステムを構築する。
- ・将来的に高精度道路地図を道路LODへ展開し、インフラ施設を3次元で管理する。

問合せ先

所属：都市づくり部都市計画課

担当者：西村 紘亮

Tel: 0721-53-1111（代表）

Mail:
toshikeikaku@city.kawachinagano.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

大阪府の西南部に位置し、町域面積は3.97km²と町としては全国で最も小さく、令和5年5月末時点での総人口は16,609人である。

【特色等】

臨海地域の埋立地には木材コンビナートが形成されており、町の主要な産業となっている。その他地域については、繊維産業が盛んである。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマークのみ
 - ・LOD1：忠岡町全域（3.97m²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



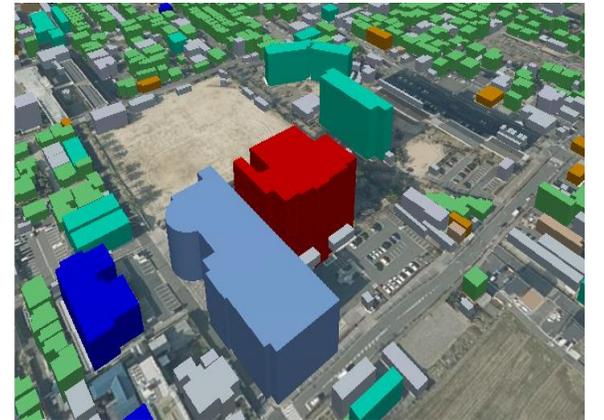
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【防災・防犯】

- ①地域全体の防災意識の共有、自助・共助の意識醸成
- ②立地適正化計画に位置付けた防災指針の実効性確保
- ③水災害に対応したハード検討における分析
- ④避難計画の検討における、より現実に即した分析

【都市計画・整備】

- ①計画決定および事業化における、より現実に即した分析
- ②住民・事業者・行政での意識共有
- ③インフラマネジメントの効率化によるコスト抑制
- ④デベロッパーの参画意欲の向上



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

【防災・防犯】

- ①住民属性に応じた避難シミュレーション
- ②立地適正化計画の居住誘導区域の検討に資する資料
- ③3D都市モデル上での災害シミュレーション

【都市計画・整備】

- ①BIMデータを用いた現実に近いシミュレーションの実施
- ②人流データ等の各種数値の可視化
- ③センシングとデータ統合によるインフラマネジメント

問合せ先

所属：産業まちづくり部
産業建築課

担当者： 林

Tel: 0725-22-1122

Mail:tadaokasangyou@town-tadaoka.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

大阪平野の南東部、大阪府と奈良県との府県境に位置し、大阪の都心から20kmほどの距離にありながら、緑の山々と美しい渓谷、豊かな川の流れなど、多彩な自然環境を備えた都市です。面積は25.33km²、人口は約7万人。

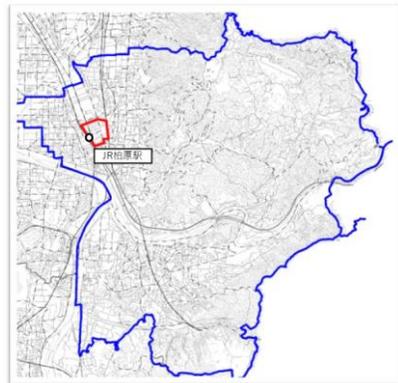


【特色等】

山麓にはぶどう畑が多く、夏から秋にかけてはぶどう狩りが盛んで、このぶどうからできたワインは、柏原地ワインとして知られています。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：柏原駅東側エリア (0.1km²)
 - ・ LOD1：市域全域 (25.33km²)
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：令和5年度作成
 - ・ 土砂災害警戒区域：令和5年度作成
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：駅前空間における都市としての現状から課題やニーズを把握した駅前広場や道路網の整備

イ：駅前空間の活性化と地域住民の理解を両立させたまちづくり構想の策定

ウ：市の玄関口である中心市街地としてふさわしい都市空間の形成

エ：駅周辺の土地利用推進によるさらなるにぎわいの創出

オ：近隣市町村と連携した観光施策



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

3D・VRを活用したまちづくりシミュレーション
 人流シミュレーションを活用した、駅前を活性化させる空間整備

地域活性化・観光・コンテンツ

AR等を活用した観光案内

問合せ先

所属：都市デザイン部
 都市政策課

担当者： 中井 新吾

Tel: 072-972-1597

Mail:toshiseisaku@city.kashiwara.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 兵庫県南東部に位置する。大阪市からは約10kmで、地形は平坦。JR・阪急伊丹駅を主要な駅とし、市バス、そして伊丹空港を有する。人口は約20万人。

【特色等】
 令和4年度11月に市役所新庁舎が開庁。災害時にも業務継続を可能とした免震構造を採用、また大幅な省エネルギー化となる「ZEB Ready」を認証。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：未整備

○建物物作成範囲

・ LOD3： (m²)
 ・ LOD2： (m²)
 ・ LOD1： (m²)

○テクスチャ：

○その他の地物（空間属性）

・ 交通（道路）：
 ・ 土砂災害警戒区域：

○主題属性

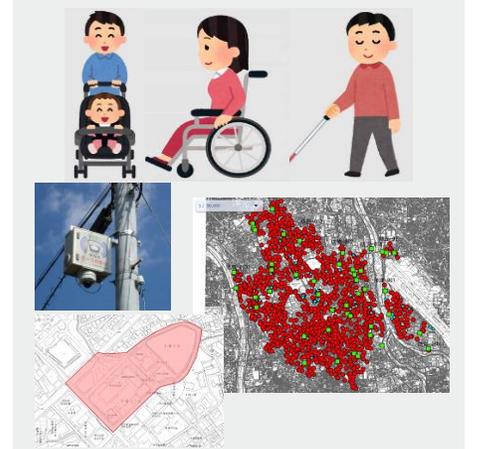
・ 建物利用現況：
 ・ 土地利用現況：

未整備

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

安全で快適に利用できる交通手段や道路のあるまち
事故や犯罪から市民の生命と暮らしが守られるまち

- ア：歩行者と自転車の安全性・快適性の確保と利便性の向上を図るため、引き続き自転車レーンや歩道の整備を進める必要があります。
- イ：生活道路や通学路のさらなる安全対策が必要です。
- ウ：ハードとソフトの両面から地域防犯に取り組んだ結果、犯罪認知件数は大きく減少しています。これを発展・継続することが必要です。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

モビリティ・ロボティクス

歩行者と自転車の安全性・快適性の確保と利便性の向上を図る。生活道路や通学路のさらなる安全対策を実施する。

- ・ 市庁舎および周辺道路について、LOD 2～4 の3D都市モデルを構築する。
- ・ 市庁舎および周辺の3D都市モデルを活用したシームレスな経路案内提供手段を検討、試作・検証する。
- ・ 市庁舎LOD4データモデルと、市全域のCityXMLデータを活用した各種3Dデータをオープンデータ化。利活用例の提示。
- ・ ハッカソンを開催し、市民と共同でオープンデータ、3D都市モデルの利活用を検討する。

問合せ先

所属： 総合政策部デジタル戦略室

担当者： 中本 賢一

Tel: 072-784-8019

Mail: nakamotok@city.itami.lg.jp

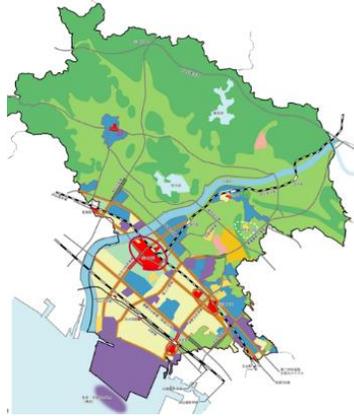
兵庫県加古川市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

兵庫県の南西部に位置。市の中心を一級河川加古川が貫流し、北部は自然豊かな調整区域、中央部はJR加古川駅周辺に都心、JR東加古川駅周辺と山陽電鉄別府駅周辺に副都心、臨海部は主に工業及び水産業として3層構造となっている。人口は約26万人。



【特色等】

京阪神のベッドタウンとして発展してきた、自然環境と生活利便性の両方を楽しめるまち。駅周辺の活性化を推進している。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：加古川駅周辺地域（約6km²）
 - ・LOD1：用途地域+浸水想定区域（約63km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・道路（LOD1）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無（地上階数・構造のみ）
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：データを活用した駅周辺への歩行者と車の流れの整理による人流物流、CO₂排出量や気温の変化等のシミュレーションに基づく、土地施設整備の方向性策定
- イ：駅南北の連続性を高め、回遊性を向上させる機能配置（商業、行政、滞在）や取組（路上サイン、歩行者自転車分離等）の実施
- ウ：想定浸水深を踏まえた施設更新時におけるフロア構成の検討
- エ：建築物がもたらす周辺環境や都市環境に対する作用の把握
- オ：安全・安心MAPの可視化
- カ：3D都市モデルの利用を市民等に促し、本市のインフラ等に関する市民ニーズを加古川市版Decidim上で把握する。（3D都市モデルのシステム要件を下げることでできればより一層の利用促進が期待できる。）
- キ：ソフト対策として、2Dでは伝わらない地域のハザードリスクを3Dで共有し、自助の意識醸成を図る。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①防犯灯の灯り、交差点周辺の白線、信号、歩道など、交通安全情報の可視化
- ②垂直避難を考慮した避難可能建物の把握
- ③市民向け講座でストレス無く動作する洪水シミュレーションアプリ

都市計画・まちづくり

- ④想定する建築規制等に依じた建設モデルの作成シミュレーション

環境・エネルギー

- ⑤住環境に対する日照や通風の変化シミュレーション

地域活性化・観光・コンテンツ

- ⑥建物立地場所及び機能の変化に伴う、人の流れや滞在時間のシミュレーション

モビリティ・ロボティクス

- ⑦人流の把握と道路整備状況の進展に伴う交通量変化のシミュレーション

問合せ先

所属：都市計画部都市計画課

担当者：長永 大輔

Tel: 079-427-9731

Mail: tokei-keikaku@city.kakogawa.lg.jp

兵庫県たつの市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

兵庫県の南西部の西播磨地域に位置し、市域の北側は山地が広がり、南は瀬戸内海に面し、南北に貫く形で揖保川が流れている。豊かな風土が生み出した手延素麺や醤油醸造、皮革産業、かばん産業等の地場産業が根づく一方で、ハイテク産業や電機産業も発展を続けている。人口は約7.4万人。

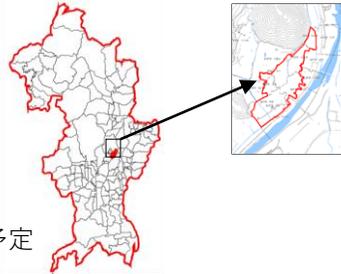


〈龍野重要伝統的建造物群保存地区〉

【特色等】

令和5年度は、「未来応援 住みたいまち たつの ～夢を拡げる未来のかたち～」を予算編成テーマに掲げ、活力と魅力ある力強いまちづくり等を目指し、龍野IC周辺まちづくりや小中一貫校整備、インクルーシブ公園の整備などに取り組むこととしている。

【LOD1整備区域】 【LOD2整備区域】



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和5～6年度整備予定
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：重要伝統的建造物群保存地区（0.16km²）
 - ・LOD1：たつの市全域（210.87km²）
- テクスチャ：有り（重要伝統的建造物群保存地区）
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD0）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

市における災害対策に関して、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、市民の生命や財産を災害から保護することを目的として「たつの市地域防災計画」を定めている。しかし、災害の発生を完全に防ぐことは不可能であるため、被害を最小化する「減災」の考え方を基本に、たとえ被災しても人命が失われないことを最優先とし、また、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせ災害に備えることとしている

ハザードマップ等の情報は複雑であり、最大限に活用されていない可能性があるほか、重要伝統的建造物群保存地区には住宅が密集しており、地区の利活用にあたり火災発生時のリスクを示す必要がある。そのため、3D都市モデル及びユースケースを活用し、浸水シミュレーションの3D化によって災害リスクをわかりやすく示し、市民の防災意識を向上させる。また、延焼シミュレーションによる重要伝統的建造物群保存地区の防災計画への活用のほか、歴史・文化保存活動や観光資源に活用する。

その他、空き家の3D可視化による過疎対策に向けた土地活用・周辺景観シミュレーションによる市内の自然の魅力発信など、災害対策以外にも活用を検討する。



PLATEAUホームページより引用

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

1. 3D都市モデルの整備
2. 浸水・延焼シミュレーションの整備

都市計画・まちづくり

1. 3Dで見える化することによる「まちづくり」の課題発見・解決等

地域活性化・観光・コンテンツ

1. 地域参加を促進する3Dコンテンツの作成

問合せ先

所属：
たつの市都市政策部都市計画課

担当者：菅原 拓己

Tel: 0791-64-3223

Mail:
toshikeikaku@city.tatsuno.lg.jp

和歌山県和歌山市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

紀伊半島の北西部に位置する中核市。市の中央部を紀の川が東西に流れ、北部は和泉山脈、北西部から南部は紀淡海峡や和歌浦湾に面している。
 人口は約36万人。



【特色等】

紀州藩の城下町。関西国際空港、第二阪和国道、京奈和自動車道、JRきのくに線等により、アクセスしやすい地理的条件である。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建築物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：ランドマーク14箇所
 - ・LOD1：市内全域（20,885 m²）
- テクスチャ：未整備
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【自治体の抱える課題】

- ・中心市街地では、近年一定の公共施設整備等が進んでいるが、民地では駐車場等低未利用の土地が多く、まちなかのスポンジ化が顕著に表れている。
- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けて、民間事業者等の機運醸成を進めたい。

【実現したいこと】

- ・3D都市モデルの活用による人・車の流れの可視化
- ・都市空間再編に向けたモデル事業の可視化及び事業後の人流等のシミュレーション



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

地域活性化・観光・コンテンツ

- ・人・車の流れを可視化する。
- ・事業立案に際して、事業前、事業後の人流等の変化を可視化する。
- ・事業効果が見込まれるエリアを抽出し、望ましい事業手法を立案する。
- ・データ測定に際して、効率的にデータ取得できる仕組みを構築する。
- ・民間投資の誘発に資する可視化データを構築する。

問合せ先

所属：都市計画部都市計画課

担当者：木村、城

Tel:073-435-1228

Mail:toshikeikaku@city.wakayama.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

鳥取県鳥取市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / **その他**

自治体概要

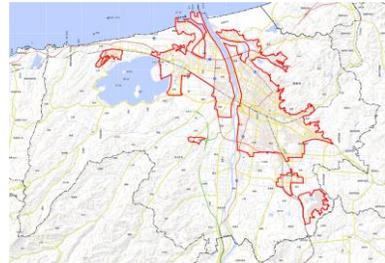
【地理、人口、産業の現状等】
 鳥取県の北東部に位置する中核市。第二次産業の割合が全国的にみても高く、電子部品、電気機械等を中心とした製造業が盛んである。人口は約18万人。

【特色等】
 千代川流域から始まった市街地は、概ね半径5km円程の広がり、その中に空港、大学などが立地し、比較的都市機能のまとまった市街地が形成されている。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：浸水シミュレーションを実施した地区 (11.5 km²)
 - ・ LOD1： (61.5 km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - ・ 地形（LOD1）
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：無
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：都市の状況、人口動態等を可視化し、都市の課題をより理解しやすいように表現し、用途地域の見直し等の都市計画立案の高度化
- イ：既存の都市計画データ（GIS）などの3D化による利便性向上
- ウ：立地適正化計画策定における都市機能誘導区域及び居住誘導区域等の検討材料



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ①土地利用や建物利用などの変化を可視化し、都市計画立案へ活用する。
- ②3次元空間における都市計画決定情報の可視化。

その他

- ③庁内外の誰もがストレスなくブラウザ上で自由に閲覧・利用できる環境を構築する技術。

問合せ先

所属：都市整備部都市企画課

担当者：都市計画係 田中

Tel：0857-30-8323

Mail：
 tosikikaku@city.tottori.lg.jp

鳥取県米子市

 防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

鳥取県の西部に位置する主要都市。米子駅を中心とした商圈を形成する商業中心都市。人口は約15万人。

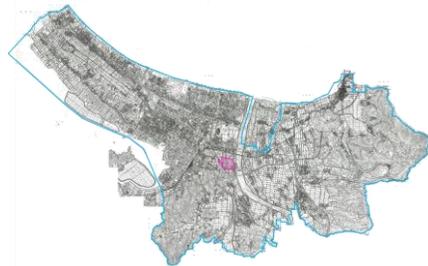


【特色等】

○米子駅周辺には商業施設が集約し、まちなかと郊外の拠点となる場所を有機的に結び付け、「新商都米子」にふさわしい公共交通を活かした「歩いて暮らせるまちづくり」を進めている。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023年～2024年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：観音寺地区（0.4km²）
 - ・LOD1：市域全域（132.42km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・土地利用現況：有



凡例	
LOD1	132.42km ²
LOD2	0.4km ²

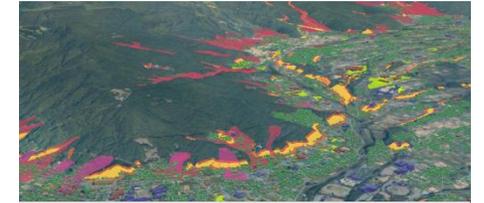
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

○DXの推進による業務の改革

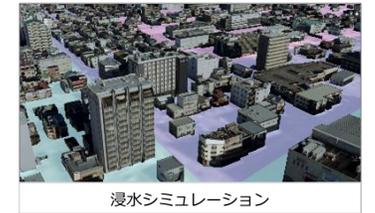
- ア：「住民の利便性の向上」
- イ：「業務効率化」
- ウ：「人的資源を再配置し行政サービスの更なる向上」

○検討中のユースケース

- ア：都市空間に関する情報の集約による行政事務の効率化
- イ：観音寺地区における浸水シミュレーション及び避難ルート検討への活用
- ウ：「歩いて楽しいまちづくり」における景観に配慮した完成イメージの活用



都市空間に関する情報の集約（建物×災害リスク情報×都市計画関連情報）



浸水シミュレーション

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・3D都市モデル上で洪水時等において浸水が広がる様子を動的に表現する技術

都市計画・まちづくり

- ・「歩いて楽しいまちづくり」のイメージを歩行者視点にて動的に表現する技術

その他

- ・統合型GIS及び公開型GISとの連携

問合せ先

所属： 総合政策部都市創造課

担当者： 岸本 裕一郎

Tel: 0859-23-5292

Mail:toshisouzou@city.yonago.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

鳥取県境港市

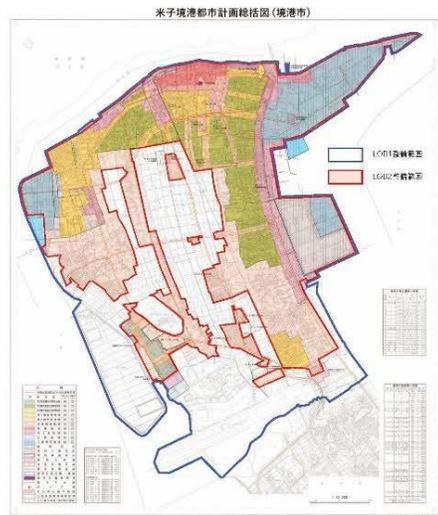
防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
境港市は、鳥取県の西部に位置する市。重要港湾、特定第三種漁港、国際空港があり、水産資源、水木しげるロードや海などの観光資源を生かし、産業や観光の振興を図っている。人口は約3万3千人。

【特色等】
砂州で形成された地形により土地の高低差が少なく三方が海に囲まれていることから、高潮や大雨による外水の影響を受けやすい特徴がある。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2022年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：住居地域（15.79 km²）
 - ・LOD1：市内全域（29.11 km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：LOD1
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無



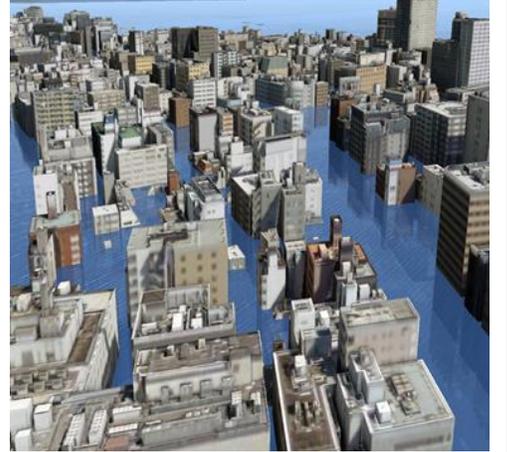
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【解決したい課題】

これまでの水害ハザードマップは、避難規模の水害予測に対して、被害範囲と被害水深が2次元で表示され、被害結果のみが表現されていたことから、住民にとっては、避難が必要なことは理解できても、どのように避難行動をとればよいか把握しづらい。

【創造したい価値】

今後いつ発生してもおかしくない避難規模の想定最大降雨(130mm/h)による内水被害に対して、浸水の広がりや水位が上昇する過程に時間軸を持たせることで、住民がどの方向やどの高さの建造物に避難するのがよいか主観的に把握できるシステム、住民の事前防災の意識向上と自助・共助による避難行動を促進する。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・3D都市モデルに浸水シミュレーションを重ね合わせ、3次元による浸水被害を時系列により可視化。
- ・3D都市モデルにテクスチャを張り付け、建物をリアルに再現することで、自分の位置と建物の関係、浸水の広がりや深さの関係を3次元で示し、住民が大規模な水害リスクをわかりやすく理解できるシステムの構築。

問合せ先

所属：建設部下水道課

担当者：山口 秀孝

Tel:0859-47-1117

Mail:gesuidou@city.sakaimina
to.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

広島県

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
広島県は、日本全体から俯瞰すると、大阪と福岡の2大都市のほぼ中間に位置しており、中四国地方の発展をけん引する中核県として、恵まれた地理的環境を有している。人口は約280万人。

【特色等】

○都市部における都市機能の集積や充実した生活関連機能サービス、農山漁村における豊かな生活環境など個性豊かで多様な地域で構成されている。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：2021年～

○建物物作成範囲

- ・ LOD2：竹原市(0.05km²/整備予定)
- ・ LOD1：海田町(13.8km²)、府中市(42.6km²)、竹原市(118.3km²/整備予定)

○テクスチャ：無

○その他の地物（空間属性）

- ・ 交通（道路）：有（LOD1）
- ・ 土砂災害警戒区域：有
- ・ 津波・高潮浸水想定区域：有

○主題属性

- ・ 建物利用現況：有
- ・ 土地利用現況：有

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

防災・防犯

- ・ 3D都市モデルと土砂災害ハザードや洪水・高潮・津波の浸水想定区域などの災害リスク情報を3Dマップ上で重ね合わせ、災害リスクをより分かりやすく可視化等を行うことで、住民の意識の醸成を図る。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・ 土砂災害ハザードや洪水・高潮・津波の浸水想定区域などの災害リスク情報を3Dマップ上で可視化し、分析及びシミュレーションを行う。

その他

- ・ 3D都市モデルの付与情報等を低コスト、低負担で更新するためのデータ連携等の技術。

問合せ先

所属： 土木建築局都市計画課

担当者： 竹内

Tel: 082-513-4117

Mail: dokeikaku@pref.hiroshima.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

広島県呉市

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

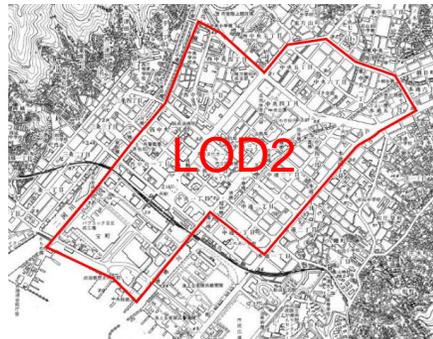
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 広島県の南西部に位置する中核市。人口は、約22万人。医療、教育、文化や企業が集積した広島県の主要都市のひとつ。

【特色等】
 JR呉駅周辺地域において、国、県、市、民間事業者など、多様な主体の連携により、今後のまちづくりの核となる都市開発を現在進めている。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：R2年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：中心部エリア（1.3km²）
 - ・LOD1：市全域（352.8km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：無
 - ・浸水リスク（洪水・津波）：有



LOD1は市内全域
 LOD2は市中心部の一部

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：JR呉駅周辺と中心市街地にある商店街を公共空間等を活用した賑わい施設の誘導等により回遊性を促す。

イ：低未利用地に民間活力による開発誘導を図り、中心市街地を活性化させるとともに、まちなか居住を促進し、人口密度の確保を図る。

ウ：津波等の浸水被害に対する効果的な避難誘導策を確保する。

エ：拠点間を結ぶ、効率的で効果的な公共交通ネットワークの維持確保及び自動運転等の次世代モビリティを導入する。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

災害リスク情報について、わかりやすく可視化し、使いやすい情報ツールとすることで、防災体制の強化を図ることができる取組

都市計画・まちづくり

具体的な取組イメージがないが、まちなか居住の促進によって人口密度の確保に繋がる取組

地域活性化・観光・コンテンツ

行動特性等を把握することで中心市街地の回遊性の促進に資する取組

モビリティ・ロボティクス

将来の次世代モビリティの実装に資する取組

問合せ先

所属：呉市都市部都市計画課

担当者：大石・川端

Tel:(0823)25-3367

Mail: tosikei@city.kure.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

広島県広島市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

広島県の南西に位置する、中国地方の政令指定都市。人口は約118万人。

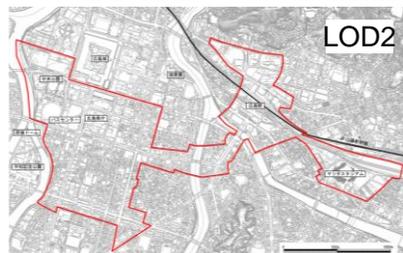
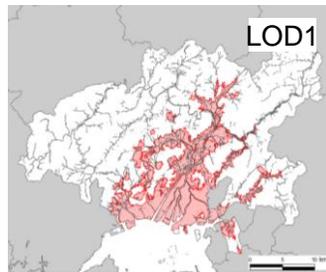
【特色等】

中国地方の経済・文化・行政の中心となる地方中枢都市として、また、国際平和文化都市として発展している。



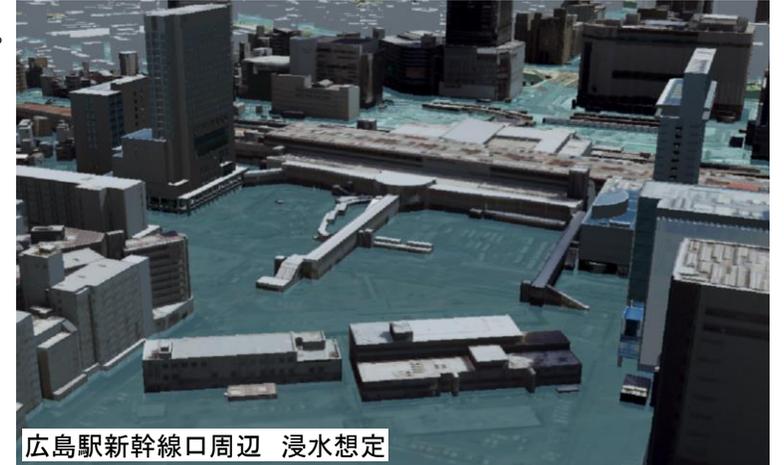
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD4：広島駅南北自由通路
 - ・LOD3：広島駅周辺建物（3棟）
 - ・LOD2：都市再生緊急整備地域（3.11 km²）
 - ・LOD1：市街化区域（400.85 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・浸水想定区域等の災害リスクの軽減の検討。
- ・災害発生時の帰宅困難者の支援の検討。



広島駅新幹線口周辺 浸水想定

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・浸水想定区域や土砂災害などの災害リスクを3Dで可視化し、分析及びシミュレーションを行う。
- ・避難所への安全な避難ルートの設定や、所用時間の比較などの避難シミュレーションを行う。

問合せ先

所属：都市整備局都市計画課

担当者：鹿野 賢一郎

Tel:082-504-2267

Mail:tokei@city.hiroshima.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

広島県福山市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
福山市は、広島県の東部、瀬戸内海沿岸のほぼ中央部に位置する人口約46万人の中核市です。本市は、伝統産業を始め、鉄鋼業や造船などのものづくり産業を中心に様々な産業が集積しています。

【特色等】
JR福山駅周辺は備後圏域の玄関口として、中心市街地の活性化に向けた取り組みが進められています。



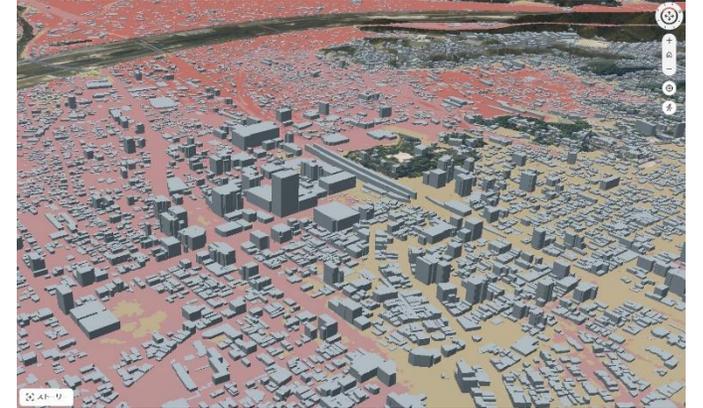
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD1：市域全域(518.10km²)
 - ・LOD2：ウォークエリア(0.92km²)
- テクスチャ：LOD2有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：浸水被害の可視化による災害時の避難場所・経路等、避難計画策定に活用できる情報の提供。
- イ：3D都市モデルを活用して災害危険区域に居住する住民への災害リスク・危険性の意識向上。
- ウ：景観形成や景観シミュレーションへの活用による都市の景観向上。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯/都市計画・まちづくり/地域活性化・観光・コンテンツ/モビリティ・ロボティクス

現時点では、具体的に導入したいシステムや取組み等のイメージは想定していませんが、今後は、3D都市モデルに様々な情報を重ねることで、防災、景観、観光、交通などの施策検討に活用することで、3D都市モデルを活用して住民サービスの向上に繋げる。

問合せ先

所属： 都市部都市計画課

担当者： 佐藤 晋平

Tel: 084-928-1092

Mail:
ftoshi@city.fukuyama.hiroshima.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

広島県府中市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

府中市は、広島県の東南部内陸地帯に位置する。田園都市として発足後、伝統産業の育成に努め「府中タンス」、「鋳造品」、「備後かすり」、「府中味噌」などの時代の変化に対応しながら地場産業とともに発展してきた。人口は約3.6万人。

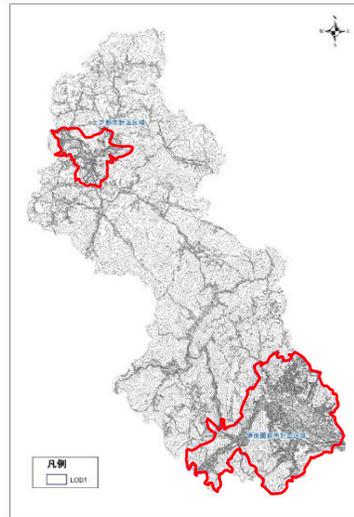
【特色等】

芦田川の北側の平地を中心に、浸水想定区域が指定されており、近年の豪雨時において、一部の地域で浸水被害が発生している。



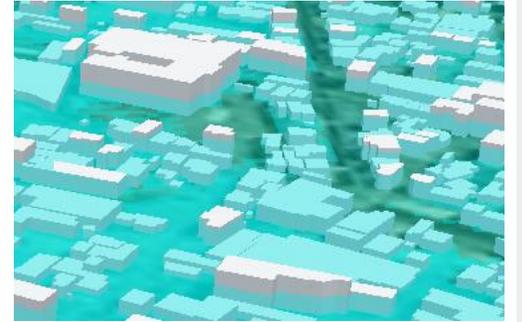
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD1：都市計画区域全域（43 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：災害ハザード情報に加え、人口ベースマップ等の市が保有するデータの重ね合わせにより、被害の想定を行うことで、事前のリスク管理を図る。
- イ：災害ハザード情報に道路データを重ね合わせることで、災害時における避難路、緊急輸送道路、物流ルートの確保を行い、早期復旧を図る。
- ウ：都市施設の配置や道路整備等の想定に活用し、庁内での検討や、地域住民との合意形成を図る。
- エ：歴史的な町並み・建築物の保全・活用等の景観形成の検討や、地域住民との合意形成を図る。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

建築物や地形を利用した土砂災害・浸水シミュレーション

都市計画・まちづくり

都市施設・道路等の都市計画事業のシミュレーション

問合せ先

所属： 建設部都市デザイン課

担当者： 西宮 瑠美

Tel: 0847-43-7159

Mail:
tokei@city.fuchu.hiroshima.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

山口県周南市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

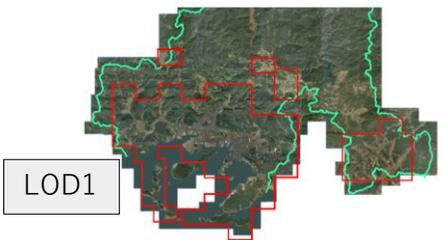
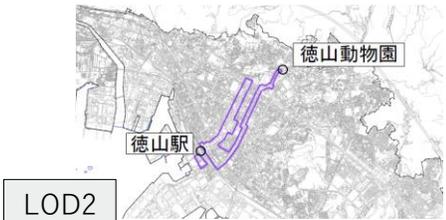
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
山口県東部に位置し、県内No.1の工業力を持つ、人口約14万人の拠点都市。

- 【特色等】
- ・海と山に囲まれたコンパクトな集約型都市構造
 - ・戦災復興土地区画整理事業による整然とした都市基盤
 - ・行政、教育、商業、医療、交通等の多様な都市機能の集積
 - ・新幹線、山陽本線、バス、フェリー等の広域交通結節点
 - ・石油化学コンビナートによる大規模な工業地帯



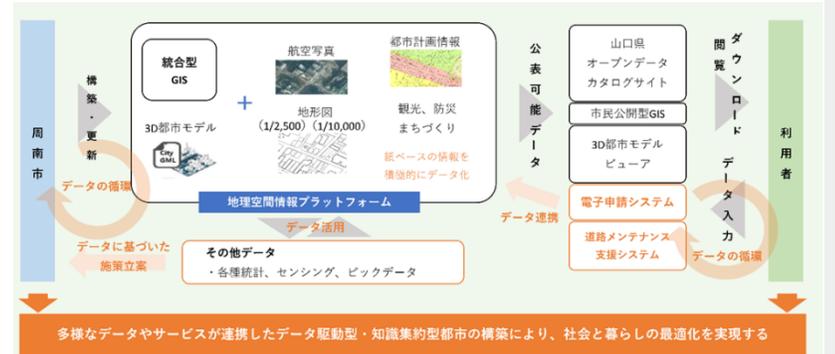
- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2024年整備予定
 - 建物作成範囲
 - ・LOD2：徳山駅周辺（0.4km²）
 - ・LOD1：市域図（1/2500）の範囲 ※主に市街化区域（205.5km²）
 - テクスチャ：有（LOD2のみ）
 - その他の地物（空間属性）
 - ・基本セット整備予定
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
- ※構築内容の詳細については検討中



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【周南市スマートシティ構想における基本方針】
○多様なデータやサービスが連携したデータ駆動型・知識集約型都市の構築により、社会と暮らしの最適化を実現する

- 【課題・想像したい価値】
- ①市内の地理空間情報が集約されておらず、市内にどのようなデータがあるか把握できていない。
→地理空間情報のプラットフォームの構築、オープンデータ化を進める
 - ②徳山駅周辺にある、公園や街路といった公共空間があまり使われていない。街路再編、リニューアルが求められている。
→居心地がよく歩きたくなる、憩いと賑わいのあるウォークラブルな空間の創出



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ①3D都市モデルを表示できる統合型GIS
統合型GISのように地理空間情報を市内で共有可能なシステムで、3D都市モデルを背景図として活用でき、ボタン1つで2次元・3次元の切替ができ、市職員が簡単な計測、集計や作図が可能なもの。
- ②QGIS等を用いた効果分析
人流推計、解析など、事業効果をQGIS等でも可視化可能なシステム。
- ③街路の再編イメージの作成
3D都市モデル(LOD2+テクスチャー)を用いて街路の再編イメージを作成する。作成したイメージに対して、ベンチや街路樹などの追加や移動などの作業が市職員でも可能なシステム。

問合せ先

所属： 都市整備部都市政策課

担当者： 原田・金子

Tel: 0834-22-8427

Mail: toshi@city.shunan.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

防府市は、北部には緑豊かな中国山地、北東から南西へ流域が広がる佐波川、県下最大の防府平野、美しい瀬戸内海など天との自然環境に恵まれた都市。人口は約11万人。



【特色等】

防府駅を中心に市街地が形成され、臨海部には大規模工場が立地し、一大工業地帯を形成している。

【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：

○建物物作成範囲

・LOD3： (XX m²)・LOD2： (XX m²)

・LOD1：

○テクスチ

○その他の

・交通（道

・土砂災害

・

○主題属性

・建物利用現況・

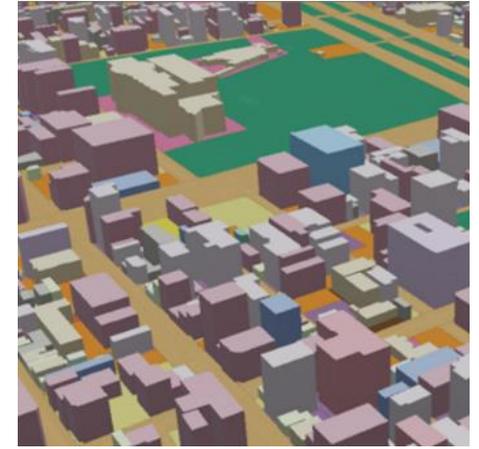
・土地利用現況：

・

整備内容検討中

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化
- 3D都市モデルを活用したまちづくり都市計画立案への活用
- 3D都市モデルを活用する人材の育成



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- 3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化
 - ・ 3D都市モデル及び三次元化した浸水想定区域図データをビューア上に重ね合わせ、災害リスクを可視化したわかりやすい情報提供
 - ・ 発災時にドローンにより撮影した画像を重ね合わせることで、迅速な状況把握と対策への活用

都市計画・まちづくり

- 3D都市モデルを活用したまちづくり都市計画立案への活用
 - ・ 3Dモデルを活用し建物など都市構造を立体的に可視化し、道路整備に伴う沿道の土地利用を検討する際の資料としての活用

問合せ先

所属：土木都市建設部
都市計画課

担当者：川崎雄樹

Tel: 0835-25-2153

Mail: toshikei@city.hofu.yamaguchi.jp

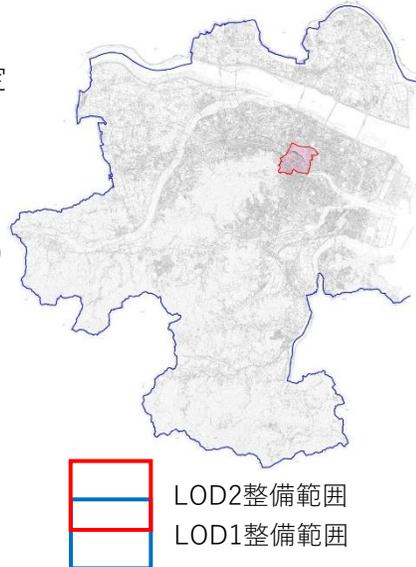
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
徳島県の東部に位置する県庁所在地。産業、政治、経済、文化、教育、情報等の様々な機能が集積する拠点都市。人口は約25万人。



【特色等】
総面積191.52km²と県庁所在地の中で2番目に小さいコンパクトな都市で、吉野川をはじめとする134の河川が市内を流れる水都として発展してきた。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2023年度整備予定
 - 建築物作成範囲（予定）
 - ・LOD2：徳島市中心市街地活性化基本計画の区域の一部（1.3km²）
 - ・LOD1：徳島市全域（191.52km²）
 - テクスチャ（予定）：有（LOD2）
 - その他の地物（空間属性）（予定）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形：有（LOD1、一部LOD3）
 - 主題属性（予定）
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

激甚化・頻発化する大規模自然災害や南海トラフ地震に備え、一人ひとりが考え行動する「防災意識が高いまち、徳島」を実現

- ア：居住する場所の災害リスクの認識
- イ：避難先（避難所・避難場所）及びその収容人員数の認識
- ウ：複数の避難経路及び避難時の危険箇所の認識



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ① 3D都市モデル及び三次元化した浸水想定区域図データをビューア上に重ね合わせるとともに、浸水シミュレーションを3D化することで災害リスクをわかりやすく可視化するシステムを構築する。
- ② 3D都市モデルを活用し、災害種別に応じた避難先（避難所・避難場所）の表示や避難先までの避難経路及び避難路の危険箇所を可視化し、迅速かつ安全な避難の検討に資するシステム構築をする。



シミュレーションイメージ

問合せ先

所属：企画政策部都市計画課

担当者：諏訪 崇志

Tel：088-621-5493

Mail：toshi_keikaku@city-tokushima.i-tokushima.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

香川県高松市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

香川県の中央に位置し、瀬戸内海に面した温暖少雨の穏やかな気候の人口約42万人の中核市。暮らし、経済、文化など様々な面において、瀬戸内海との深い関わりの中で発展してきた。

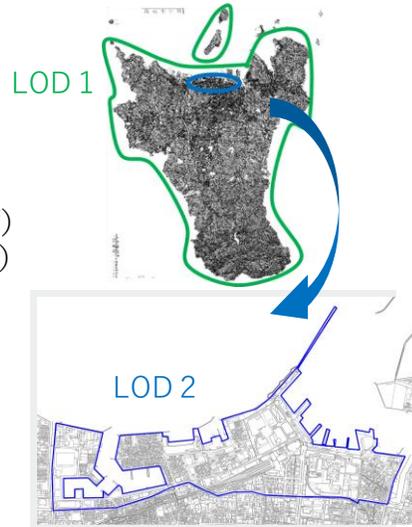


【特色等】

近年では、瀬戸内国際芸術祭の開催等により、観光客の誘致や受け入れ環境の整備にも力を入れている。

【3D都市モデル構築状況】

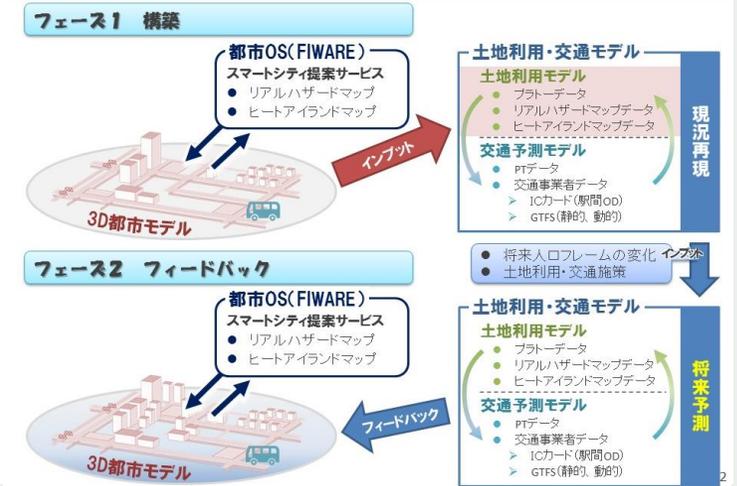
- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：サンポート高松
エリアの一部 (1.37km²)
 - ・ LOD1：市内全域 (376km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

多様な社会的要求に応える都市政策の立案やその実行に向けたステークホルダーとの合意形成の難易度が高いことから、3D都市モデルを活用した応用都市経済モデル（CUEモデル）を構築し、都市政策シミュレーションを実施して得た成果を3D都市モデルにフィードバックさせ、合意形成ツールとして利用したい。

なお、令和3年度直轄事業により、そのベースとなるユースケース開発に向け、高松市も参画している。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

CityGMLによって構成された3D都市モデルと、令和4年構築のWebAPIにより他分野と連携可能なインフラGIS（ベース・レジストリ（台帳類）を基に構築）を連携することで、詳細かつ多様なデータの活用を可能にし、各々のデータの利用価値を最大限に発揮したい。

問合せ先

所属：都市整備局都市計画課

担当者：松下 紗樹

Tel: 087-839-2455

Mail:
toshikei@city.takamatsu.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

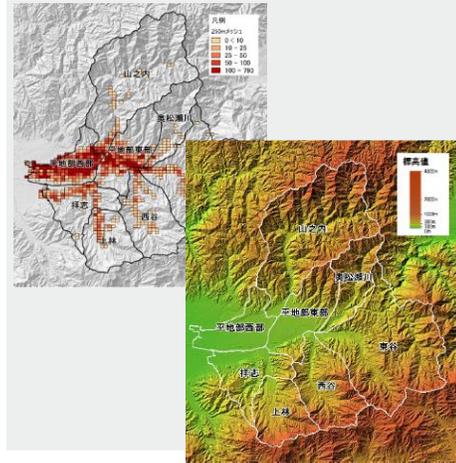
愛媛県東温市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

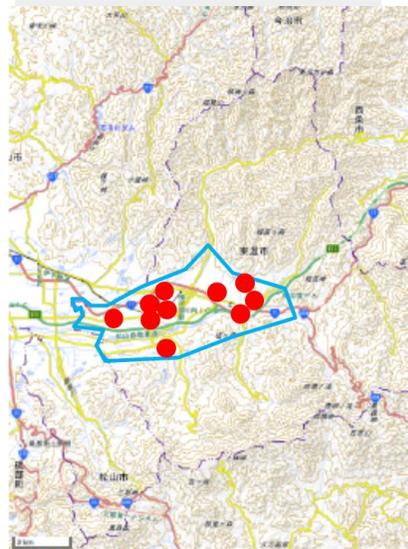
【地理、人口、産業の現状等】
愛媛県のほぼ中央部、県都松山市に隣接する人口約3万人の都市近郊型の田園都市

【特色等】
平野部を中心として市街地が集約されているが、約8割が中山間地であり、その中に個別集落が存在する。



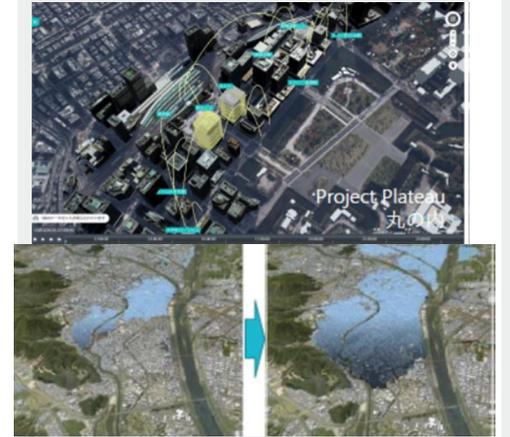
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023年度予定
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3： (XX m²)
 - ・LOD2：赤●建物 (公共施設)
 - ・LOD1：都市計画区域 (24km²)
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：無
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：人口分布、人流データの活用による効率的な都市計画や公共交通計画等の検証・立案
- イ：大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的対応
- ウ：再開発効果予測による官民連携や民間投資の促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

気象予測と連動した内水氾濫予測・避難範囲の可視化

都市計画・まちづくり

人流データによる施設利用・公共交通利用状況の可視化
駅前等の再開発シミュレーションによる開発効果及び環境影響等の可視化

問合せ先

所属：産業建設部都市整備課

担当者：平岡芳樹

Tel:089-964-4412

Mail:tosiseibi@city.toon.ehime.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

松山市は、四国の北西部、愛媛県のほぼ中央に位置し、四国最大の人口約 51 万人を有する中核市である。

【特色等】

中心部には、松山城のほか、日本最古と言われる道後温泉などがあり、日本有数の観光地である。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：中心部 (5.52km²)
 - ・LOD1：都市計画区域 (259.55km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：公共交通体系の見える化・人流データの可視化。
- イ：市民ワークショップでの合意形成。
- ウ：河川氾濫や津波、避難行動シミュレーションの可視化。
- エ：避難訓練ワークショップ（オンライン型含む）による防災意識の向上。
- オ：立地適正化計画における防災指針の作成。
- カ：災害レッドゾーンの見える化



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

【防災・防犯】

立地適正化計画における防災指針等の都市計画策定に活用したい。

【都市計画・まちづくり】

河川氾濫や津波、避難行動のシミュレーション結果を3Dモデルと組み合わせたVR等による提示を行い、住民との合意形成につなげる。

【モビリティ・ロボティクス】

人流データを3D都市モデルで可視化し、公共交通を見える化することで交通計画に活かしたい。

問合せ先

所属：都市整備部
都市・交通計画課

担当者：越智 ゆかり

Tel:089-948-6448

Mail:toshi-kou@city.Matsuyama.ehime.jp

福岡県飯塚市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

福岡県のほぼ中央に位置し、人口約12.9万人の中核都市。3つの大学を有する文化性・創造性を備えた情報産業都市、学園都市として位置付けられている。

【特色等】

教育先進地域としての強みを生かし、小中学校、高等学校、大学が相互に連携した人材育成に取り組んでいる。姉妹都市との国際交流も盛んであり、グローバル化する地域経済への対応を図っている。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：市内居住誘導区域全域 (15.81km²)
 - ・LOD1：市全域 (213.92km²)
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・各種都市計画情報
 - ・開発許可実績
 - ・建築基準法上の道路判定情報 等
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

防災

○大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的対応
リアルタイムな河川状況の把握、情報共有



※災害状況情報共有イメージ(画像はArcGIS Online 災害時初動対応テンプレート)

都市計画

○都市計画立案（都市計画道路等）への活用
橋梁部も3D表示することで都市計画案をより分かりやすくする



※立体交差道路の3D表示イメージ(画像はGoogleEarth)

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

河川の水位情報等をリアルタイムで観測し、そのデータをArcGISやRe:EarthなどのWebGISと連携して可視化する。増水状況をモニタリングして、大雨時の水位観測担当職員の負担軽減、河川状況・排水ポンプ稼働情報等の集計作業の効率化・自動化を行う。

都市計画・まちづくり

建物だけでなく、橋梁も3D表現することで、道路等の事業化の際の地権者等への説明会でより現実的な3D都市モデルを活用する。

問合せ先

所属：都市建設部都市計画課

担当者：植田 健太郎

Tel: 0948-22-5500(内1554)

Mail: k-ueda24
@city.iizuka.lg.jp

福岡県北九州市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
福岡県の北部に位置する政令指定都市で、国際産業貿易都市。人口は約94万人。

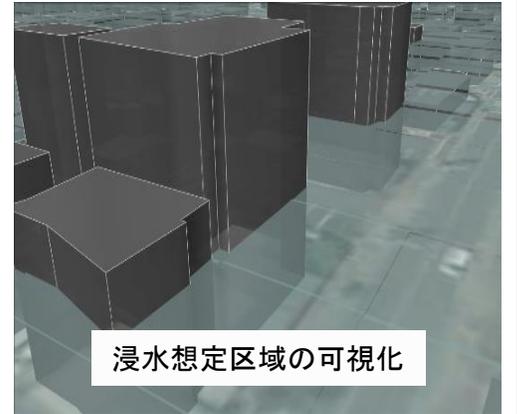
【特色等】
環境や産業の技術集積、空港や港湾などの都市基盤を有する一方、長い海岸線や山々など自然に恵まれた街。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2020年
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：小倉駅周辺およびスペースワールド駅周辺（1.64㎡）
 - ・LOD1：用途地域及び洪水浸水区域、津波浸水区域の範囲（211.36㎡）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有 * 非公開
 - ・土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：立地適正化計画における居住誘導区域と浸水想定区域の検証等の検討材料
イ：既存の都市計画データ（GIS）などの3D化による利便性向上



浸水想定区域の可視化

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①浸水想定区域、避難経路等の防災情報を基にした災害リスク分析

都市計画・まちづくり

- ②安全区域の3D化による立地適正化計画と連動した住民の居住区誘導に資する資料



防災情報を基にした災害リスク分析

問合せ先

所属：建築都市局計画部
都市計画課

担当者：新谷 勇士

Tel:093-582-2451

Mail:
toshi-toshikeikaku
@city.kitakyushu.lg.jp

福岡県久留米市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

福岡県の南部に位置し、医療環境や産業、自然など地域資源に恵まれた県南地域の中核都市。人口は約30万人。

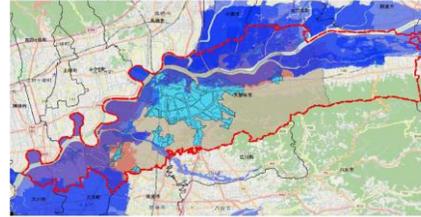
【特色等】

コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市づくりを進めている。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマーク施設
 - ・LOD1：用途地域とL2洪水浸水想定区域及び高潮浸水想定区域を包括する範囲（141 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・道路：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水警戒区域：有
 - ・高潮浸水想定警戒区域：有



LOD2のランドマーク施設

種別	施設名	作成
市役所	久留米市役所	○
総合庁舎	久留米総合庁舎	○
警察	久留米警察署	○
消防	久留米広域消防本部	○
郵便局	久留米郵便局	○
病院	久留米大学病院	○
病院	聖マリア病院	○
駅	久留米駅	○
駅	紙袋橋前駅	○
駅	西鉄久留米駅	○
支所	城島総合支所	○
支所	三瀬総合支所	○
支所	北野総合支所	○
支所	田主丸総合支所	○
劇場等	久留米シティプラザ	○
駅	宮の陣駅	△駅舎のみ
駅	大善寺駅	△駅舎のみ
駅	荒木駅	○
病院	新古賀病院	○

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

3D都市モデルの活用方法について研究中のため、活用事例について、広く御教示いただきたい。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

現時点では未定

問合せ先

所属： 都市建設部都市計画課

担当者： 石橋

Tel: 0942-30-9083

Mail: toshikei@city.kurume.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

福岡県福岡市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
福岡県の西部に位置する政令市。
九州最大の商業・業務機能が集積する天神・博多を有する。
人口は約162万人。
推計では、R17年まで人口増。

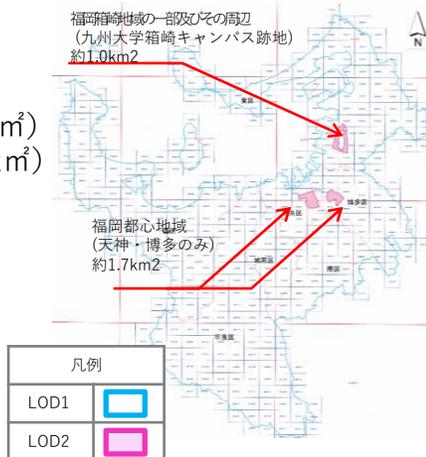


【特色等】
都心部を中心に海や山に囲まれ、
Y字型に都市機能が集約し、コンパクトな市街地が形成されている。



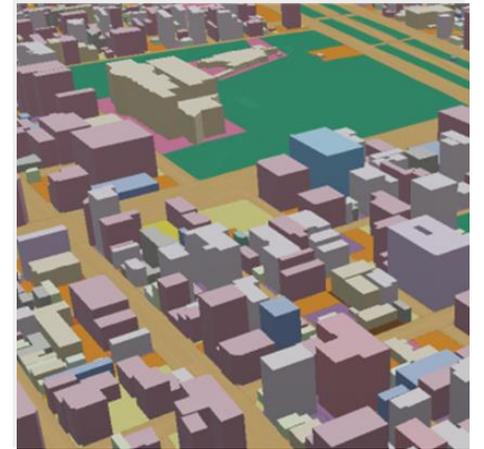
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和4年度
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備
 - ・LOD2：天神、博多など (2.7km²)
 - ・LOD1：市全域 (338km²)
- テクスチャ：LOD2分のみ有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：無
 - ・土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：全市域な土地・建物の利用動向の可視化、分析
- イ：地域におけるまちのルール作りや周辺環境への配慮、景観形成への活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

※検討中

問合せ先

所属：住宅都市局都市計画課

担当者：武田、大仲

Tel: 092-711-4388

Mail:toshikeikaku.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

福岡県宗像市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

福岡市と北九州市の両政令指定都市の中間に位置し玄界灘に面している人口約9万7千人の都市である。

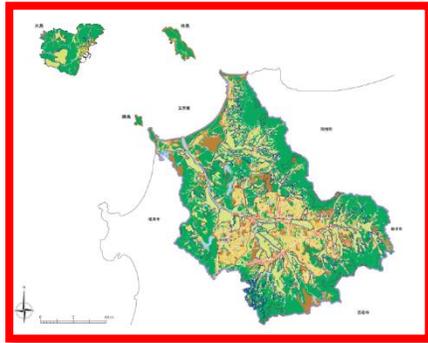
【特色等】

平成30年に宗像市立地適正化計画を定め、市街地の範囲や都市機能の立地をコントロールしながら、人口減少社会に耐え得る住みよいまちづくりの実現を目指している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：今後整備を検討
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：未整備
 - ・ LOD2：ランドマークのみ
 - ・ LOD1：都市計画区域及び大島、地島、勝島（109.86 m²）



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：災害リスクを直感的にわかりやすく可視化することにより、地域住民の防災意識の向上を図りたい。（危険個所の把握、避難経路の確保等）
- イ：災害発生時のシミュレーション結果を表示させることにより、地域住民による災害発生時の被害予想等を容易に行えるよう図りたい。
- ウ：再生可能エネルギー利用の促進、エリア全体での省エネ促進、部門別（家庭、業務）エネルギー消費の特性や地域特性・資源に応じた創エネ促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

3D都市モデルを活用した防災マップの作成

環境・エネルギー

再生可能エネルギー（太陽光、風力など）のポテンシャルの推計

問合せ先

所属：都市再生部都市計画課

担当者：辻 純也

Tel : 0940-36-1484

Mail :
tosikei@city.munakata.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

福岡県うきは市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

福岡県の南東部に位置し、南側に耳納連山、北側を筑後川と接する自然豊かな人口約3万人のまち。農業・林業を基幹産業とし、特に果樹について1年中様々な品種が栽培されている。

【特色等】

豊かな自然に加え、伝建地区や工業団地を有し、歴史・文化と商工業が融合・調和したまちである。



筑後吉井地区

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：ランドマーク7棟
 - ・LOD1：市域全域（117.46 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有（LOD1）
 - ・洪水浸水想定区域：有（LOD1）
 - ・地形（LOD1）
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：市全体としての防災意識（自助・共助・公助）

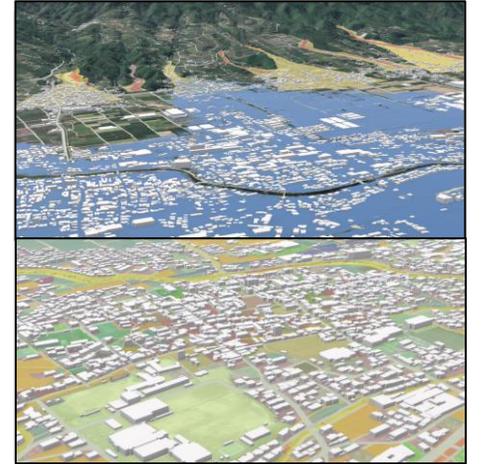
⇒3D都市モデルを活用した市全域の災害リスク理解度促進及び向上

イ：現準都市計画区域を含めた都市計画区域設定

⇒3D都市モデルを活用した都市計画区域設定の説明資料

ウ：伝統的建造物群保存地区等の活用検討及び街並み・景観整備等促進

⇒3D都市モデルを活用した景観・まちづくりの整備・保存への利活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・まちづくり

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の可視化や様々なデータを重畳し、災害リスク理解度促進や防災意識の向上を図る。

都市計画・まちづくり

都市計画区域検討のため、市街地形成の可視化（街並みの変遷や農地転用状況等）や様々なデータを重畳し、都市計画のシミュレーションを行う。また関係機関との協議や分析に活用を図る。

景観・まちづくり

伝統的建造物群保存地区等のLOD2化を行い、各種情報を付与し、景観保存・整備事業の検討として利活用を図りたい。

問合せ先

所属： 都市計画準備課

担当者： 行村 純徳

Tel: 0943-76-9063

Mail: keikaku@city.ukiha.lg.jp

佐賀県武雄市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
佐賀県の西部にある人口約4.8万人の温泉都市。
県内を横断する松浦川と六角川の源流があり、温泉や焼き物などの観光業が盛んである。



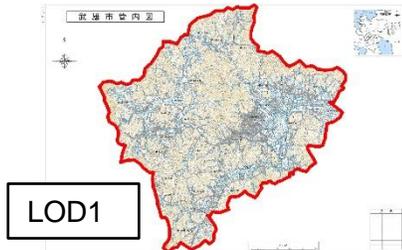
武雄温泉楼門

【特色等】
国道、高速道路、JR佐世保線などの交通基盤が整い県西部の交通の要衝「西九州のハブ都市」として発展している。令和4年9月に九州新幹線西九州ルートが暫定開業しさらにアクセスが向上し、発展がみこまれる。



LOD2

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：武雄温泉駅周辺（1.0km²）
 - ・LOD1：武雄市全域（195.4km²）
 - テクスチャ：無
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・洪水浸水想定区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



LOD1

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：近年の大雨災害等に伴う災害リスク情報可視化による現況把握及び防災意識の向上
イ：新幹線新駅開業に伴う観光への活用。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ①災害リスク情報、浸水想定等を関係部署と共有

地域活性化・観光・コンテンツ

- ②3D都市モデル内で観光情報に容易にアクセスでき、ルート案内や公共交通機関の情報が取得できる

問合せ先

所属：まちづくり部都市計画課

担当者：永井 輝孝

Tel: 0954-27-7162

Mail:toshi@city.takeo.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

長崎県佐世保市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

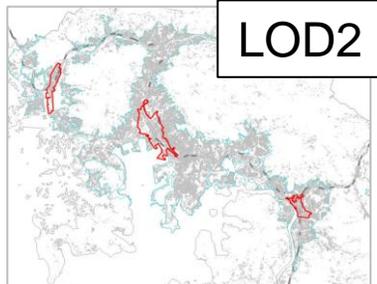
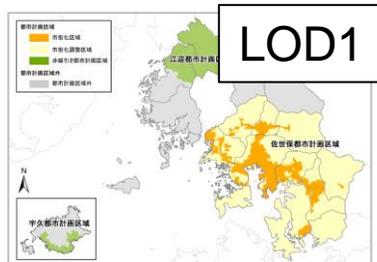
自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
長崎県北部に位置する中核市。
海と山に囲まれた地形。自衛隊
や米海軍が所在し、造船業が主
要産業だが、観光産業にも注力
している。人口は約24万人。

【特色等】
中心市街地に都市機能が集積し
周辺市町からの通勤通学は多い。
商店街などは人通りがあり、民
間主体の活動も活発で、まちな
かが賑やかである。



- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：2023年度
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD3：0 km²
 - ・LOD2：市街化区域内（3.0 km²）
 - ・LOD1：佐世保市全域（426.01 km²）
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・都市計画情報各種：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：戦略的な都市再生のためのマーケティング→ターゲッティング
（まちづくり）

※居心地が良く歩きたくなる区域整備・活用やエリアマネジメン
ト等に活かすためのデータを民間団体等と共有

イ：都市再生の鍵を握る斜面住宅地の再生（まちづくり）

中心核における人口密度を維持するため、低未利用土地権利設定
等促進計画などを活用しながら、再生する斜面住宅地の適地を
データを基に検討

ウ：浸水想定市街地の防災まちづくり（防災・都市再生）

住民属性を考慮した垂直避難施設整備の検討（必要な垂直避難機
能を有する民間開発の促進）



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

①住民属性に応じた避難及び緊急避難のための垂直避難施設の検討

都市計画・まちづくり

①都市再生のためのマーケティング戦略検討システム

- ・人流分析による属性・目的別のマーケティング分析
- ・センシングとデータ統合によるエリアのマーケティング、公共空間の利用状況や
管理に必要な情報の日常的・継続的な計測による管理運用への活用

②地形に応じた住宅地再生可能性検討システム

- ・災害リスクや地価、道路網、空き家情報等の重ね合わせに加え、地形データによ
る傾斜角の測定など、開発基準に即した斜面住宅地開発の可能性を簡易検討

③3Dデータを用いた交通解析

問合せ先

所属：都市政策課

担当者：野寄、日高、藤松

Tel: 0956-24-1111(内線2807)

Mail: tosise@city.sasebo.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

熊本県荒尾市

防災・防犯

都市計画・まちづくり

環境・エネルギー

インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ

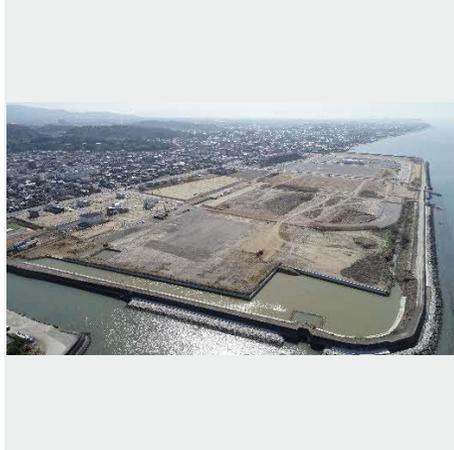
モビリティ・ロボティクス

その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
熊本県西北端に位置し、人口約5万人を有する市である。主な産業としては、レジャー産業、医療・福祉が市の成長エンジンである。

【特色等】
平成23年度に廃止した競馬場跡地を含む約35haについて、南新地土地区画整理事業に併せて、スマートシティモデル事業の取組みも行っており、中心拠点の再生を図っている。



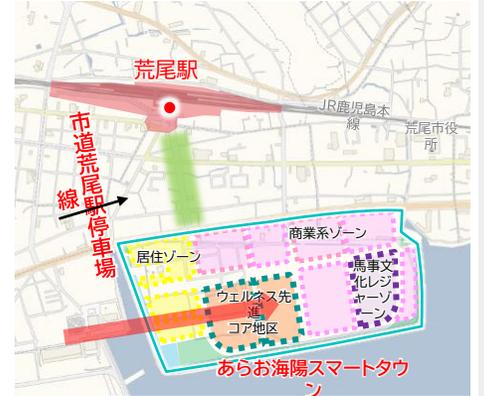
【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2020年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：公共施設等（18棟）
 - ・LOD1：荒尾市全域（57.37km²）
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路、鉄道）
 - ・公園
 - ・土砂災害警戒区域
- 主題属性
 - ・都市計画区域
 - ・用途地域
 - ・土地利用現況



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 荒尾市全体におけるまちづくり
 - ・立地適正化計画防災指針策定における情報整理及び浸水想定区域の可視化及びシミュレーション
 - ・各部局保有データの集約、反映による行政事務効率化
 - ・都市計画マスタープラン見直し及び効率的な都市機能誘導に係る各情報整理の可視化
- あらお海陽スマートタウン(南新地土地区画整理事業地内)において、デジタルツインを活用したグリーンフィールド型のスマートシティを目指している。
 - ・沿岸道路延伸時の交通・人流・シミュレーションによる可視化
 - ・日照・気象シミュレーションを活用した再エネ導入予測
 - ・工事進捗状況をVR化し、住民説明時に利用
 - ・荒尾駅停車場線のウォークアブル空間実現に向けた景観、整備シミュレーション
 - ・自動運転EVバス検討における活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・防災指針作成時における情報の整理及び浸水想定区域の可視化及びシミュレーション

都市計画・まちづくり

- ・都市計画情報の可視化及び分析ツール

環境・エネルギー

- ・日照・気象シミュレーションを活用した再エネ導入予測

モビリティ・ロボティクス

- ・交通・人流シミュレーション技術
- ・自動運転EVバス検討における活用

問合せ先

所属：地域振興部 都市計画課
地域振興部 スマートシティ推進室

担当者： 前畑
吉光

Tel: 0968-63-1487
0968-57-7622

Mail: toshi@city.arao.lg.jp
smart@city.arao.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

熊本県熊本市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

・熊本県の西北部に位置している。面積約390km²人口約74万人。H24に政令指定都市に移行。
・サービス業が中心でその他IC産業の集積、農業、水産業など各種産業が展開されている。



【特色等】

・中心市街地周辺では、熊本城への眺望及び熊本城からの眺望を保全するため、景観形成基準を定めている。城下町の風情を感じられる町並みづくりを進めている。水道水源の全てを地下水で賄っており、人口50万人以上の都市としては日本唯一の都市



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：2020年

○建物物作成範囲

- ・ LOD3：なし (0 m²)
- ・ LOD2：市街化区域の一部 (0.05km²)
- ・ LOD1：市街化区域全域 (107 km²)

○テクスチャ：有

○その他の地物（空間属性）

- ・ 交通（道路）：有（LOD1）
- ・ 土砂災害警戒区域：有

○主題属性

- ・ 建物利用現況：有
- ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア 景観行政の効率化

景観の重点地域内での建築計画や屋外広告物による眺望の変化（ボリューム、色彩等）を誰でも容易にシミュレーションが可能となることによる、調和のとれた街並み形成のための景観行政の効率化。



イ 上下水道施設の維持管理

管理する上下水道施設（埋設管等）について、安全で効率的な3Dによる可視化。（埋設管の位置、施工時期情報、過去の破損歴等）また、各インフラの情報の共有や公共空間・地下空間の有効活用。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

ア 都市計画・まちづくり（景観行政の効率化）

- ・ 3D都市モデルの建築物更新、色彩反映等を簡易的にシミュレーション可能とする技術

イ インフラ管理（上下水道施設の維持管理）

- ・ 各インフラの情報共有、公共空間・地下空間の活用利用

問合せ先

所属（窓口）：都市政策課

担当者：佐治・水田

Tel: 096-328-2502

Mail: toshiseisaku@city.kumamoto.lg.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

熊本県玉名市

防災・防犯

都市計画・まちづくり

環境・エネルギー

インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ

モビリティ・ロボティクス

その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

熊本県の北西部に位置する県北地域の拠点都市。農業、漁業、及び観光(温泉)を中心とした田園都市。人口は約6.5万人。

【特色等】

歴史と文教のまち、菊池川が流れる玉名平野では米作り、商業、温泉など古くから営まれ、また、大学、高校が集中する県北の文教都市を形成している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2022年～2024年
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：高瀬裏川水際緑地（0.015km²）
 - ・LOD2：都市機能誘導区域（1.36km²）
 - ・LOD1：玉名市全域R6年度整備予定（152.6km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1、3）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形/都市設備/植生等
- 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有
 - ・構造種別、調査年等



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ア：市民及び来訪者の行動嗜好性の可視化、分析
- イ：公共交通の利便性向上、空白不便地域の移動確保、データを活用した公共交通の最適化、移動需要の見える化、社会状況に対応した移手段の確保
- ウ：大雨時の水位モニタリングや被災予測による効果的対応（避難施設配置検討や避難経路検討等）
- エ：インフラの更新とランニングコスト抑制、道路・橋梁等のインフラの診断とデータ統合によるマネジメントの効率化（「橋梁の点検データ」×「人流・自動車流」等）
- オ：再生可能エネルギー利用の促進、エリア全体での省エネ促進、部門別（家庭、業務）エネルギー消費の特性や地域特性・資源に応じた創エネ促進



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり、インフラ管理

- ①センシングとデータ統合によるインフラのマネジメント、公共空間の利用状況や管理に必要な情報の日常的・継続的な計測による維持管理への活用

環境・エネルギー

- ②災害時のエネルギー自立の実現に向けた系統電力のみに依存しないシステム、エネルギーの地産地消に資するグリーン電力や地域特性に応じた未利用エネルギーの導入

防災・防犯

- ③浸水シミュレーションによる地域の防災意識向上や避難計画の高度化

地域活性化・観光・コンテンツ

- ④新しい技術（VR、AR等）を活用したコンテンツによる地域活性化

モビリティ・ロボティクス

- ⑤バス路線の維持に必要なバス運転手の人材不足を補うための自動運転技術、デマンド交通へのAI及びビッグデータによる経路最適化

問合せ先

所属：建設部都市整備課

担当者：安田 信洋

Tel: 0968-75-1122

Mail:toshi@city.tamana.lg.jp

熊本県益城町

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理

地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
熊本県の中央北寄りに位置し、交通の玄関口として、高速インターなどの交通拠点を有し、企業進出や流通拠点が形成されている。人口は、約3.3万人。

【特色等】
本町では、平成28年4月に発生した熊本地震により、甚大な被害を受けた。現在は土地区画整理事業、都市計画事業等を実施し、復興に向けたまちづくりを行っている真っ只中である。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：令和2年度
※令和5年度更新中
 - 建物物作成範囲
 - ・LOD2：公共施設他 (0.01km²)
 - ・LOD1：益城町全域 (65.68km²)
 - テクスチャ：有
 - その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・建物利用現況：有
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア 将来都市構造の実現に向けた分析及び政策の可視化

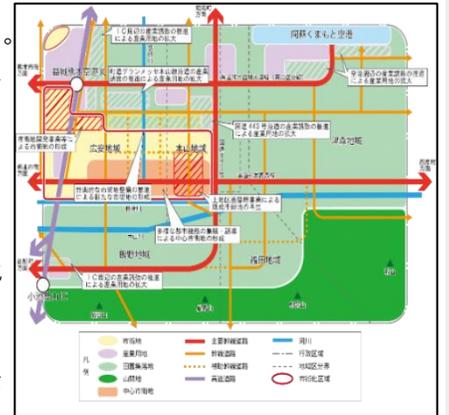
- ・現状の市街地及び今後の将来的土地利用の動向を踏まえた将来都市構造の可視化を行う。
- ・震災復興関連事業による既成市街地の早期再生や、地震災害への不安を払拭する災害に強い市街地形成への取組みに関する、事業の認可に係る事業説明や合意形成の効率化を図る。

イ 特に既成市街地を主とした浸水ハザードの可視化による、雨水処理対策等の具体検討及び住民意識の向上

- ・グリーンインフラや遊水地、雨水タンク等の設定等による影響の軽減イメージの可視化を行い、災害に強い市街地形成への取組みにおける住民の意識向上を図る。

ウ 地域交通網の整備検討

- ・都市計画道路や復興事業による土地区画整理が進んでいる本町の道路環境の向上につなげるため、道路環境の可視化、道路状況の改善、危険箇所等の分析検討を行う。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ・都市的土地利用を推進していくための、都市づくりのシミュレーション技術
- ・住民説明会での説明時等で住民の合意形成を図るツールとして利用可能な3D技術（イメージ映像等）

防災・防犯

- ・災害ハザード等を住民により身近に感じてもらうための、3D技術を活用した、情報発信を行うための手法の提案

インフラ管理

- ・道路埋設物、水路等を含めた情報管理及び公開システムの整備
- ・道路環境の向上につなげるための、路面修繕箇所抽出や優先度評価する技術
- ・通学路における交通危険箇所抽出と優先度評価による点検や対策手法

問合せ先

所属：都市計画課 都市計画係

担当者：倉岡

Tel:096-286-3340

Mail:
toshikeikaku@town.mashiki.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大分県臼杵市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
大分県南東部に位置する地方都市で、人口は約3.6万人。基幹産業は醸造業・造船業で、温暖多雨な気候を生かした農業も盛ん。



【特色等】
1600年頃から始まった伝統ある醸造業や、質素倹約の中で知恵を絞って生まれた郷土料理などの多様な食文化が発展し、2021年にはユネスコ創造都市ネットワーク（食文化分野）の加盟認定を受けている。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：2023年整備予定
- 建物物作成範囲
 - ・LOD2：都市機能誘導区域の一部（0.3
 - ・LOD1：臼杵市都市計画区域（48.22km
- テクスチャ：無
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：有（LOD1）
 - ・土砂災害警戒区域：有
 - ・地形：有
- 主題属性
 - ・建物利用現況：無
 - ・土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：立地適正化計画の居住誘導区域及び防災指針策定作業における住民ワークショップなどで課題として浮彫となった「浸水想定区域」等を可視化し、策定後の説明責任を効果的に果たすとともに、今後の各種防災施策の連携を向上させる。



イ：都市計画の用途地域や道路の見直し、景観計画、国土強靱化地域計画、立地適正化計画等の改訂作業を連携して行う必要があり、3D化された災害、土地、建築物等の情報を有意に活用する。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化、各種計画との連携・相互活用

問合せ先

所属： 都市デザイン課

担当者： 遠藤 明尚

Tel: 0972-63-1111

Mail: a-endou@city.usuki.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

大分県大分市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

大分県の中部に位置し、県庁所在地であり中核市。臨海部を中心に鉄鋼業、化学工業などの産業が盛んである工業都市。人口は約47万人。



【特色等】

市内には、市街地を中心とした優れた都市が整備されている一方で、海や山等の自然も多くあり、都市と自然を兼ね備えた都市である。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
- 建物物作成範囲
 - ・LOD3：未整備（－ m²）
 - ・LOD2：未整備（－ m²）
 - ・LOD1：未整備（－ m²）
- テクスチャ：未整備
- その他の地物（空間属性）
 - ・交通（道路）：未整備
 - ・土砂災害警戒区域：未整備
 - ・
- 主題属性
 - ・建物利用現況：未整備
 - ・土地利用現況：未整備
 - ・

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- ・3D都市モデルは今後、デジタルインフラとして多岐にわたって活用されていくものと考えているため、本市においても活用方法を模索しながら整備を進めていきたいと考えている。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

都市計画決定に伴う地元説明会や都市計画審議会等で3D都市モデルを活用することで、都市の状況を視覚的に分かりやすく示すことができ都市計画の内容を深く検討することや、各会における参加者の理解の向上を図る。

問合せ先

所属：都市計画部都市計画課

担当者：川上 大雅

Tel:097-537-5965

Mail: tokei1@city.oita.oita.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

沖縄県那覇市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

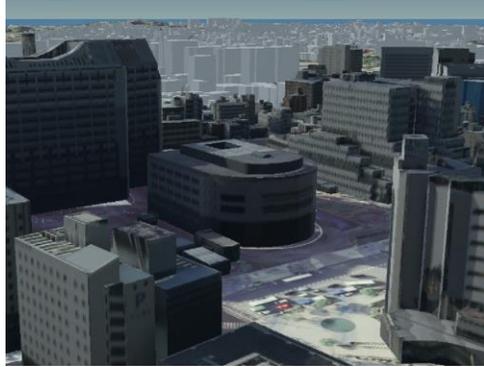
沖縄県の南西部に位置する中核市。沖縄県の県都として、政治・経済・文化の中心地となっている。人口は約32万人。

【特色等】

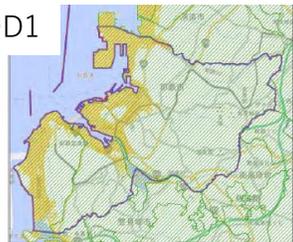
○那覇市、首里市、真和志市、小禄村の編入合併により誕生。
○市内には、空と海の玄関口である那覇空港と那覇港などがあり、モノレールが南北に縦断している。

【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：令和2年度
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：中心市街地活性化区域（1.74km²）
LRT整備予定箇所（0.45 km²）
都市再生緊急整備地域（0.08 km²）
 - ・ LOD1： 全域（39.98 km²）
- テクスチャ：有
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



LOD1



LOD2



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- 3D都市モデルについて、本市において現時点で課題解決に向けた具体的な活用方法が決まっていないことから、庁内関係課を含めて、活用方法を検討したいと考えている。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

新たな都市交通の導入や都市計画道路などの計画について、整備前、整備後のまちの変化を視覚的に見せることで市民の理解、イメージがしやすくなる。

問合せ先

所属：那覇市都市みらい部
都市計画課
交通政策LRTグループ

担当者：伊佐亮汰

Tel:098-951-3246

Mail:
74004RYOT@city.naha.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

埼玉県行田市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

埼玉県の北部、東京都心まで約60kmの距離に位置している。人口は約7万8千人。秩父鉄道行田市駅及びJR行田駅周辺を中心に卸売業、小売業が上位を占めている。

【特色等】

埼玉古墳群、忍城址、古代蓮の里、足袋蔵等豊かな自然と歴史が息づいている。



【3D都市モデル構築状況】

○データ整備年度：R7年度整備予定

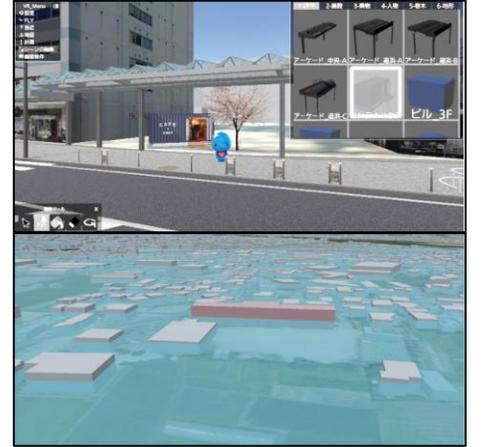
3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【防災関係】

- ・JR行田駅周辺に荒川の家屋倒壊等氾濫想定区域が指定されているため、防災・減災対策が課題。
- ・荒川の破堤からいつまでに避難しなければならないのか、垂直避難が可能なのか等可視化し、市民の防災意識の向上やマイタイムラインの作成を進める。

【景観関係】

- ・令和5年度から景観計画を策定する中で、規制内容の可視化、関係者との合意形成が課題。
- ・将来のまち並み景観を容易にシミュレーションする。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

災害リスクの可視化。

想定破堤箇所を設定し、浸水氾濫の進行状況を時系列で表示することによって、災害リスクを可視化する。

都市計画・まちづくり

景観シミュレーションアプリ開発。

建物の追加、除去などを簡単な操作で編集できるアプリケーションを作成し、将来のまち並みシミュレーションを実施する。

問合せ先

所属：都市整備部都市計画課

担当者：増田 享平

Tel:048-550-1550

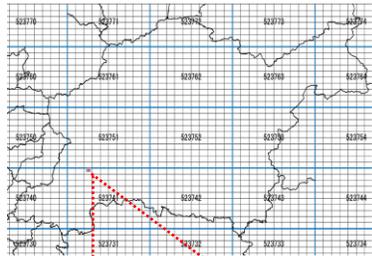
Mail:toshi@city.gyoda.lg.jp

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
愛知県のほぼ中央に位置する中核市。面積は県内最大の約918km²、約7割が森林。自動車産業を中心とする世界有数のものづくり拠点。人口は約42万人。

【特色等】
一級河川矢作川が市役所などの行政機関や企業等が集中する豊田市中心部を流れ、洪水時は広い範囲で10mを超える浸水深が想定されている。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：
 - ・ LOD2（2023年度予定）
 - ・ LOD1（2022年度）
 - 建物物作成範囲
 - ・ LOD2：豊田市役所周辺（0.8km²）
 - ・ LOD1：豊田市全域（918.32km²）
 - テクスチャ：有（予定）
 - その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：有（LOD1）
 - ・ 土砂災害警戒区域：有
 - 主題属性
 - ・ 建物利用現況：有
 - ・ 土地利用現況：有



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：災害リスクの可視化

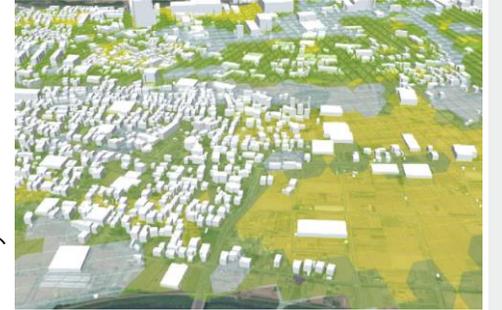
豊田市中心部は、地形的に浸水しやすく、広い範囲で10mを超える浸水深が想定されるため、住民がリスクを正しく理解する必要がある

イ：住民の具体的な洪水対応行動の支援

浸水想定区域では、建物階数と浸水深から垂直避難の可否を判定し、住民、要配慮者、事業所等の避難対策支援に活用する

ウ：災害対策本部におけるタイムライン作成

災害対策本部において、対応行動とその判断基準を検討し、タイムラインを検討する



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

- ・ 市民が避難に必要な事前情報等を分かり易くかつ簡単に入手でき、緊急時に適切な避難行動につなげるための市Webサイトでの掲載
- ・ 洪水時の防災訓練シミュレーションへの活用

問合せ先

所属： 建設部河川課

担当者： 岡田 拓馬

Tel: 0565-34-6672

Mail: kasen@city.toyota.aichi.jp



【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

岡山県倉敷市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
岡山県の南部に位置する中核市。倉敷駅を中心とした商・観光圏の他、水島地区の工業圏などを有する。人口は約48万人。

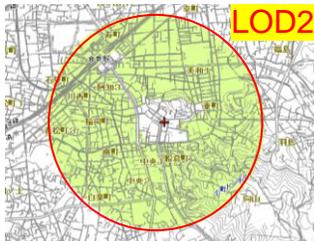


【特色等】
倉敷駅周辺には観光施設が集約し、駅周辺総合整備計画による魅力ある空間の創出を遂行している。



【3D都市モデル構築状況】

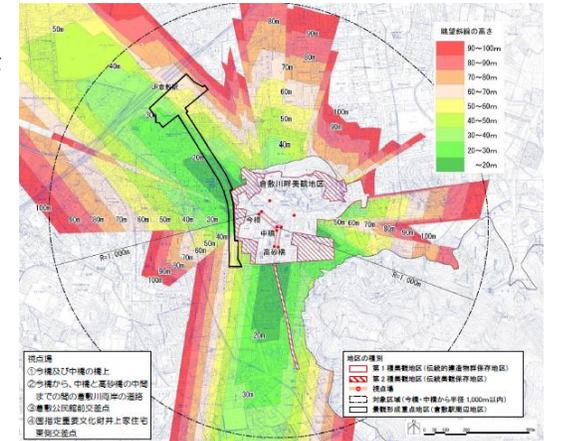
- データ整備年度：今後整備を検討
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：倉敷美観地区内 (0.21 km²)
 - ・ LOD2：眺望保全地区内 (3.35 km²)
 - ・ LOD1：なし (0.00 km²)
- テクスチャ：有 (LOD3のみ)
- その他の地物 (空間属性)
 - ・ 交通 (道路)：有 (LOD3のみ)
 - ・ 土砂災害警戒区域：無
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：無
 - ・ 土地利用現況：無



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

倉敷市は倉敷駅周辺を中心市街地とするが、倉敷美観地区が駅から約600mに位置するため、眺望保全を目的とした建物の高さ規制を行っている。以上のことから、以下の課題を設定した。

- ア：倉敷美観地区における歴史的景観の維持と中心市街地における高次都市機能集積の両立
- イ：眺望保全地区における眺望確認作業の正確性・作業性の向上



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

- ①眺望保全地区への建築物新築を想定した景観シミュレーションツールの構築
- ②上記ツールの公開



問合せ先

所属：建設局都市計画部
都市計画課

担当者：田邊 建雄

Tel: 086-426-3455

Mail: constplan@city.kurashiki.okayama.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

岡山県津山市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
岡山県の北部に位置する人口面と経済面における県北最大の都市。また、中国山地の中心都市でもある。津山藩の城下町から発達した都市。人口約10万人。

【特色等】
温暖な気候風土、山陽、山陰を結ぶ交通の要衝として地理的利便性により、鶴山公園（津山城跡）を中心に城下町の風情を残した豊かな自然と都市機能が調和した田園都市。

【3D都市モデル構築状況】
○未整備



鶴山公園

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

【まちづくりの主要課題】

- 1) 県北中心都市としての拠点性の向上
- 2) 中心市街地の活性化と既存ストックの有効活用
- 3) コンパクトで持続可能な都市の形成
- 4) 都市施設の整備と適切な維持・管理
- 5) 歴史・文化と自然の保全と活用
- 6) 安全・安心で快適な生活環境の形成



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

○具体的なイメージは無し（当面は、情報収集）

問合せ先

所属：都市建設部都市計画課

担当者：福田 将則

Tel:0868-32-2096

Mail:fukuda_masanori@city.tsuyama.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

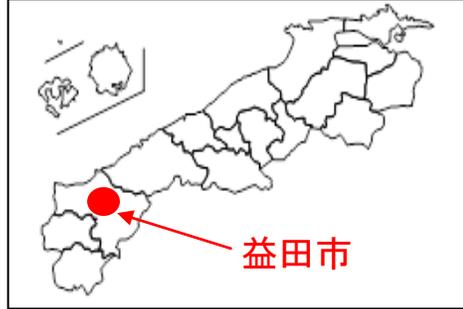
【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

島根県益田市

防災・防犯 / **都市計画・まちづくり** / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
島根県の最西部に位置し、西部の中心都市。人口約4万5千人。



【特色等】
○中心市街地は、医療・福祉・教育や商工業など都市機能が集積している。豊かな自然と歴史的・文化的資源が数多く、また、都市部を結ぶ空港を有している。

- 【3D都市モデル構築状況】
- データ整備年度：未整備/R6整備予定
 - 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：
 - ・ LOD2：
 - ・ LOD1：
 - テクスチャ：
 - その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：
 - ・ 土砂災害警戒区域：
 - ・
 - 主題属性
 - ・ 建物利用現況：
 - ・ 土地利用現況：
 - ・

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

○中心市街地は、医療・福祉・教育や商工業など都市機能が集積している。豊かな自然と歴史的・文化的資源が数多く、また、都市部を結ぶ空港を有している。



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

都市計画・まちづくり

センシングとデータ統合によるインフラのマネジメント、公共空間の利用状況や管理に必要な情報の日常的・継続的な計測による維持管理への活用

問合せ先

所属：建設部都市整備課

担当者：柳井 克典

Tel: (0856) 31-0291

Mail:toshi@city.masuda.lg.jp

PLATEAU
by MLIT

【地方公共団体ニーズシート】 3D都市モデルを活用した社会課題の解決／新たな価値創造

香川県土庄町

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
 地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】
 瀬戸内海国立公園の東部にあって、備讃瀬戸の入口に位置する小豆島の北西部及び豊島を含めた地域。観光業中心の町。人口は約1.2万人。

【特色等】
 船舶が発着する港を中心に市街地が広がり、観光関連産業が多核的に分布しており、域学連携や交通による課題解決を目指している。



【3D都市モデル構築状況】

- データ整備年度：
 - ・未整備 / ・整備年度未定
- 建物物作成範囲
 - ・未定

3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

- (1) ドローン技術や自動運転の発展により、建物や道路等の詳細情報が必要となってくることが確実視されることから、将来のモビリティについて対応したい。
- (2) 災害情報のビジュアル化や都市計画やまちづくりにおいて将来ビジョンの可視化。

上記の期待はありますが、整備に向けて未検討のため具体化できません。

導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

避難要配慮者の避難行動の把握や的確な避難情報の提供

都市計画・まちづくり

都市計画施設の進捗情報の提供やまちづくりにおける社会実験やイベントの情報発信

地域活性化・観光・コンテンツ

模索中

モビリティ・ロボティクス

ドローンや自動運転による物流や人流のためのシステム

問合せ先

所属： 建設課

担当者：宇夫方 徹

Tel: 0879-62-7006

Mail:
t0815@town.tonosho.lg.jp

鹿児島県南さつま市

防災・防犯 / 都市計画・まちづくり / 環境・エネルギー / インフラ管理
地域活性化・観光・コンテンツ / モビリティ・ロボティクス / その他

自治体概要

【地理、人口、産業の現状等】

薩摩半島の南西部に位置し、北は鹿児島市・日置市、東は枕崎市・南九州市に隣接し、南側及び西側は東シナ海に面しています。人口は約3.2万人。

【特色等】

海岸線の北西部は砂丘地帯を形成し、南西部は変化に富んだリアス式海岸が続いており、国の名勝『坊津』及び坊野間県立自然公園の指定を受けた景勝地を有しています。



【3D都市モデル構築状況】

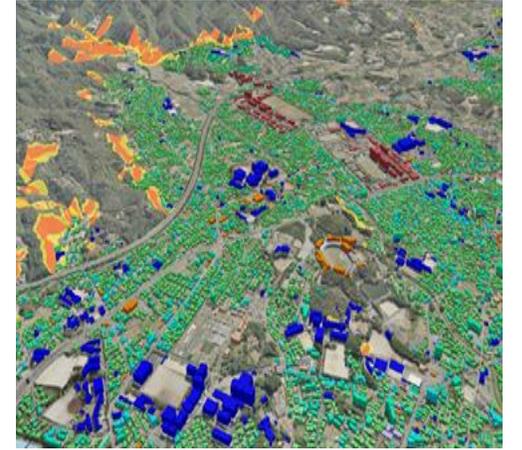
- データ整備年度：2023年
- 建物物作成範囲
 - ・ LOD3：なし
 - ・ LOD2：主要建物エリア（約20棟）
 - ・ LOD1：用途区域（5.02km²）
- テクスチャ：
- その他の地物（空間属性）
 - ・ 交通（道路）：
 - ・ 土砂災害警戒区域：
 - ・
- 主題属性
 - ・ 建物利用現況：
 - ・ 土地利用現況：
 - ・



3D都市モデルを活用し解決したい課題／創造したい価値

ア：【防災】3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化

イ：【まちづくり・都市計画】3D都市モデルを活用した立地適正化計画策定・用途地域の変更検討への活用



導入したいシステム・アプリ・取組み等のイメージ

防災・防犯

近年の大雨災害等に伴う災害リスク情報可視化による、現況把握及び防災意識・理解力向上

都市計画・まちづくり

基礎調査データ可視化による、市全体の現況把握及び立地適正化計画策定・用途地域の変更検討

問合せ先

所属：建設部都市整備課

担当者：下津 裕二

Tel:0993-76-1626

Mail:tseibi4@city.minamisatsuma.lg.jp